

《第7期中標津町総合計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



令和7年3月

中標津町総務部政策推進課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 配布数及び回収結果	1
(4) 本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
(1) 一般町民（18歳以上の町民）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
(1) まちへの愛着度について	5
問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか	5
(2) 今後の定住意向について	7
問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか	7
(3) 住み続けたい主な理由	9
(4) 住みたくない主な理由	10
2 まちの取り組みについて	11
問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか	11
問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか	12
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか	15
問7 あなたは町内会に加入していますか	16
問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じますか	19
問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか	20
問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか	21
問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか	24
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか	25
問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか	27
問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか	28
問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか	29
問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします	30
問17 町立病院の医療体制に満足していますか	33

問 1 8 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
問 1 9 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか	35
問 2 0 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思えますか・・・	36
問 2 1 町内での飲食や買い物に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	37
問 2 2 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか・	38
問 2 3 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか・・	39
問 2 4 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていま すか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
問 2 5 日々の生活の中で景観を意識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	41
問 2 6 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
問 2 7 中標津空港利用の利便性に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	43
問 2 8 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか	44
問 2 9 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか・・・・・・・・	45
問 3 0 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか・・・・・・・・	46
問 3 1 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか・・・・・・・・	47
問 3 2 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意 識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	48
問 3 3 3 R 運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル： 再生使用）をしていますか・・・・・・・・・・・・・・・・	49
問 3 4 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか	50
問 3 5 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足 していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	51
問 3 6 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか・・・・・・・・	52
問 3 7 運動やスポーツに取り組んでいますか・・・・・・・・	53
問 3 8 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか・・・・・・・・	54
問 3 9 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思う ものがありますか・・・・・・・・	55
問 4 0 第7期中標津町総合計画のまちづくりの基本理念について、あなたが 感じる町の達成度合いをお聞かせください・・・・・・・・	56

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述・・・・・・・・	58
（1）自由記述の記入状況・・・・・・・・	58

Ⅳ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第7期中標津町総合計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調査対象 : 18歳以上の町民
- ◆ 抽出法 : 無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
- ◆ 調査方法 : 郵送配付（郵送回答又はインターネット回答）
- ◆ 調査時期 : 令和6年5月
- ◆ 調査区域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配布数 : 1,000票
- ◆ 有効回収数 : 341件
- ◆ 有効回収率 : 34.10%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

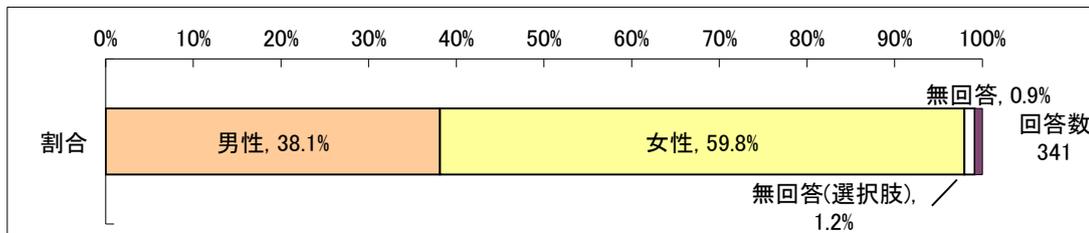
- 比率は百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=○○○”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般町民（18歳以上の町民）

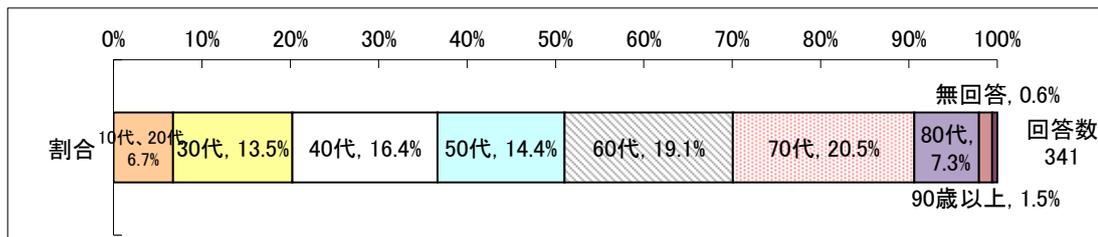
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が130名・38.1%、「女性」が204名・59.8%、「無回答」の選択肢を選んだ方が4名・1.2%となっています。



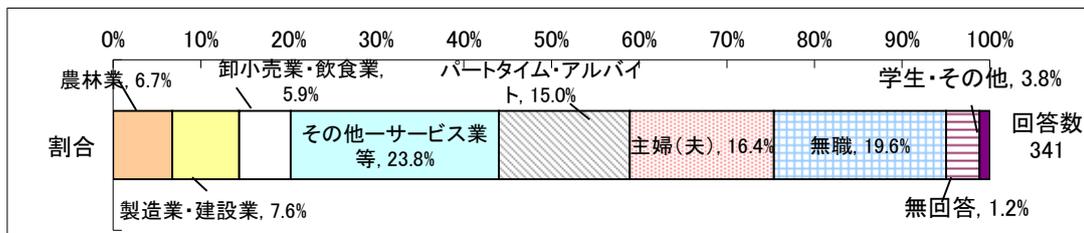
② 年齢

回答者の年齢構成は、「70代」が70名・20.5%で最も多く、次いで「60代」が65名・19.1%、「40代」が56名・16.4%、「50代」が49名・14.4%、「30代」が46名・13.5%、「80代」が25名・7.3%、「10代・20代」が23名・6.7%、「90歳以上」が5名・1.5%の順となっています。



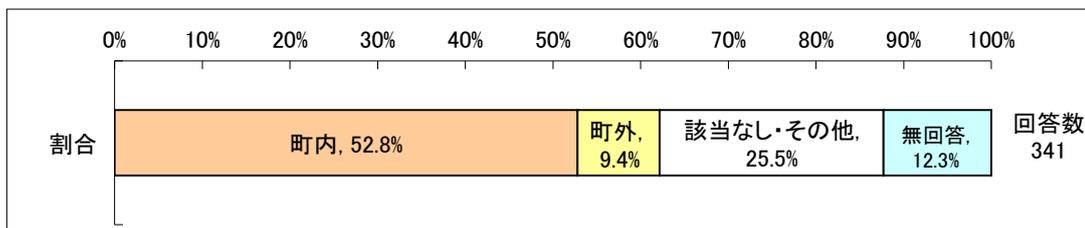
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が81名・23.8%で最も多く、次いで「無職」が67名・19.6%、「主婦(夫)」が56名・16.4%、「パートタイム・アルバイト」が51名・15.0%、「製造業・建設」が26名・7.6%、農林業」が23名・6.7%、「卸小売業・飲食業」が20名・5.9%、「学生・その他」が13名・3.8%、「無回答」が4名・1.2%の順となっています。



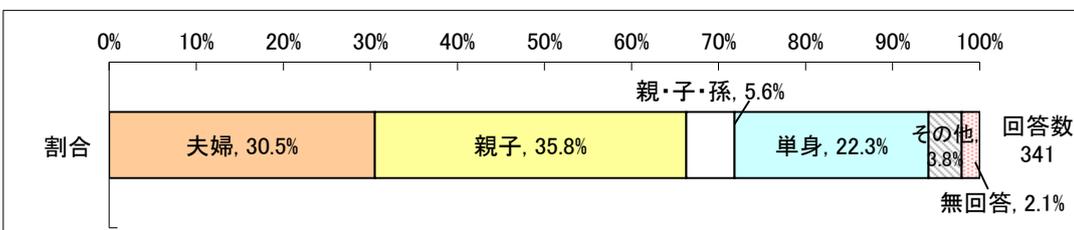
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が180名・52.8%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が87名・25.5%、「無回答」が42名・12.3%、「町外」が32名・9.4%の順となっています。



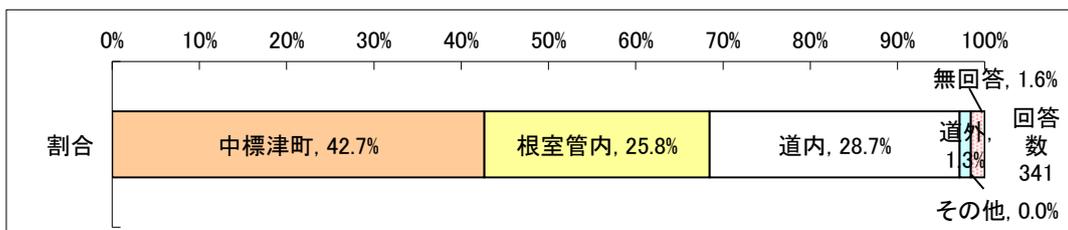
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が122名・35.8%で最も多く、次いで「夫婦」が104名・30.5%、「単身」が76名・22.3%、「親・子・孫」が19名・5.6%、「その他」が13名・3.8%の順となっています。



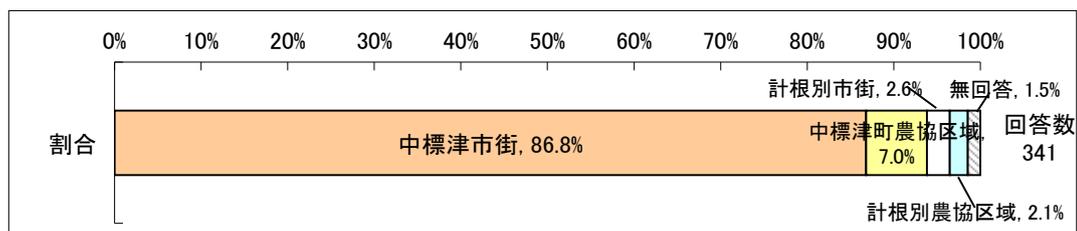
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が134名・42.7%で最も多く、次いで「道内」が90名・28.7%、「根室管内」が81名・25.8%、「道外」が4名・1.3%、「その他」が0名・0%の順となっています。



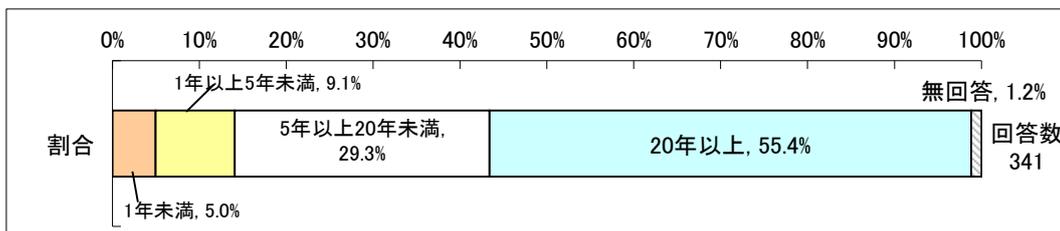
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が296名・86.8%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が24名・7.0%、「計根別市街」が9名・2.6%、「計根別農協区域」が7名・2.1%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が214名・55.4%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が86名・29.3%、「1年以上5年未満」が37名・9.1%、「1年未満」が13名・5.0%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

● “愛着を感じている”が80.6%、“愛着を感じていない”は18.7%。

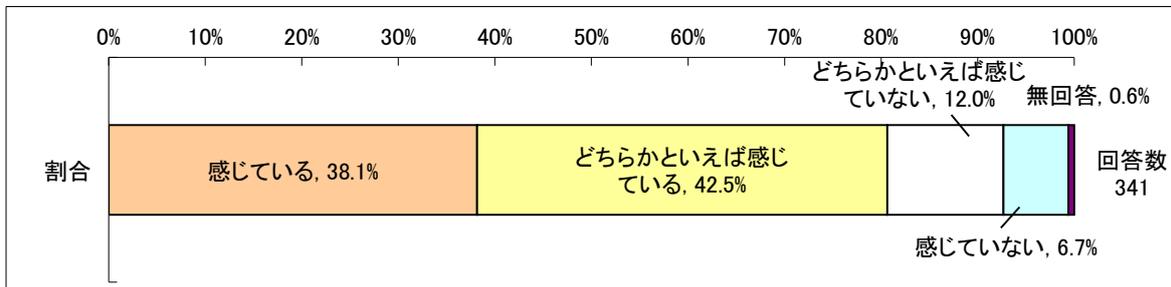
感じている 38.1% どちらかといえば感じている 42.5%	感じていない 6.7% どちらかといえば感じていない 12.0%
------------------------------------	-------------------------------------

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

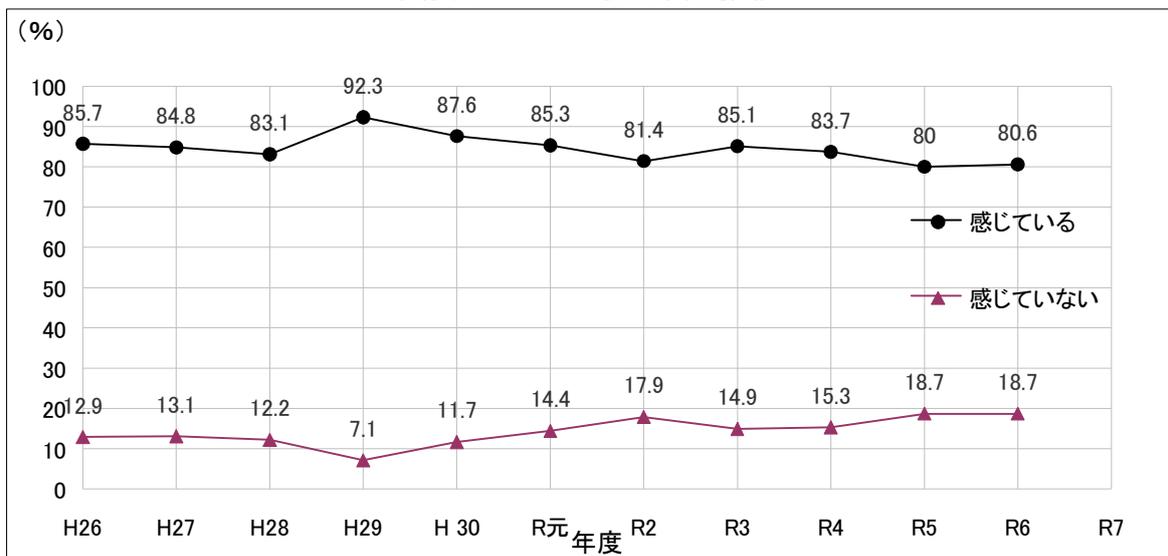
結果として「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“愛着を感じている”人は80.6%となり、総じてまちへの愛着度は高いと言えます。【図表1】

また、これまでの推移をみると“愛着を感じている”人の割合は高い水準で横ばいとなっており、継続して高い愛着度を維持していると言えます。【図表2】

図表1 まちへの愛着度について（全体）



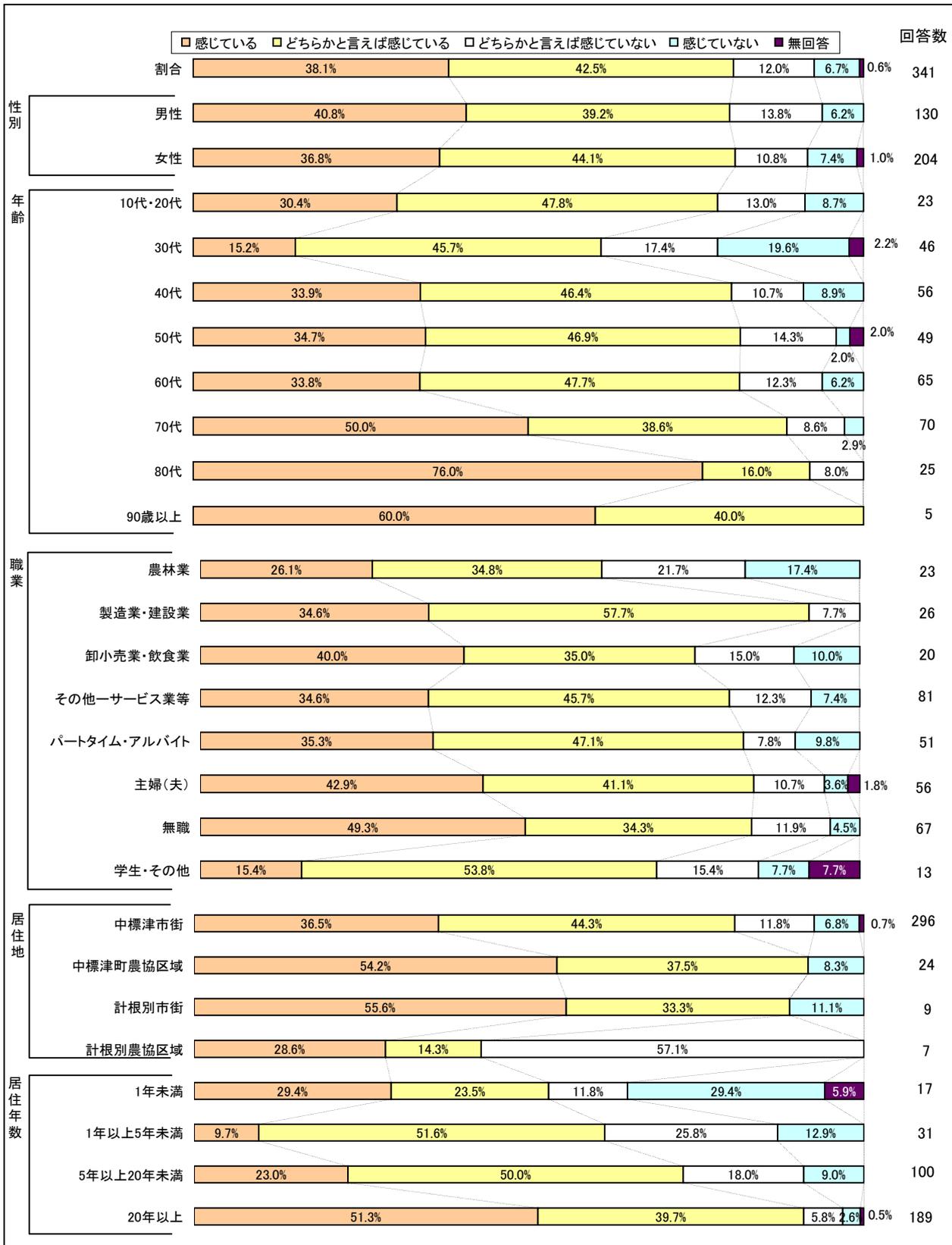
図表2 まちへの愛着度の推移



男女別の“愛着を感じている”割合は男性80.0%、女性80.9%とほぼ同数です。
 年齢別では、80代が92.0%“愛着を感じている”となっていますが、一方で30代では60.9%と低くなっています。

また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにしたがって徐々に割合が高くなり、居住年数20年以上では91.0%の町民が“愛着を感じている”と回答しています。【図表3】

図表3 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

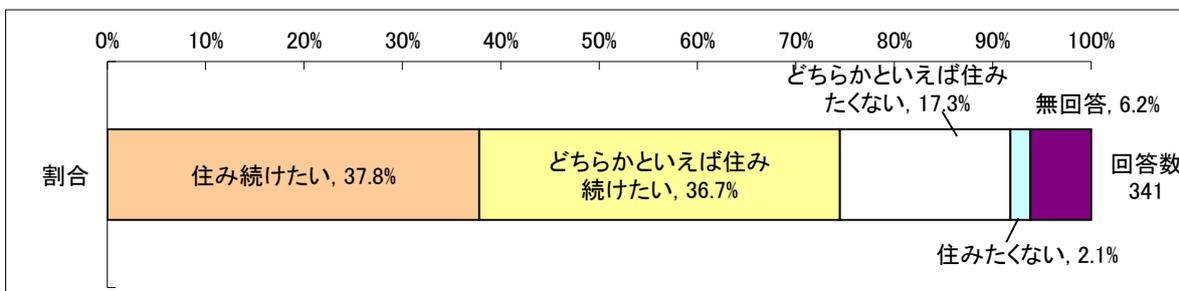
● “住み続けたい”が74.5%、“住みたくない”は19.4%。

住み続けたい 37.8%	住みたくない 2.1%
どちらかといえば住み続けたい 36.7%	どちらかといえば住みたくない 17.3%

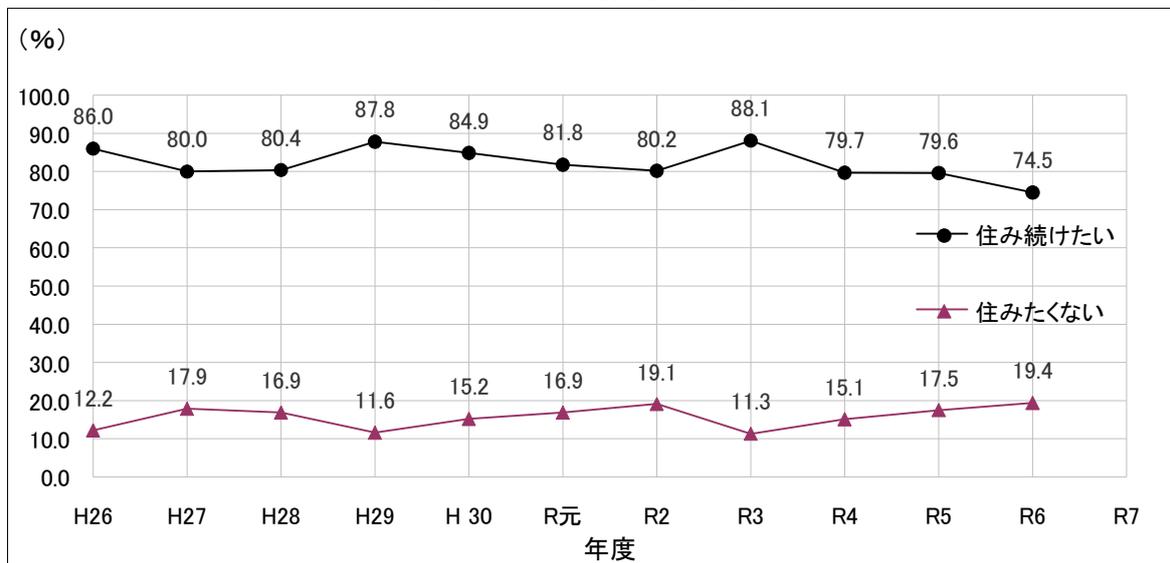
今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が127名・37.8%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（121名・36.7%）をあわせた248名・74.5%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

また、これまでの推移をみると“住み続けたい”人の割合は令和3年度をピークに減少傾向となっております。【図表5】

図表4 今後の定住意向について（全体）



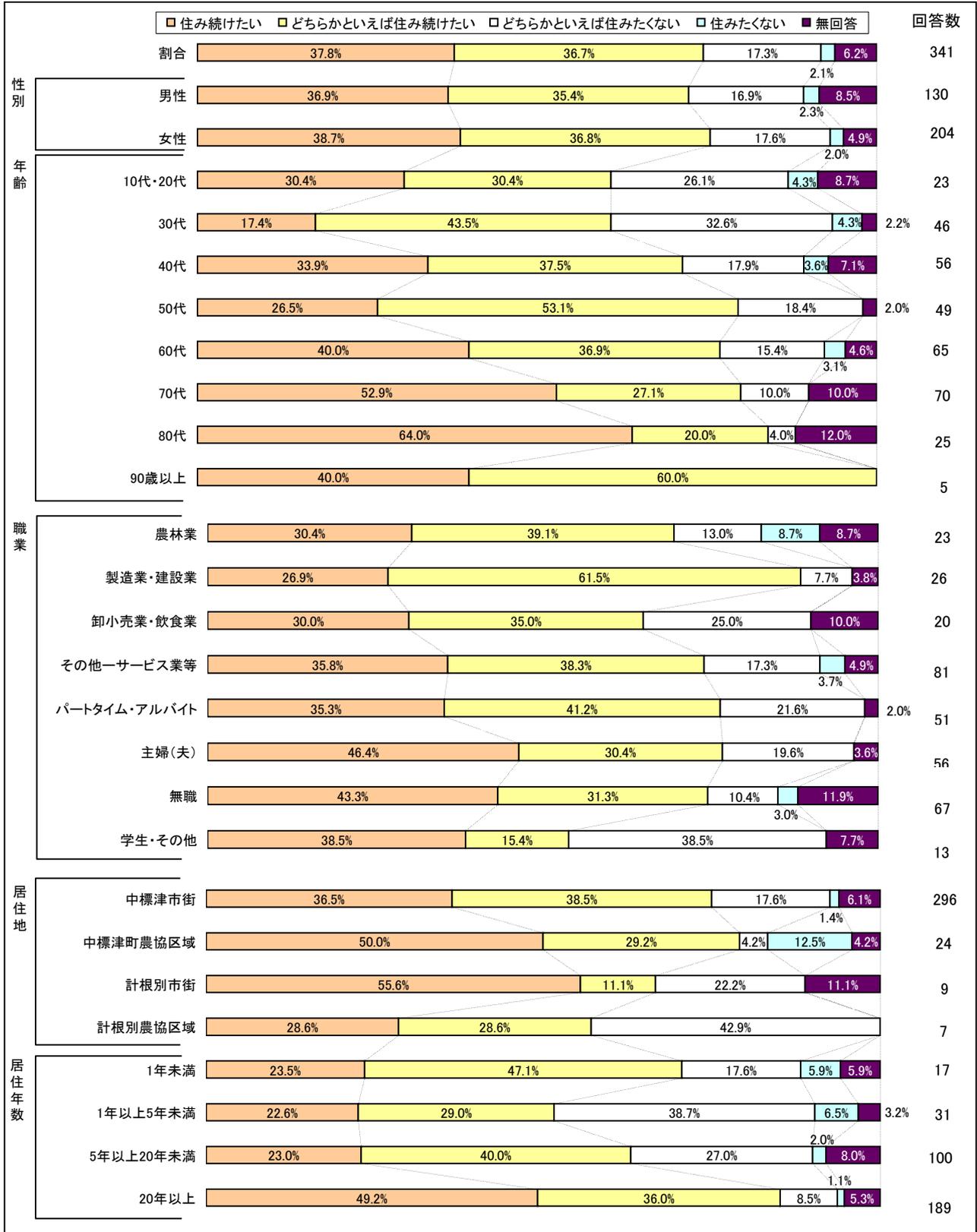
図表5 今後の定住意向の推移



男女別の“住み続けたい”割合は、男性が72.3%、女性が75.5%と女性の方が若干高い結果となりました。年齢別では、年齢が高くなるにしたがって徐々に割合が高くなる結果となりました。

また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにしたがって徐々に割合が高くなり、居住年数20年以上では85.2%の町民が“住み続けたい”と回答しています。【図表6】

図表6 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



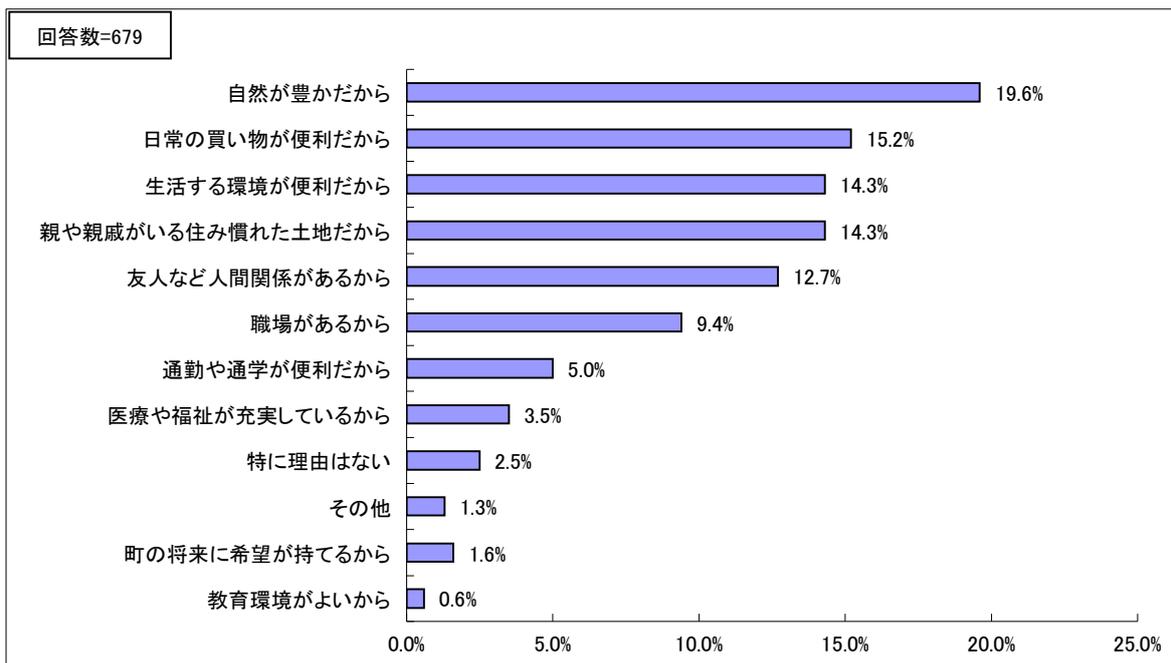
(3) 住み続けたい主な理由

問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(問3で「住み続けたい」「どちらかといえ
ば住み続けたい」を選択した方のみ) 【複数回答】

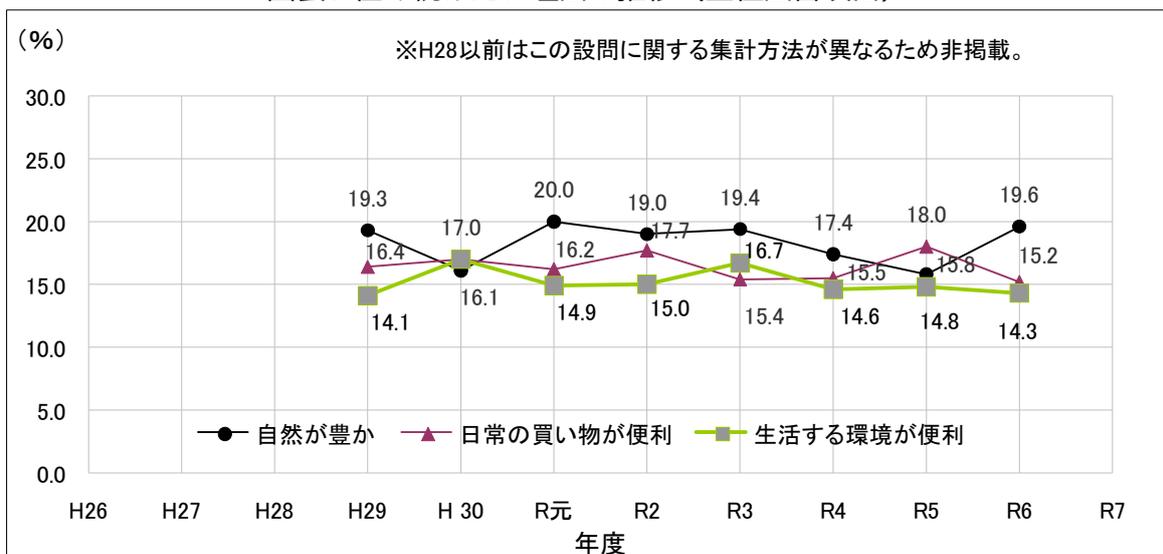
- 「自然が豊かだから」が第1位。次いで「日常の買い物が便利だから」、「生活する環境が便利だから」並びに「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の74.5%・248名)に理由をたずねたところ、
図表7のとおりとなりました。【図表7】

図表7 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



図表8 住み続けたい理由の推移(上位回答項目)



(4) 住みたくない主な理由

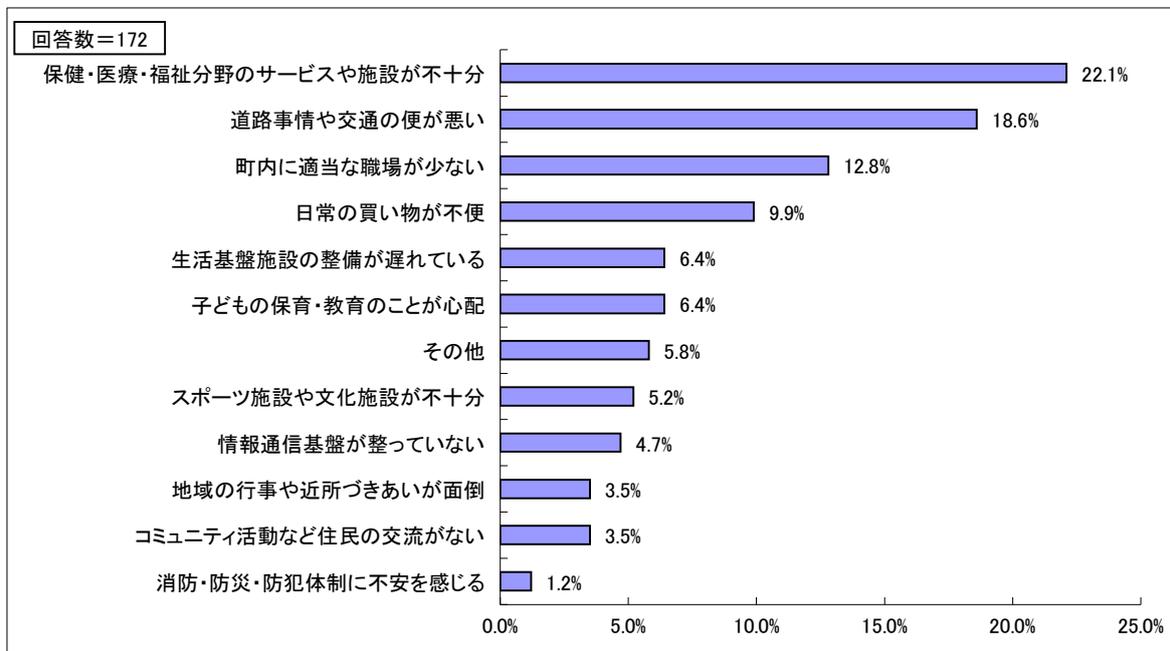
問3-2 住みたくない主な理由は何ですか。(問3で「住みたくない」「どちらかといえ
ば住みたくない」を選択した方のみ)【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情
や交通の便が悪い」、「町内に適当な職場が少ない」の順。

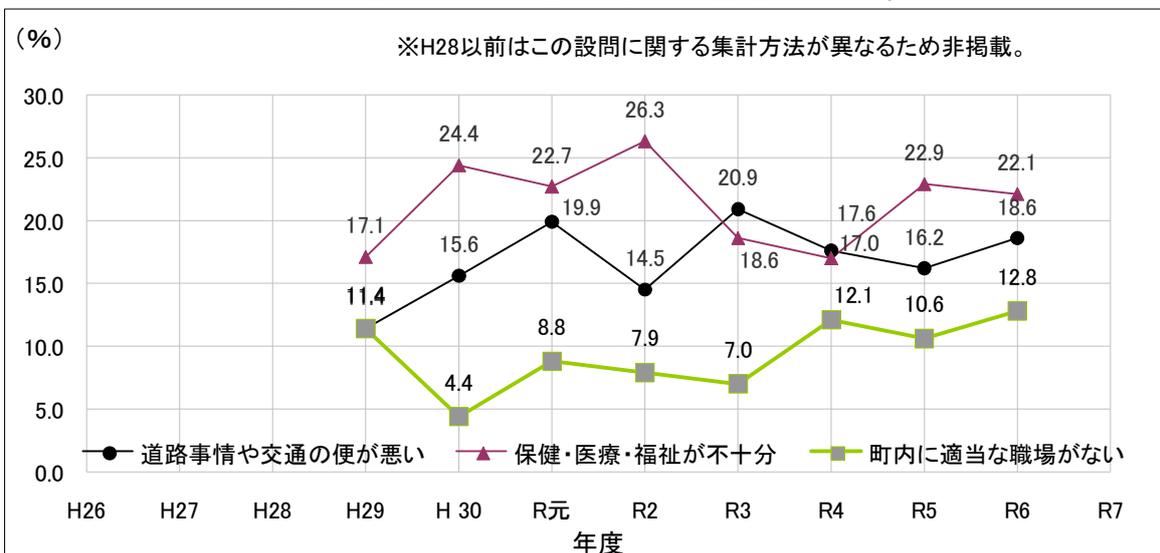
問3で“住みたくない”と回答した人(全体の19.6%・65名)に理由をたずねたところ、
図表9のとおりとなりました。【図表9】

また、上位項目のこれまでの推移をみると「道路事情や交通の便が悪い」「町内に適当な
職場がない」の割合が増加傾向にあります。

図表9 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



図表10 住みたくない理由の推移(上位回答項目)



2 まちの取り組みについて

問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている”が59.6%、“関心を持っていない”が31.9%。

関心を持っている 18.5%
 どちらかといえば関心を持っている 41.1%

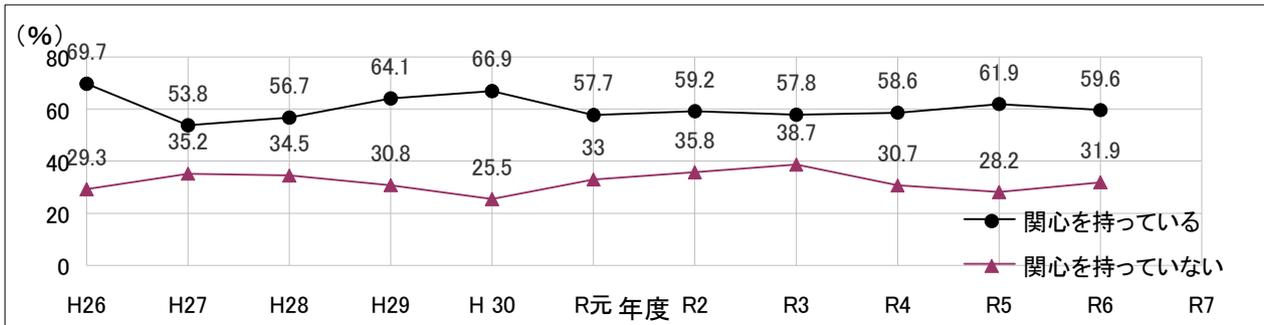
 関心を持っていない 7.6%
 どちらかといえば関心を持っていない 24.3%

「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が41.1%で、これに「関心を持っている」(18.5%)をあわせた“関心を持っている”という人が59.6%となりました。

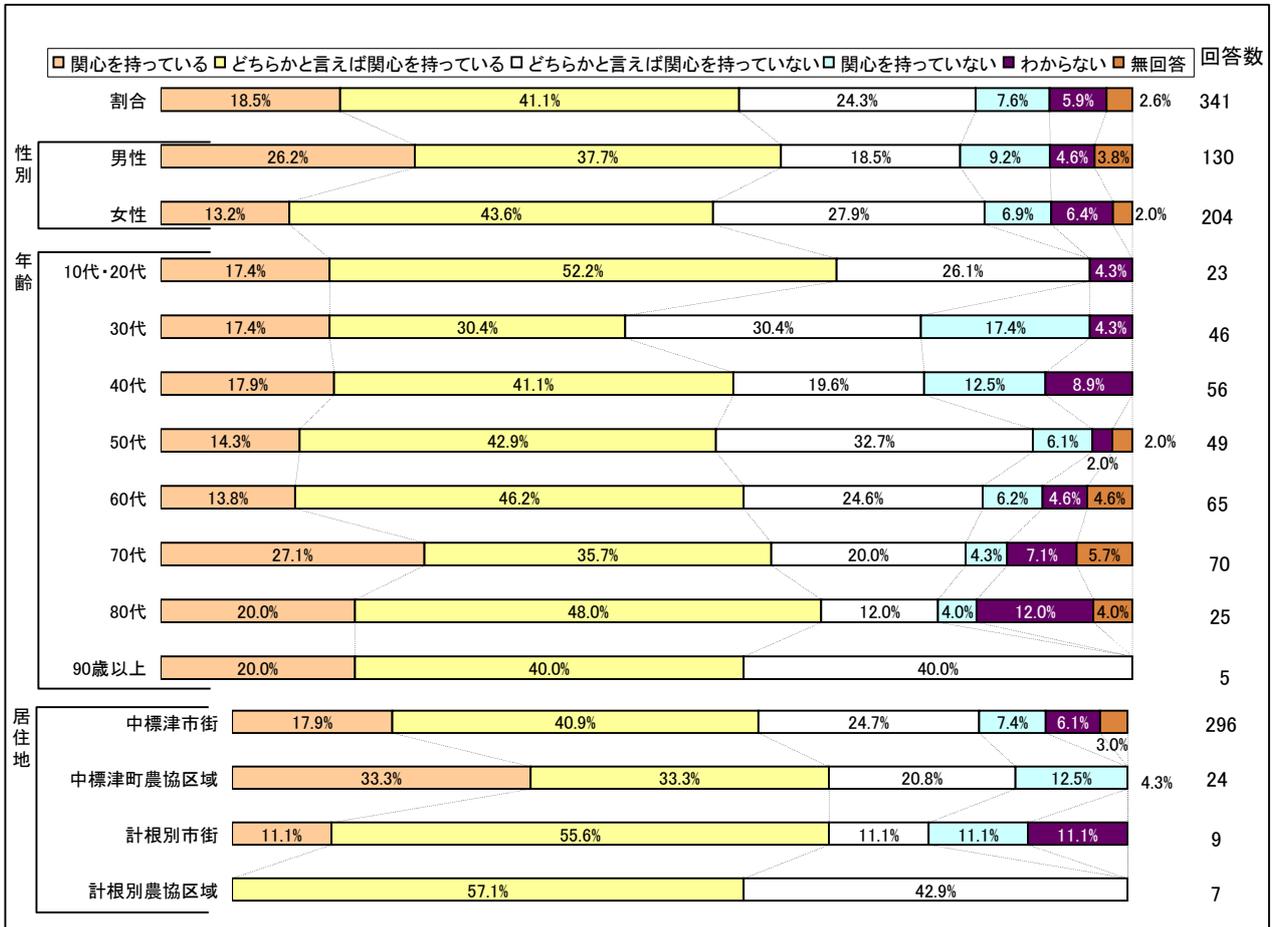
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表11】

男女別では男性(63.9%)が女性(56.8%)よりも関心が高いことが伺えます。【図表12】

図表11 町の計画や取り組みへの関心度の推移



図表12 まちの計画や取り組みへの関心について (全体、性別、年齢、居住地)



問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる”が55.7%、“そう感じない”は32.2%。

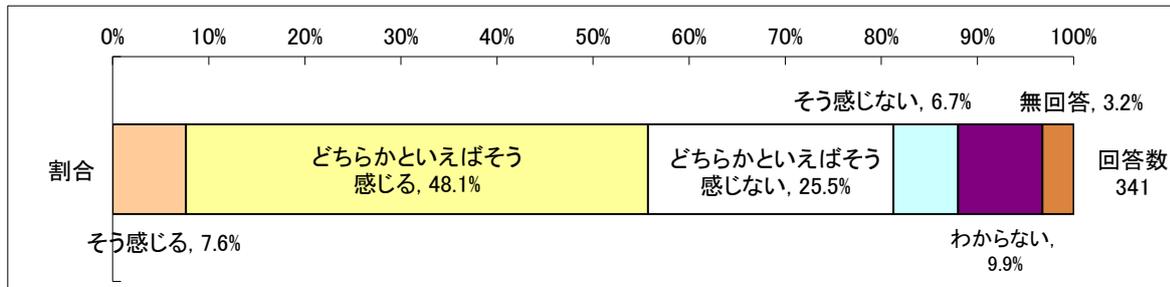
(そう感じる 7.6%
 どちらかといえばそう感じる 48.1%)
 (そう感じない 6.7%
 どちらかといえばそう感じない 25.5%)

町の情報について知りたい情報が得られているかどうかについて「そう感じる」と答えた人が7.6%で、これに「どちらかといえばそう感じる」（48.1%）をあわせた“そう感じる”人は55.7%となりました。

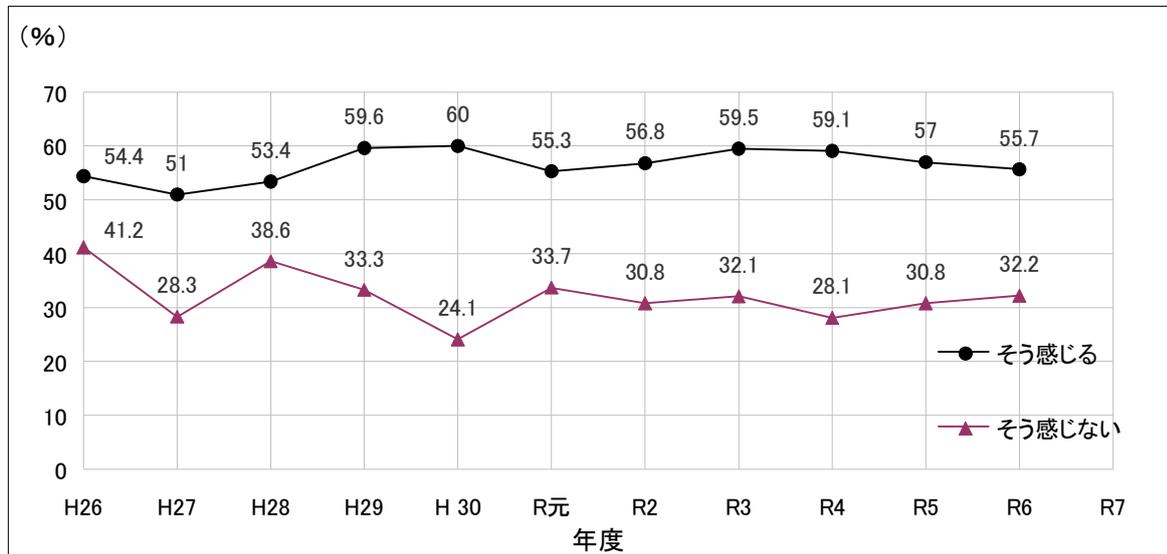
また、これまでの推移をみると“そう感じる”人の割合は概ね横ばいで推移しています。

【図表14】

図表13 知りたい情報が得られているか（全体）



図表14 知りたい情報が得られている町民割合の推移

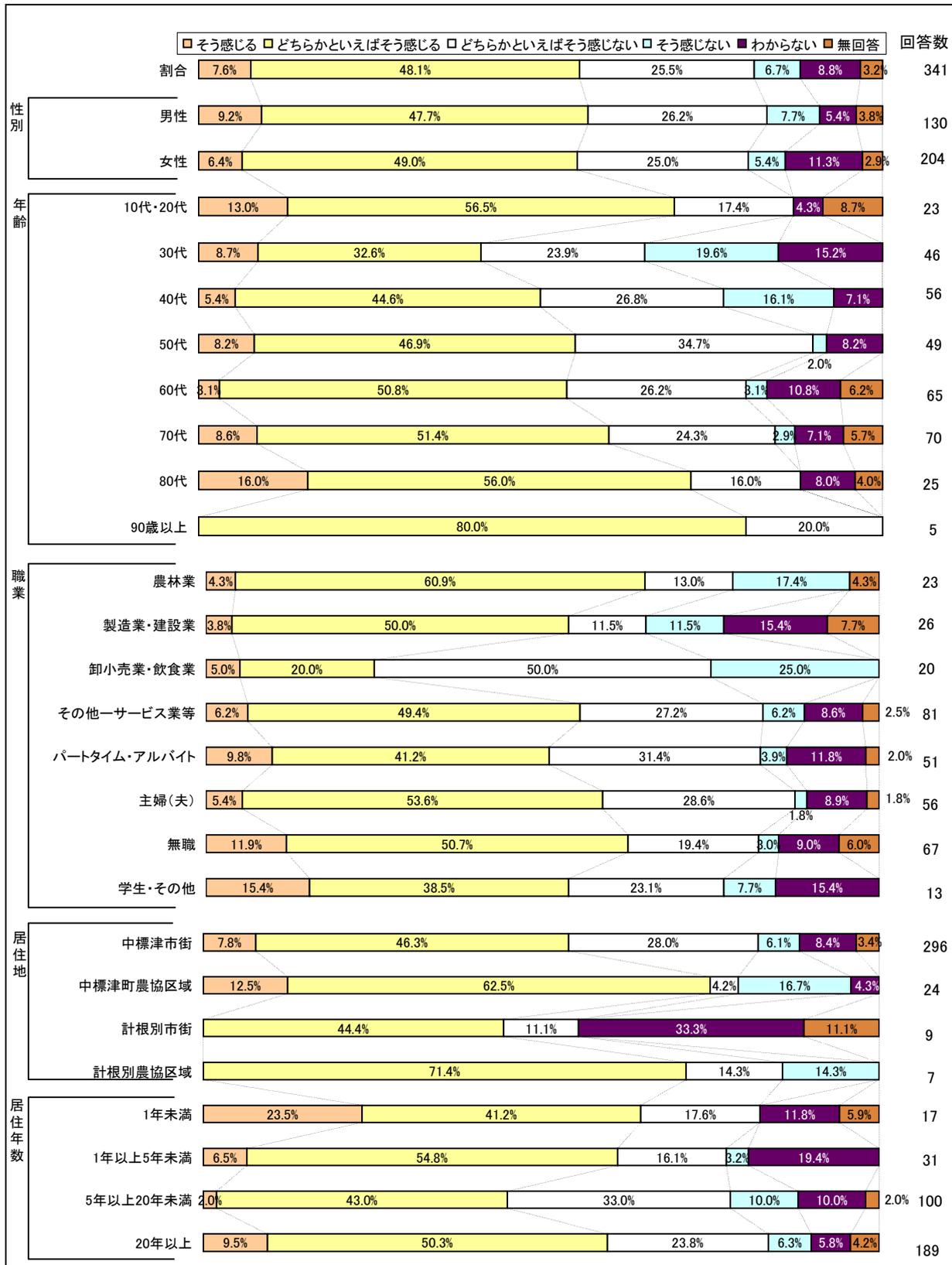


男女別の“そう感じる”割合は男性56.9%、女性55.4%とほぼ同数です。

年齢別では、10代および80代、90代で“そう感じる”割合が比較的高い傾向にあり、一方で30代では41.3%と低くなっています。

また、居住地別では、中標津町農協区域及び計根別農協区域の方の“そう感じる”割合が高い結果となりました。【図表15】

図表15 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

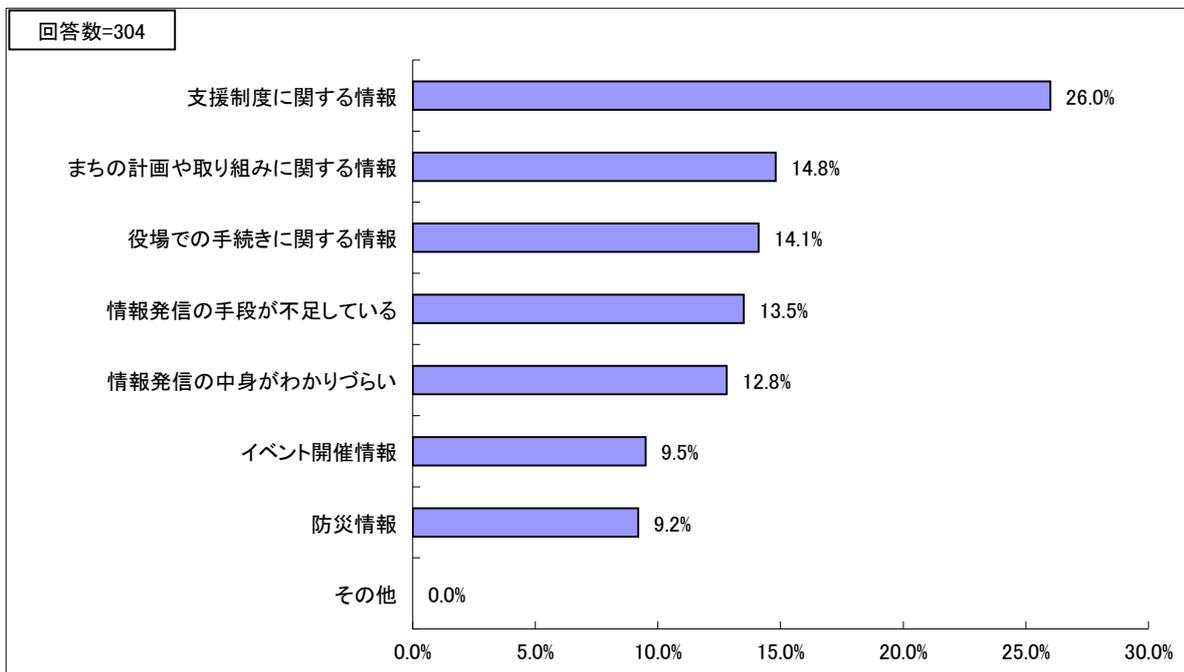


問5-1 特にどのような情報が不足していると感じますか（問5で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「支援制度に関する情報」が第1位。次いで「まちの計画や取り組みに関する情報」、「役場での手続きに関する情報」の順。

問5で“そう感じない”と回答した人（32.2%・106名）に特にどのような情報が不足しているかたずねたところ「支援制度に関する情報」が最も高い結果となりました。【図表16】
年齢別では、10代・20代で「情報発信の手段が不足している」が高い結果となった他、「支援制度に関する情報」は30代以上で高い結果となりました。【図表17】

図表16 特に不足している情報（全体／複数回答）



図表17 特に不足している情報（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	支援制度に関する情報 24.8	まちの計画や取り組みに関する情報 17.8	役場での手続きに関する情報 16.3
	女性	支援制度に関する情報 27.6	役場での手続きに関する情報 12.9	同率複数のため省略 -
年齢	10代・20代	情報発信の手段が不足している 25.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	30代	支援制度に関する情報 24.6	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	40代	支援制度に関する情報 18.2	情報発信の中身がわかりづらい (同率1位) 18.2	情報発信の手段が不足している 15.2
	50代	支援制度に関する情報 29.1	役場での手続きに関する情報 21.8	まちの計画や取り組みに関する情報 16.4
年齢	60代	支援制度に関する情報 34.8	情報発信の中身がわかりづらい 15.2	同率複数のため省略 -
	70代	支援制度に関する情報 28.6	まちの計画や取り組みに関する情報 18.4	情報発信の手段が不足している 16.3
	80代	支援制度に関する情報 26.7	まちの計画や取り組みに関する情報 20.0	情報発信の中身がわかりづらい (同率2位) 20.0
	90歳以上	支援制度に関する情報 33.3	情報発信の手段が不足している (同率1位) 33.3	イベント開催情報 (同率1位) 33.3

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

● “そう感じる”が27.8%、“そう感じない”が47.2%。

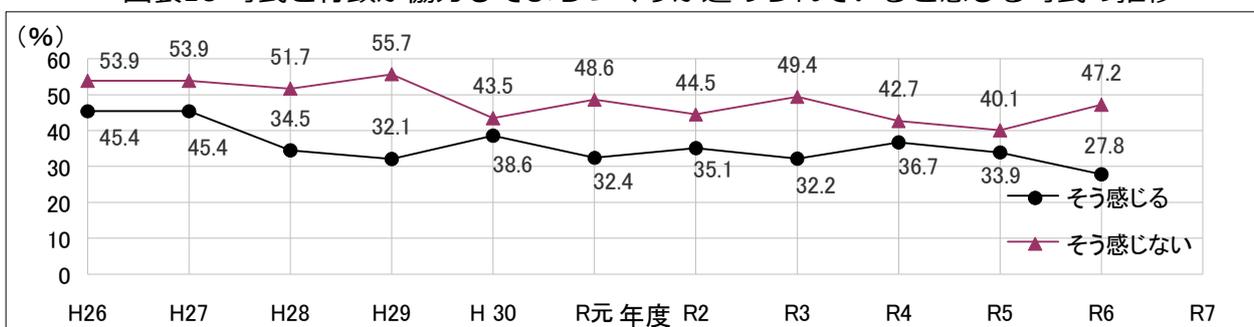
（そう感じる 2.9%
どちらかといえばそう感じる 24.9%） （そう感じない 13.8%
どちらかといえばそう感じない 33.4%）

「そう感じる」（2.9%）と「どちらかといえばそう感じる」（24.9%）をあわせて“そう感じる”人は27.8%となりました。

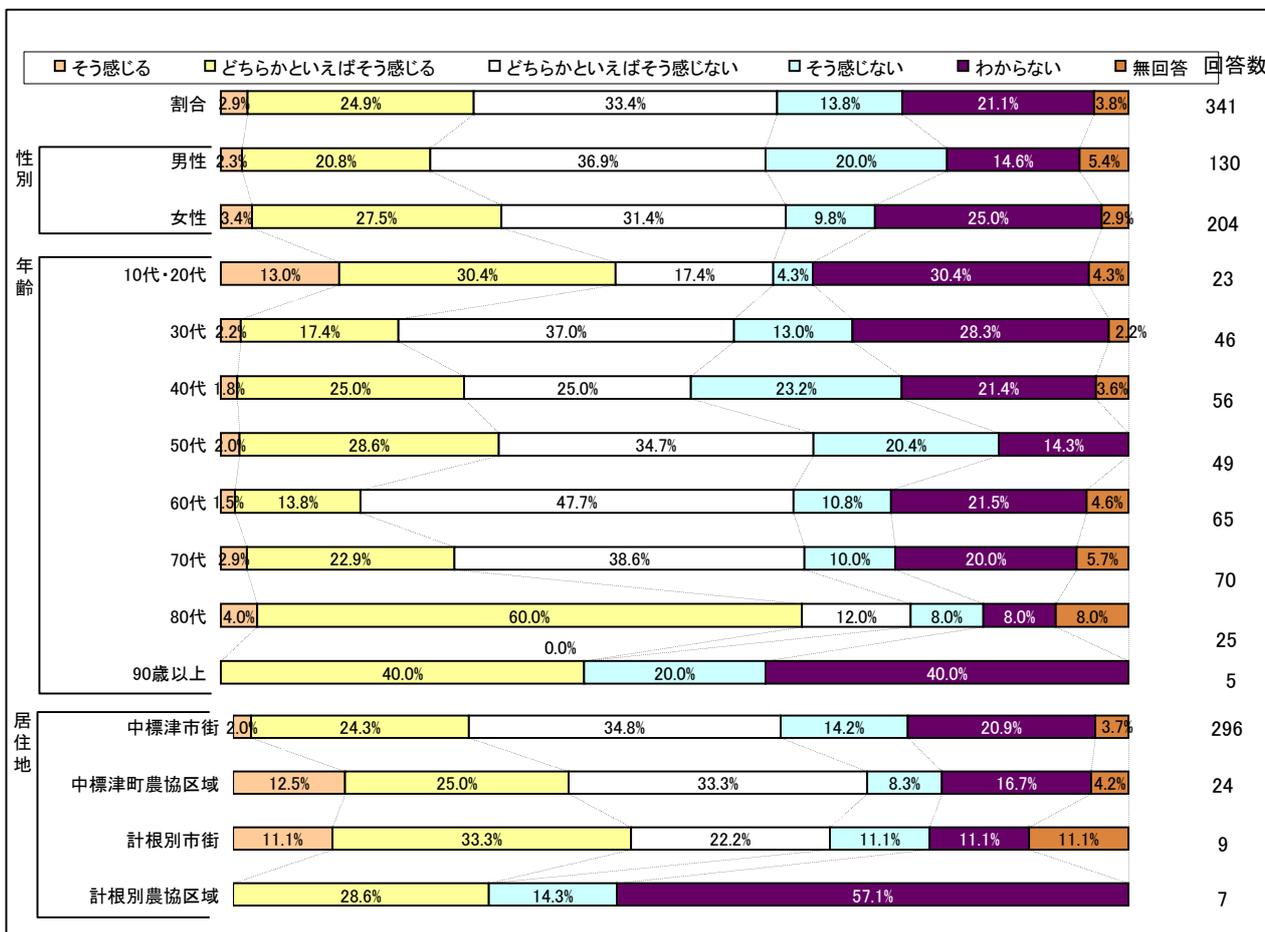
近年の推移をみると、“そう感じる”割合が減少傾向であります。【図表18】

性別では、“そう感じる”割合が女性（30.9%）、男性（23.1%）で女性の方が高い結果となり、年齢別では、80代以上の年代で“そう感じる”割合が高い結果となりました。【図表19】

図表18 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる町民の推移



図表19 町民と行政が協力してまちづくりが進められているか（全体、性別、年齢、居住地）



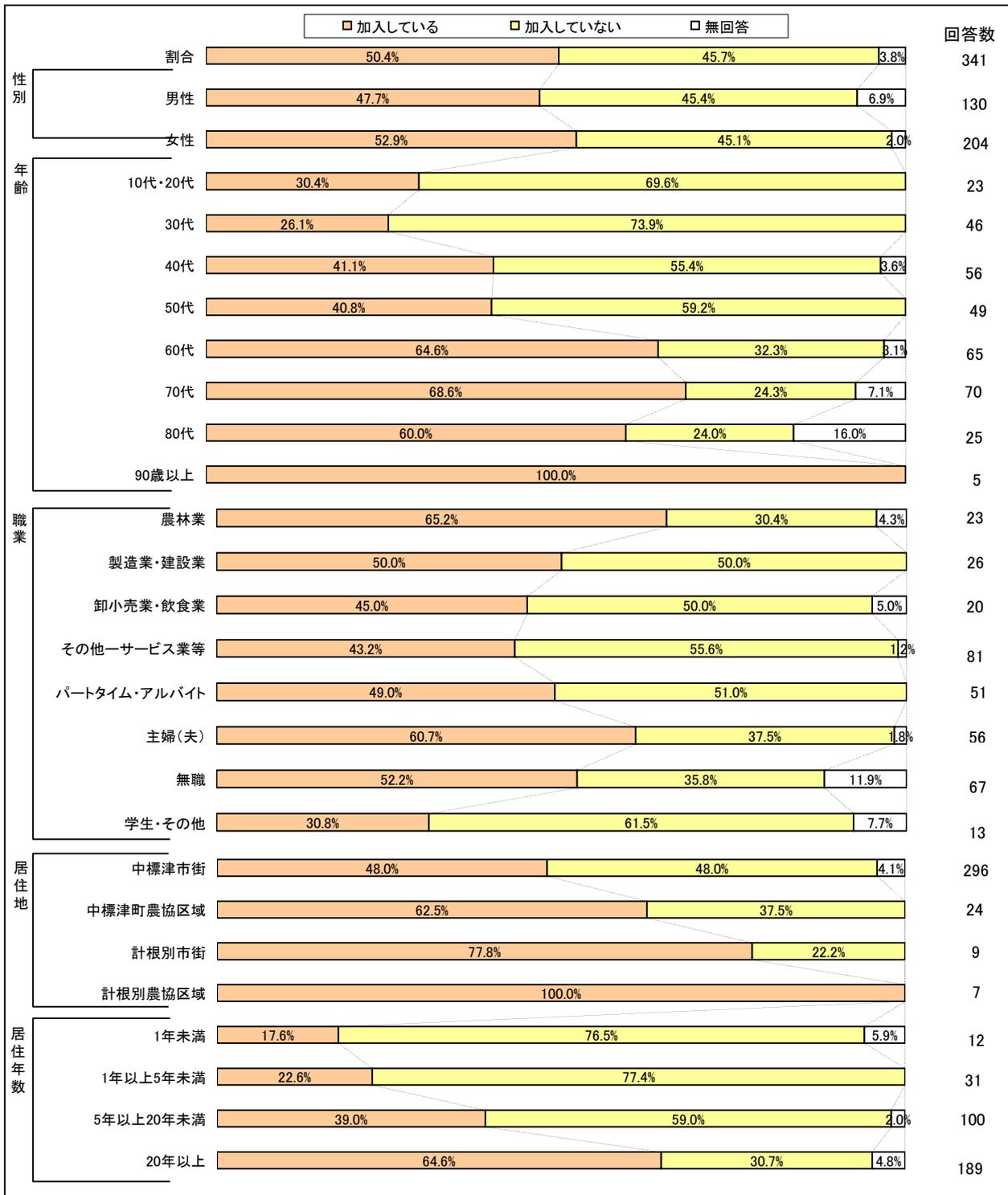
問7 あなたは町内会に加入していますか。

● “加入している”が50.4%、“加入していない”は45.7%。

町内会に“加入している”と回答した人は全体で50.4%、男性で47.7%、女性で52.9%と女性の方が若干高い結果となった他、年齢別では10代～30代で特に低く、60代以上で特に高い結果となりました。

また、居住年数別では居住年数5年未満の方が特に低い結果となりました。【図表20】

図表20 町内会に加入しているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



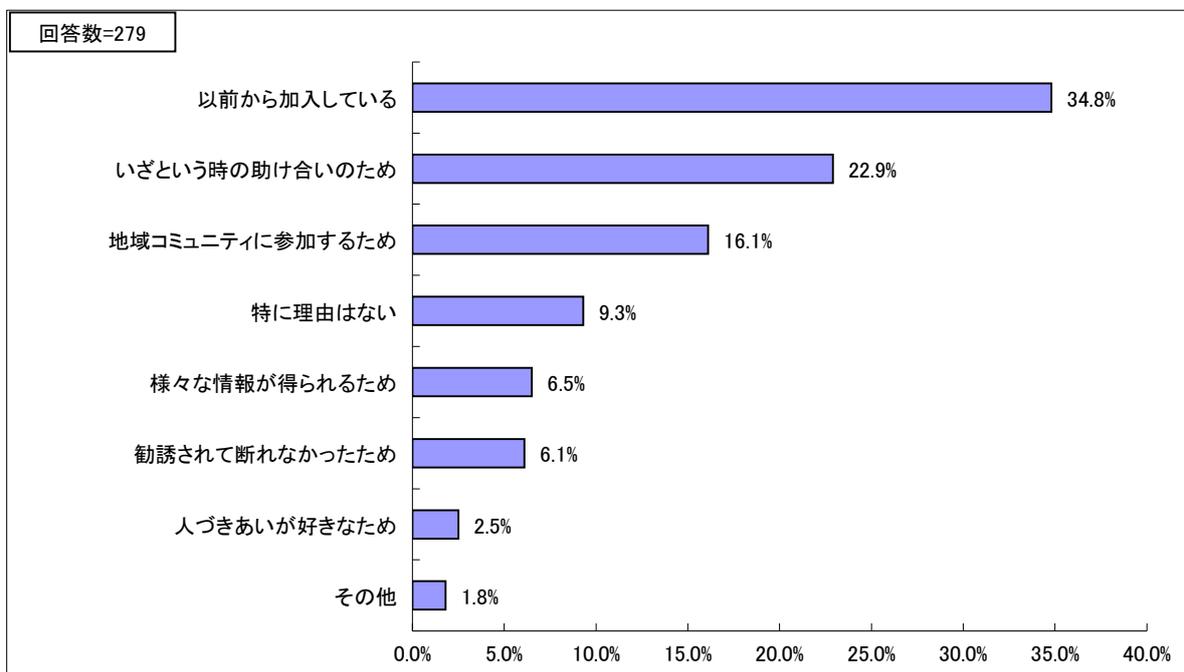
問7-1 町内会に加入している主な理由は何ですか。（問7で「加入している」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「以前から加入している」が第1位。次いで「いざという時の助け合いのため」、「地域コミュニティに参加するため」の順。

問7で“加入している”と回答した人（全体の50.4%・172名）に加入している主な理由をたずねたところ「以前から加入している」が最も高い結果となりました。【図表21】

次いで「いざという時の助け合いのため」が高く、特に50代以上の年代で高い結果となりました。【図表22】

図表21 町内会に加入している主な理由（全体／複数回答）



図表22 町内会に加入している主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	以前から加入している 31.1	いざという時の助け合いのため 23.3	地域コミュニティに参加するため 16.5
	女性	以前から加入している 36.4	いざという時の助け合いのため 22.5	地域コミュニティに参加するため 16.2
年	10代・20代	以前から加入している 37.5	特に理由はない (同率1位) 37.5	同率複数のため省略 -
	30代	以前から加入している 28.6	特に理由はない 21.4	同率複数のため省略 -
	40代	いざという時の助け合いのため 28.1	地域コミュニティに参加するため 21.9	以前から加入している 18.8
	50代	以前から加入している 40.6	いざという時の助け合いのため 18.8	地域コミュニティに参加するため 15.6
齢	60代	以前から加入している 33.8	いざという時の助け合いのため 23.0	地域コミュニティに参加するため 17.6
	70代	以前から加入している 39.0	いざという時の助け合いのため 22.7	地域コミュニティに参加するため 16.0
	80代	いざという時の助け合いのため 32.4	以前から加入している 29.7	地域コミュニティに参加するため 13.5
	90歳以上	以前から加入している 28.6	地域コミュニティに参加するため 28.6	同率複数のため省略 -

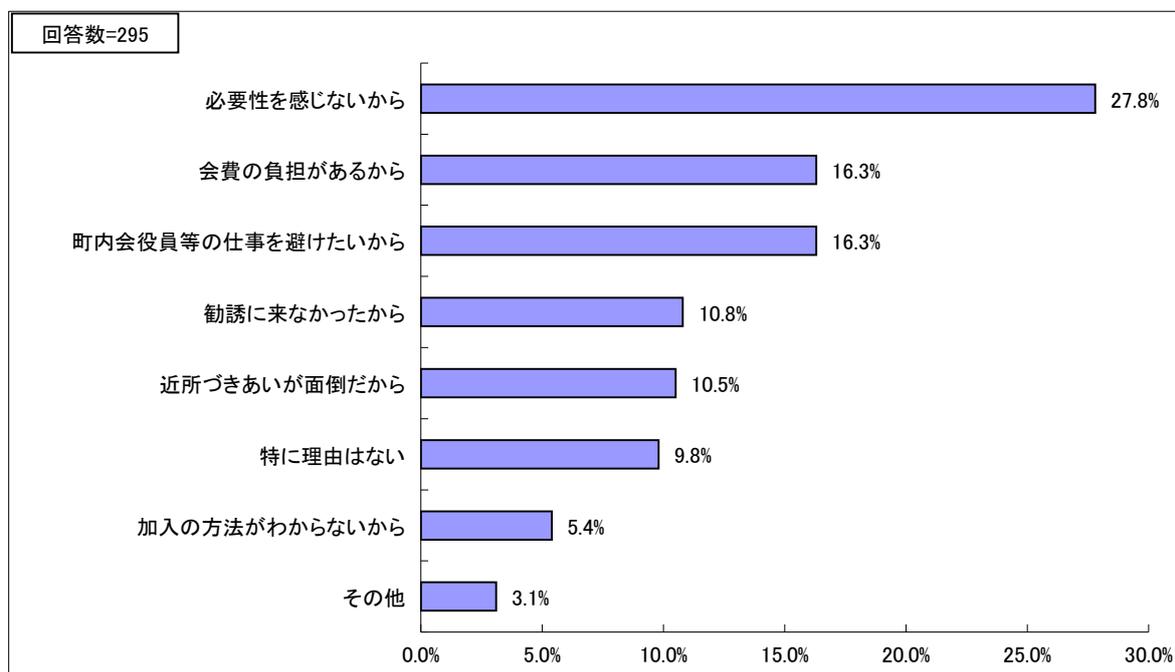
問7-2 町内会に加入していない主な理由は何ですか。（問7で「加入していない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「必要性を感じないから」が第1位。次いで「会費の負担があるから」、「町内会役員等の仕事を避けたいから」の順。

問7で“加入していない”と回答した人（全体の45.7%・156名）に加入していない主な理由をたずねたところ「必要性を感じないから」が最も高い結果となりました。【図表23】

「必要性を感じないから」は全ての年代で高い結果となった他、30代～50代および80代では「町内会役員等の仕事を避けたいから」も比較的高い結果となりました。【図表24】

図表23 町内会に加入していない主な理由（全体／複数回答）



図表24 町内会に加入していない主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

性別	性別	第1位	第2位	第3位
		必要性を感じないから	会費の負担があるから	町内会役員等の仕事を避けたいから
男性	33.0	15.6	13.8	
女性	24.7	18.0	16.3	
年齢	10代・20代	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	30代	必要性を感じないから 23.9	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.5	会費の負担があるから 12.7
	40代	必要性を感じないから 27.5	町内会役員等の仕事を避けたいから 18.8	会費の負担があるから 17.4
	50代	必要性を感じないから 27.8	町内会役員等の仕事を避けたいから 20.4	会費の負担があるから 16.7
	60代	必要性を感じないから 33.3	会費の負担があるから 18.2	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.2
	70代	必要性を感じないから 37.9	会費の負担があるから 17.2	近所づきあいが面倒だから 13.8
	80代	必要性を感じないから 42.9	町内会役員等の仕事を避けたいから 28.6	同率複数のため省略 -
	90歳以上	回答なし	回答なし	回答なし -

問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じますか。

● “そう感じる”が29.3%、“そう感じない”が46.9%。

（そう感じる 5.0%
どちらかといえばそう感じる 24.3%） （そう感じない 18.2%
どちらかといえばそう感じない 28.7%）

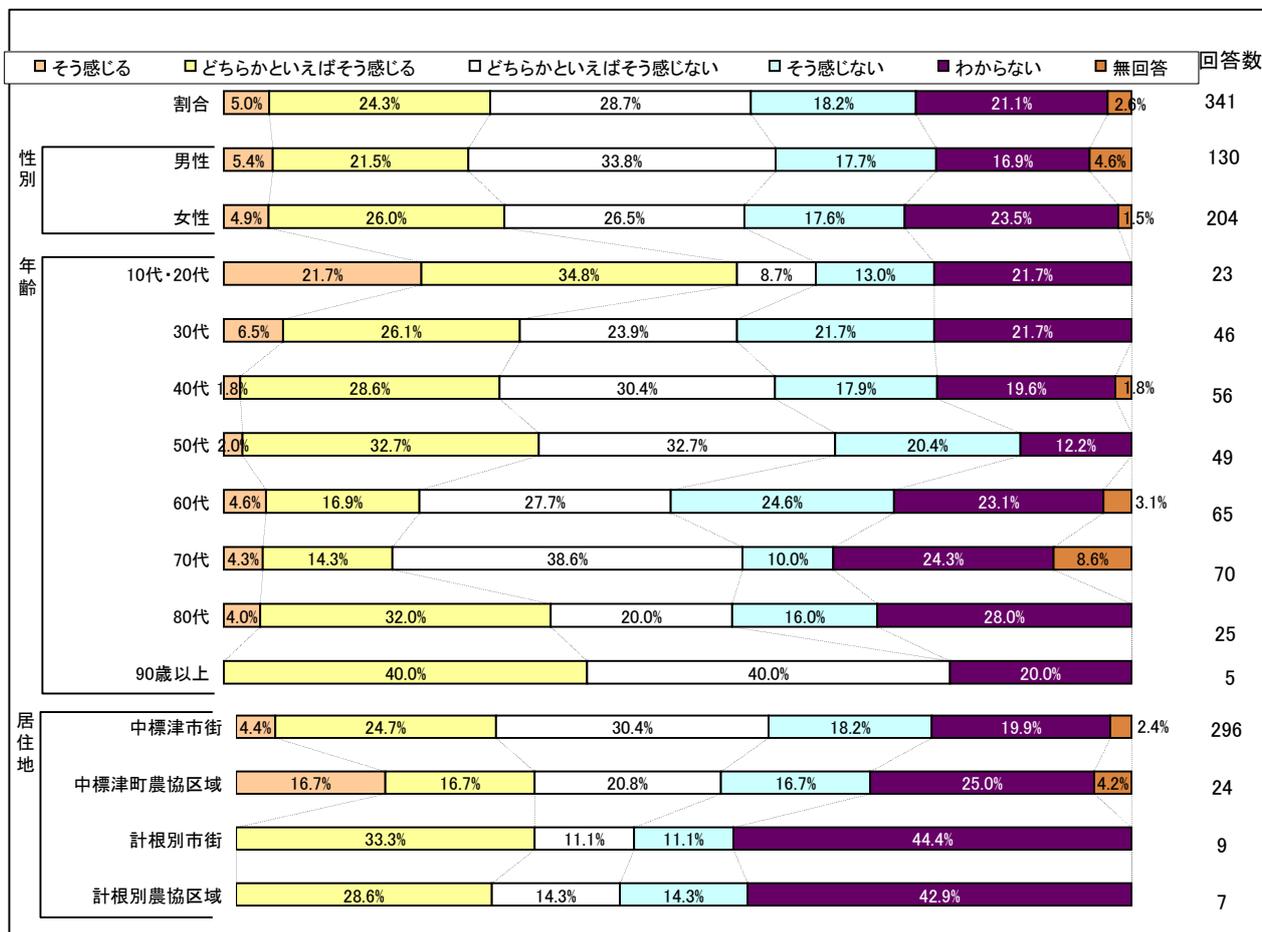
「そう感じる」（5.0%）と「どちらかといえばそう感じる」（24.3%）をあわせて“そう感じる”人は29.3%となり、「そう感じない」（18.2%）と「どちらかといえばそう感じない」（28.7%）をあわせた“そう感じない”人の46.9%よりも低い結果となりました。

男女別では、男性（26.9%）よりも女性（30.9%）の方が“そう感じる”割合が高く、年齢別では、10代・20代で比較的高い結果となりました。【図表26】

図表25 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じる町民の推移



図表26 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

● “そう感じる”が49.9%、“そう感じない”が40.8%。

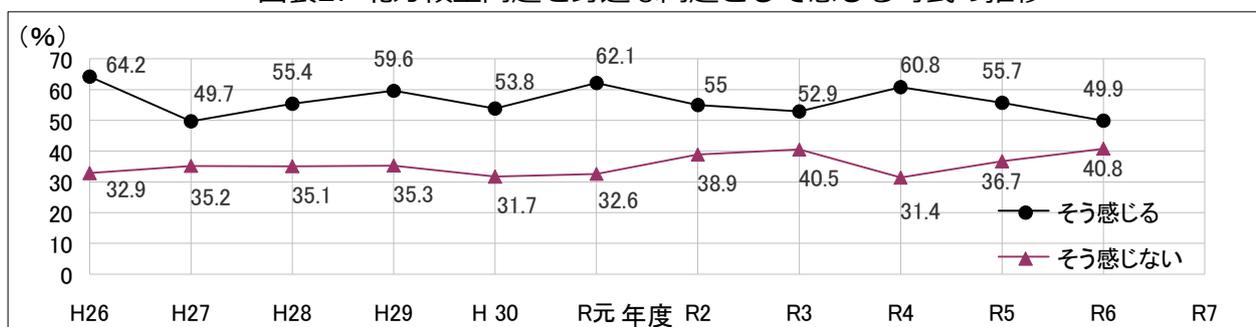
そう感じる 21.7%
どちらかといえばそう感じる 28.2%
そう感じない 17.6%
どちらかといえばそう感じない 23.2%

「そう感じる」（21.7%）と「どちらかといえばそう感じる」（28.2%）をあわせて“そう感じる”人は49.9%となりました。

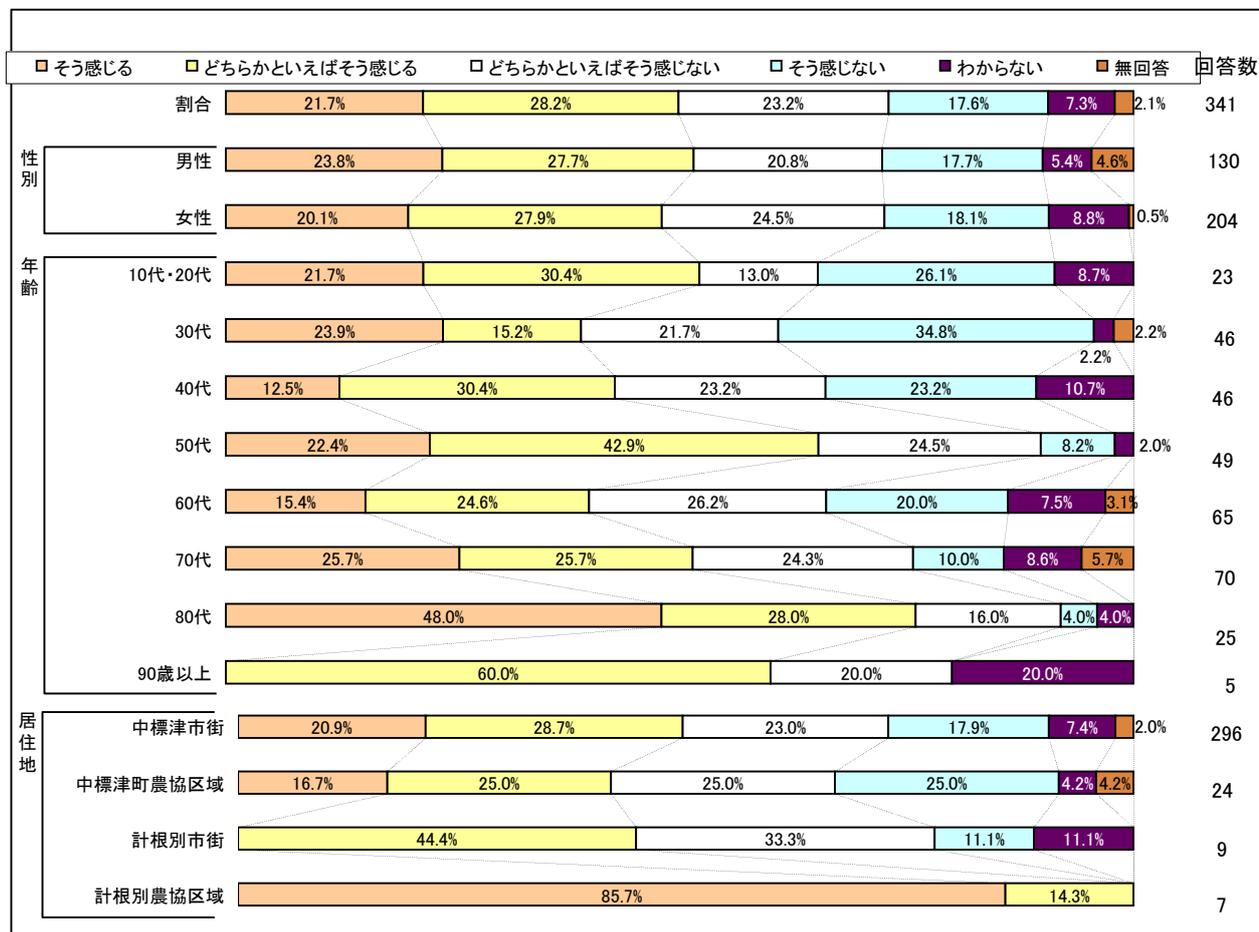
これまでの推移をみると“そう感じる”割合が減少傾向であります。【図表27】

男女別では、男性（51.5%）が女性（48.0%）よりも“そう感じる”割合が高く、年齢別では50代および80代以上で特に高い結果となりました。【図表28】

図表27 北方領土問題を身近な問題として感じる町民の推移



図表28 北方領土問題を身近な問題として感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

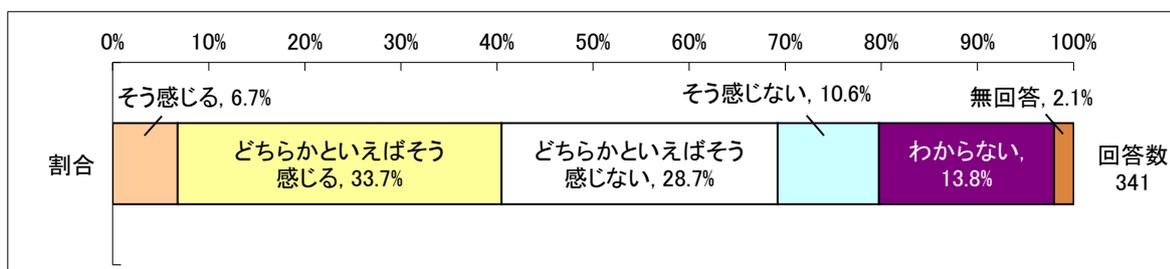
● “そう感じる”が40.4%、“そう感じない”は39.3%。

（そう感じる 6.7%
どちらかといえばそう感じる 33.7%） （そう感じない 10.6%
どちらかといえばそう感じない 28.7%）

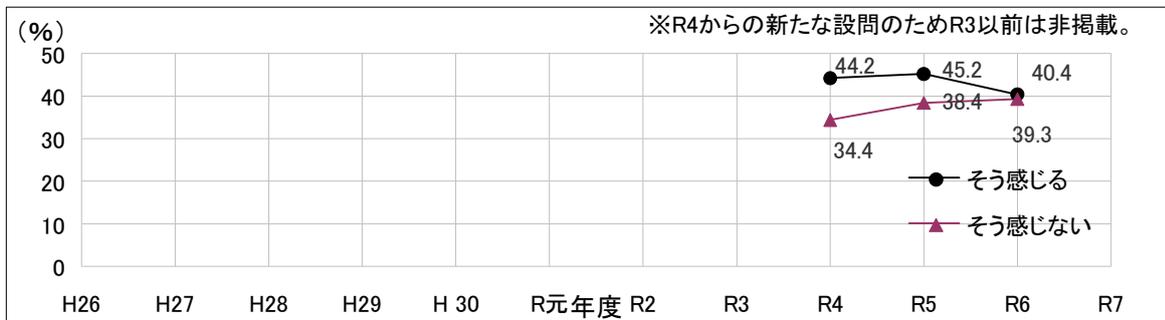
「そう感じる」（6.7%）と「どちらかといえばそう感じる」（33.7%）をあわせて“そう感じる”人は40.4%となり、「そう感じない」（10.6%）と「どちらかといえばそう感じない」（28.7%）をあわせた“そう感じない”人の39.3%よりも高い結果となりました。

また、「わからない」と回答した人が13.8%と比較的多い結果となりました。【図表29】

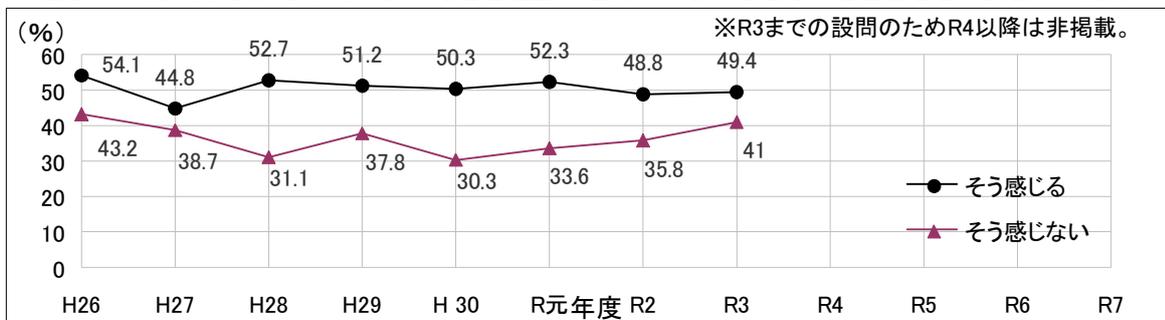
図表29 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じるか（全体）



図表30 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じる町民割合の推移



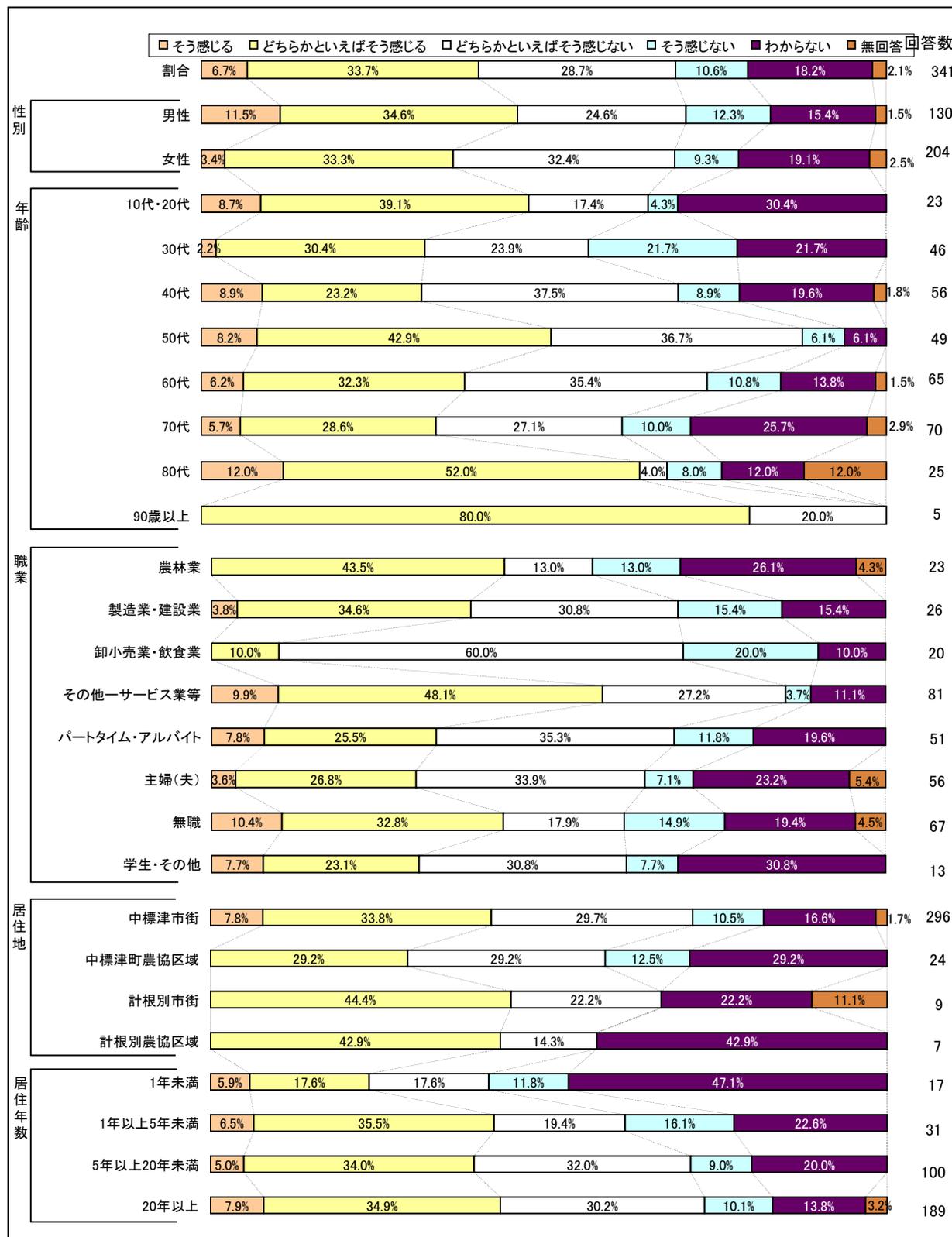
図表31 【参考】男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じる町民割合の推移



男女別の“そう感じる”割合は男性46.1%、女性36.7%と男女で認識に差がある結果となりました。年齢別では、30代（32.6%）・40代（32.1%）・70代（34.3%）で比較的低い結果となりました。

職業別では、卸小売業・飲食業（10.0%）が特に低い結果となっています。【図表32】

図表32 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参加できていると感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



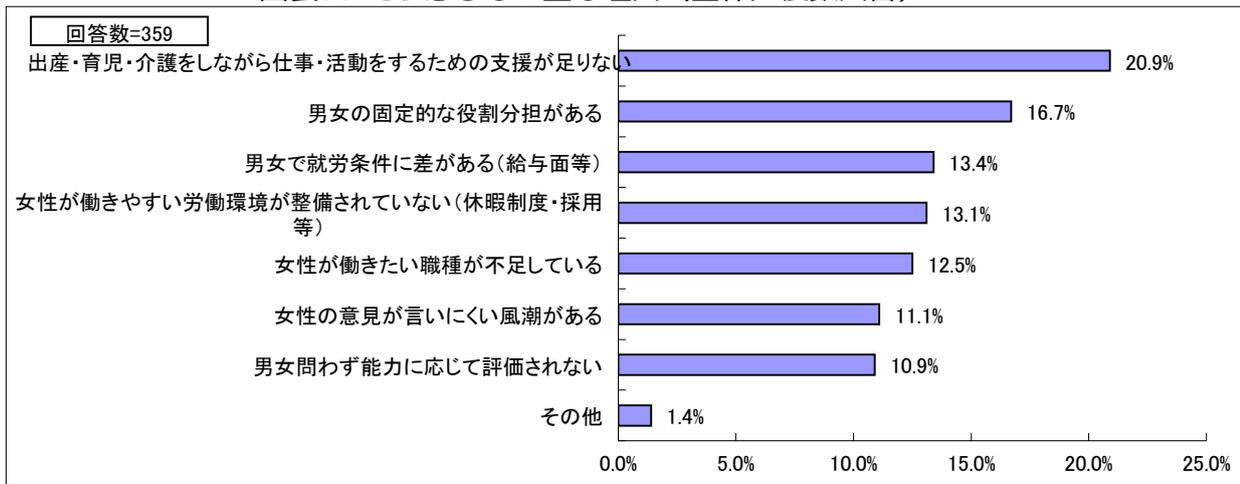
問10-1 そう感じない主な理由は何ですか。（問10で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」が第1位。次いで「男女の固定的な役割分担がある」の順。

問10で“そう感じない”と回答した人（全体の39.3%・134名）にそう感じない主な理由をたずねたところ「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」が最も高い結果となりました。【図表33】

性別でも、男女共に上記理由が最も高い結果となりました。

図表33 そう感じない主な理由（全体／複数回答）



図表34 そう感じない主な理由（性別、年齢、職業／複数回答）（上位3位 %）

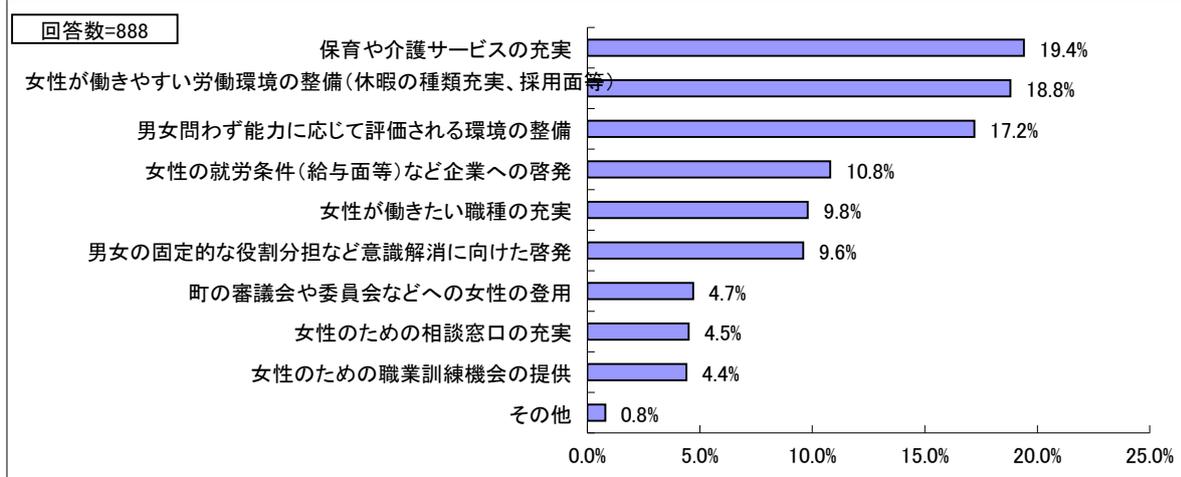
		第1位	第2位	第3位
性別	男性	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 21.5	男女の固定的な役割分担 17.4	男女で就労条件に差がある 17.2
	女性	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.8	男女の固定的な役割分担 16.0	女性が働きやすい労働環境 14.3
年齢	10代・20代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 33.3	男女の固定的な役割分担 (同率1位) 33.3	男女問わず能力に応じて評価されない 22.2
	30代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 24.6	男女の固定的な役割分担 18.0	女性が働きやすい労働環境 (同率2位) 18.0
	40代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.5	男女で就労条件に差がある 16.3	同率複数のため省略 -
	50代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.0	男女の固定的な役割分担 (同率1位) 20.0	男女で就労条件に差がある 16.0
	60代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.3	男女の固定的な役割分担 (同率1位) 20.3	同率複数のため省略 -
	70代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 23.0	男女問わず能力に応じて評価されない 16.4	女性の意見が言いにくい風潮がある 14.8
	80代	男女で就労条件に差がある 66.7	男女問わず能力に応じて評価されない 33.3	回答無し
	90歳以上	男女の固定的な役割分担 33.3	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 33.3	女性の意見が言いにくい風潮がある (同率1位) 33.3
	職業	農林業	男女で就労条件に差がある 25.0	男女の固定的な役割分担 18.0
製造業・建設業		男女の固定的な役割分担 29.6	男女で就労条件に差がある 25.9	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.5
卸小売業・飲食業		出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.0	女性の意見が言いにくい風潮がある 17.5	男女で就労条件に差がある 15.0
その他-サービス業等		出産・育児・介護しながら仕事をする支援 25.8	男女の固定的な役割分担 18.2	女性が働きやすい労働環境 15.2
パートタイム・アルバイト		出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.4	男女の固定的な役割分担 15.8	同率複数のため省略 -
主婦(夫)		出産・育児・介護しながら仕事をする支援 22.2	男女の固定的な役割分担 15.9	女性が働きやすい労働環境 15.9
無職		出産・育児・介護しながら仕事をする支援 24.0	男女の固定的な役割分担 16.0	男女問わず能力に応じて評価されない (同率2位) 16.0
学生・その他		出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.0	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 20.0	同率複数のため省略 -

問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「保育や介護サービスの充実」が第1位。次いで「女性が働きやすい環境の労働環境の整備」、「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」の順。

男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組みをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実」「女性が働きやすい労働環境整備」「男女問わず能力に応じて評価される環境整備」の3項目がほとんどの年代・職種で高い結果となりました。【図表35・36】

図表35 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表36 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

性別		第1位			第2位			第3位			
		割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容
性別	男性	21.8	男女問わず能力に応じて評価	16.9	女性が働きやすい労働環境整備	15.7	保育や介護サービスの充実				
	女性	21.7	保育や介護サービスの充実	19.6	女性が働きやすい労働環境整備	14.4	男女問わず能力に応じて評価				
年齢	10代・20代	23.9	女性が働きやすい労働環境整備	19.4	保育や介護サービスの充実	14.9	男女問わず能力に応じて評価				
	30代	21.7	女性が働きやすい労働環境整備	20.9	保育や介護サービスの充実	13.0	女性の就労条件など企業への啓発				
	40代	20.6	女性が働きやすい労働環境整備	17.1	男女問わず能力に応じて評価	15.9	保育や介護サービスの充実				
	50代	17.8	保育や介護サービスの充実	17.8	女性が働きやすい労働環境整備(同率1位)	17.1	男女問わず能力に応じて評価				
	60代	21.9	保育や介護サービスの充実	17.1	女性が働きやすい労働環境整備	15.0	男女問わず能力に応じて評価				
	70代	22.8	保育や介護サービスの充実	19.3	男女問わず能力に応じて評価	15.2	女性が働きやすい労働環境整備				
	80代	31.1	男女問わず能力に応じて評価	20.0	女性が働きやすい労働環境整備	13.3	保育や介護サービスの充実				
	90歳以上	57.1	男女問わず能力に応じて評価	-	同率複数のため省略	-	同率複数のため省略				
	職業	農林業	26.1	男女問わず能力に応じて評価	19.6	保育や介護サービスの充実	17.4	女性が働きやすい労働環境整備			
製造業・建設業		18.1	女性が働きやすい労働環境整備	16.7	男女問わず能力に応じて評価	16.7	女性の就労条件など企業への啓発(同率2位)				
卸小売業・飲食業		20.0	男女問わず能力に応じて評価	16.4	保育や介護サービスの充実	16.4	女性が働きやすい労働環境整備(同率2位)				
その他-サービス業等		21.1	保育や介護サービスの充実	21.1	女性が働きやすい労働環境整備(同率1位)	14.7	男女問わず能力に応じて評価				
パートタイム・アルバイト		19.4	保育や介護サービスの充実	18.7	女性が働きやすい労働環境整備	12.9	男女問わず能力に応じて評価				
主婦(夫)		22.1	保育や介護サービスの充実	19.6	女性が働きやすい労働環境整備	14.1	男女問わず能力に応じて評価				
無職		23.8	男女問わず能力に応じて評価	17.5	保育や介護サービスの充実	16.8	女性が働きやすい労働環境整備				
学生・その他		20.0	男女問わず能力に応じて評価	16.7	保育や介護サービスの充実	16.7	男女の固定的な役割分担(同率2位)				

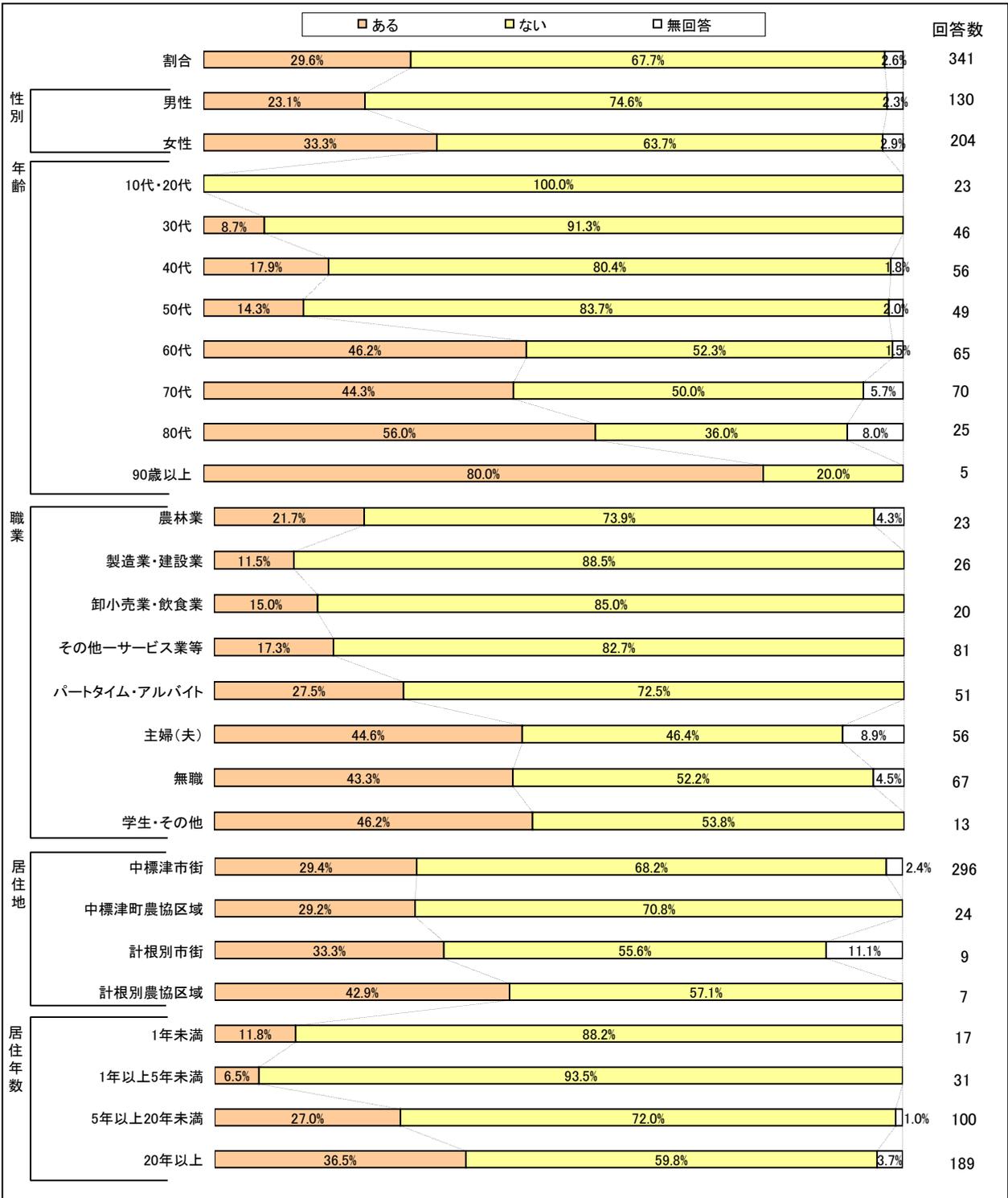
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

● “ある”が29.6%、“ない”は67.7%。

“ある”と回答した人は全体で29.6%、“ない”と回答した人は全体で67.7%となりました。年齢別では60代以降で“ある”人が4割以上となっており、90代では80.0%と最も高い結果となりました。

また、10代・20代では“ある”人が0%となりました。【図表37】

図表37 情報通信機器を持っていない又は操作が苦手で困ったことがあるか。（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



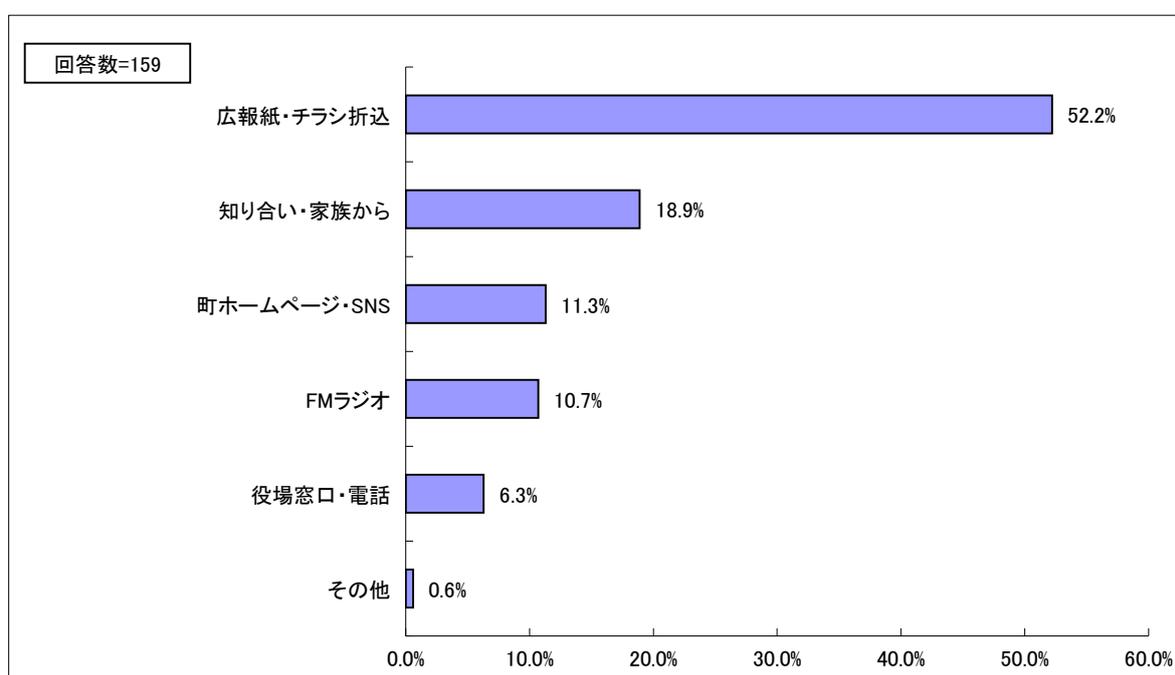
問12-1 主に何からまちの情報を取得しますか。（問12で「ある」を選択した方のみ）
【複数回答】

- 「広報紙・チラシ折込」が第1位。次いで「知り合い・家族から」、「町ホームページ・SNS」の順。

問12で“ある”と回答した人（全体の29.6%・101名）に主に何からまちの情報を取得しているかたずねたところ「広報紙・チラシ」が最も高く、次いで「知り合い・家族から」が高い結果となりました。【図表38】

年齢別では、ほとんどの年代で「広報紙・チラシ」が最も高い結果となりました。

図表38 主に何からまちの情報を取得しているか（全体／複数回答）



図表39 主に何からまちの情報を取得しているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	広報紙・チラシ折込 46.7	FMラジオ 17.8	知り合い・家族から 15.6
	女性	広報紙・チラシ折込 25.0	知り合い・家族から (同率1位) 25.0	町ホームページ・SNS (同率1位) 25.0
年齢	10代・20代	FMラジオ 100.0	回答なし -	回答なし -
	30代	広報紙・チラシ折込 50.0	町ホームページ・SNS (同率1位) 50.0	知り合い・家族から -
	40代	広報紙・チラシ折込 38.1	町ホームページ・SNS 23.8	知り合い・家族から 19.0
	50代	広報紙・チラシ折込 42.9	知り合い・家族から 28.6	同率複数のため省略 -
	60代	広報紙・チラシ折込 43.1	知り合い・家族から 25.5	町ホームページ・SNS 13.7
年齢	70代	広報紙・チラシ折込 65.1	知り合い・家族から 11.6	町ホームページ・SNS 9.3
	80代	広報紙・チラシ折込 78.9	知り合い・家族から 15.8	FMラジオ 5.3
	90歳以上	広報紙・チラシ折込 57.1	FMラジオ 28.6	知り合い・家族から 14.3

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる”が59.3%、“そう感じない”が21.7%。

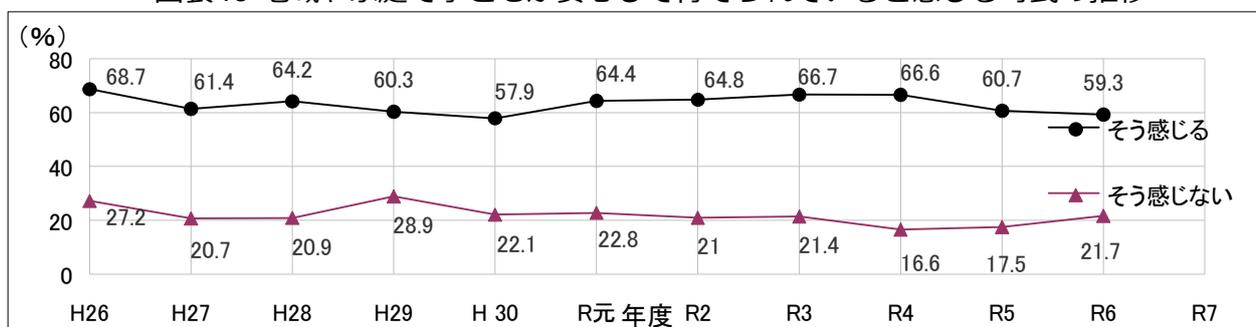
（そう感じる 9.4%
どちらかといえばそう感じる 49.9%） （そう感じない 5.6%
どちらかといえばそう感じない 16.1%）

「そう感じる」（9.4%）と「どちらかといえばそう感じる」（49.9%）をあわせて“そう感じる”人は59.3%となりました。

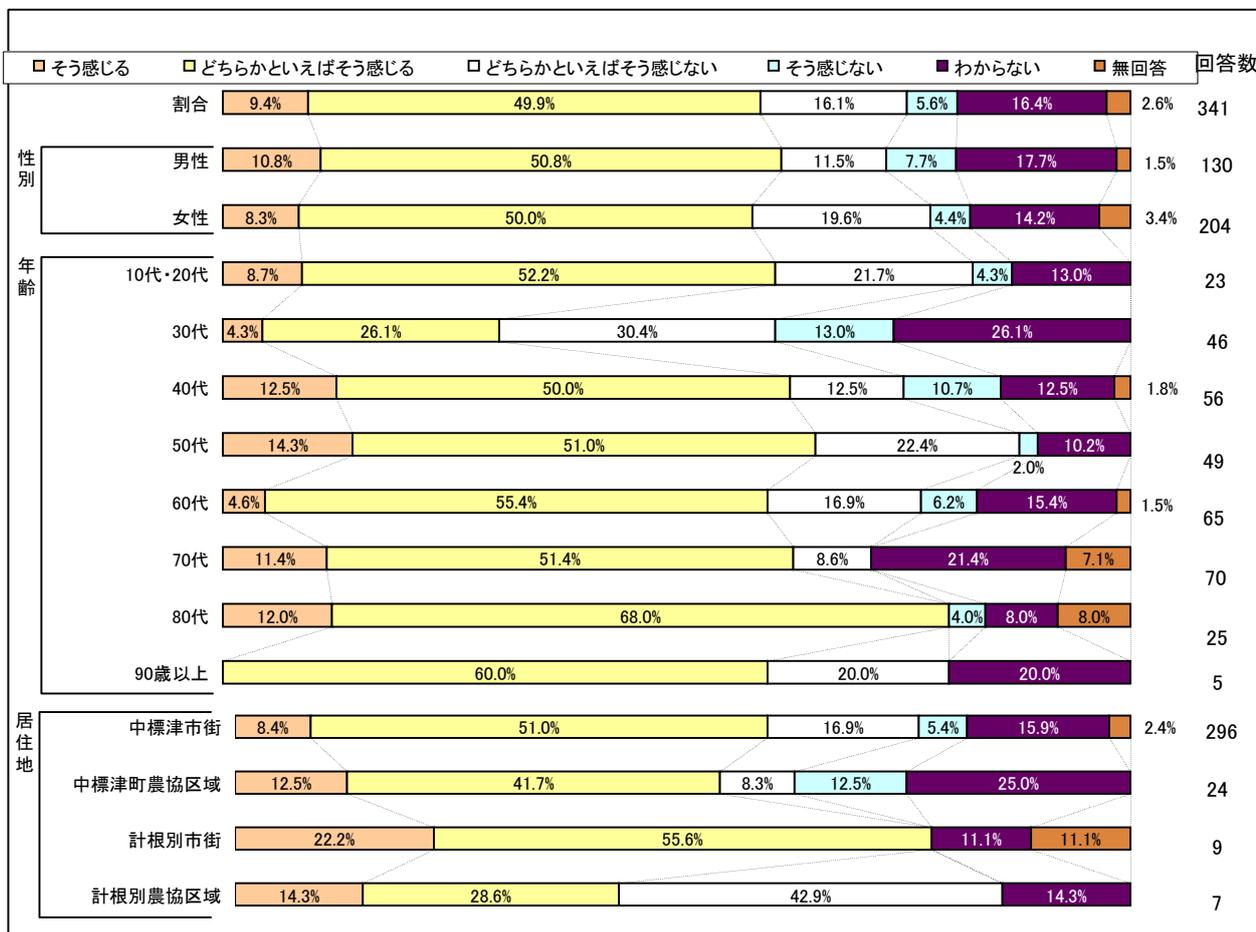
これまでの推移を見ると概ね横ばいとなっております。【図表40】

年齢別では“そう感じる”人が30代（30.4%）で若干低く、居住地別では計根別農協区域（42.9%）が比較的低い結果となりました。【図表41】

図表40 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じる町民の推移



図表41 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる”が40.5%、“そう感じない”が39.6%。

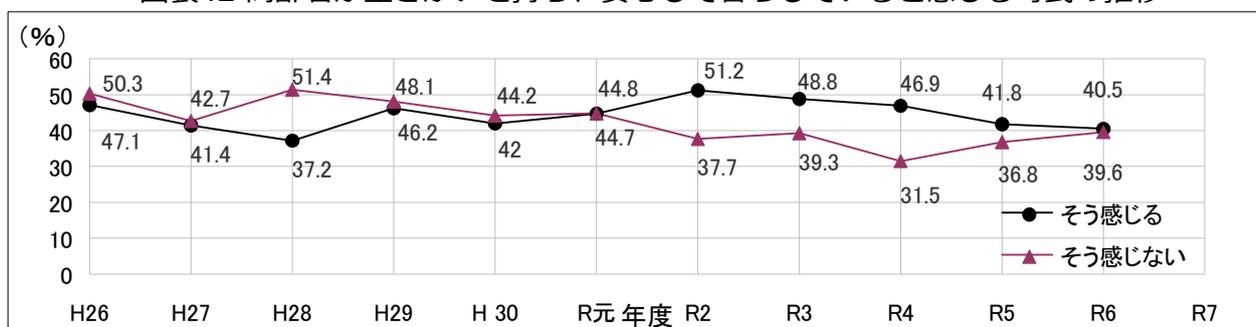
（そう感じる 8.8% そう感じない 11.4%
 どちらかといえばそう感じる 31.7% どちらかといえばそう感じない 28.2%）

「そう感じる」（8.8%）と「どちらかといえばそう感じる」（31.7%）をあわせて“そう感じる”人は40.5%となりました。

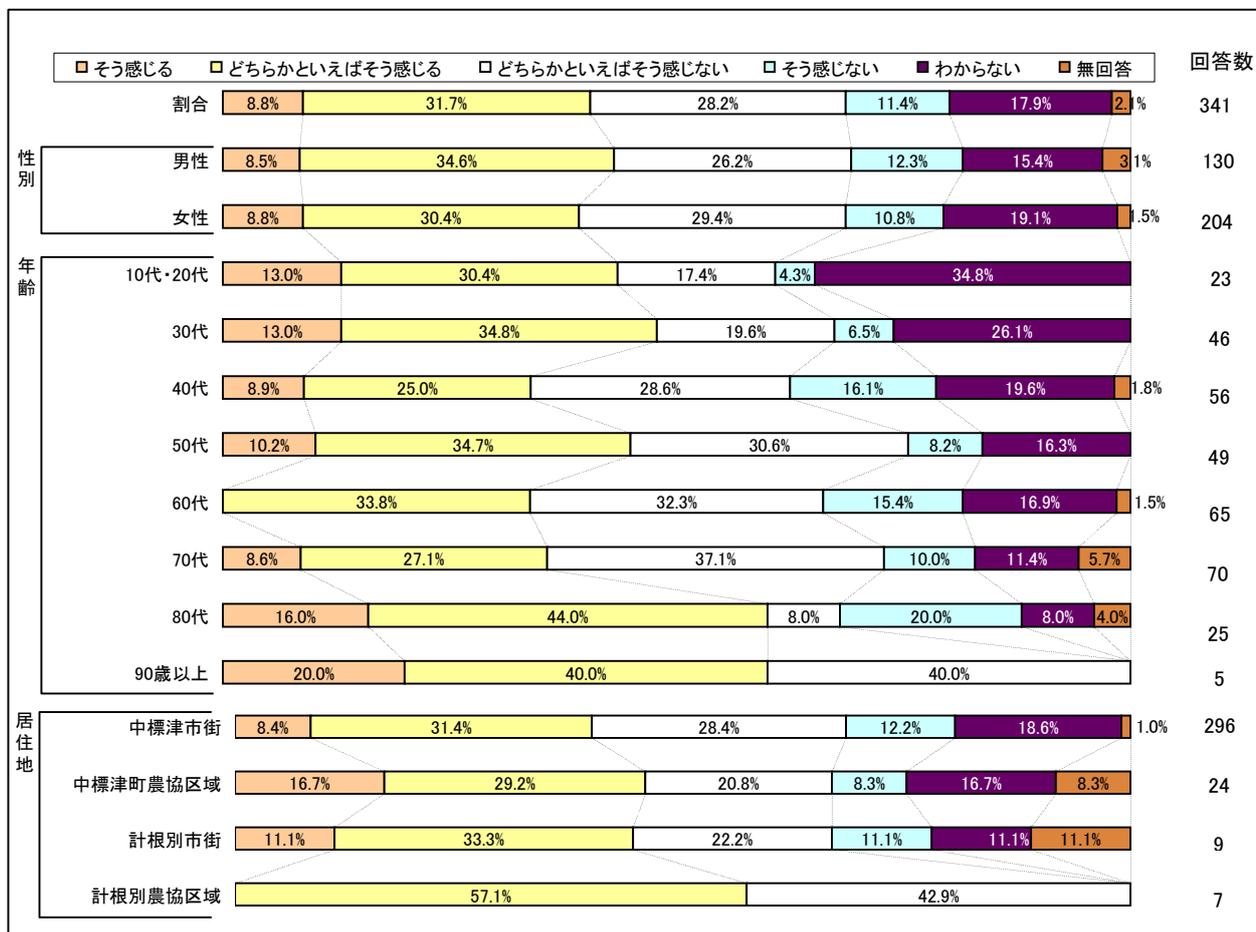
これまでの推移を見ると“そう感じる”人が減少傾向にあります。【図表42】

年齢別では40代および60代で“そう感じる”人が比較的少なく、80代、90代以上で高い結果となりました。【図表43】

図表42 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる町民の推移



図表43 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。

- “参加している”が17.3%、“参加していない”が74.5%。
“参加したい”が36.1%、“参加したくない”が55.7%。

地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向について確認したところ次のとおりとなりました。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| ①現在参加しているし今後も参加したい 13.2% | ③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない 4.1% |
| ②現在参加していないが今後は参加したい 22.9% | ④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない 51.6% |

現在“参加している”人は①と③を合わせた17.3%、“参加していない”人は②と④を合わせた74.5%となり、今後“参加したい”人は①と②をあわせた36.1%、“参加したくない”人は③と④をあわせた55.7%となります。

これまでの推移を見ると“参加したい”人が減少傾向である他、“参加している”人はH29～R元年度をピークにそれ以前の水準まで減少していることがわかります。【図表46】

①について見ると、性別では男性（13.1%）、女性（13.2%）とほぼ同数で、年齢別では10～30代が特に低い結果となっているほか、居住地別では、中標津町農協区域及び計根別農協区域が特に高い結果となりました。

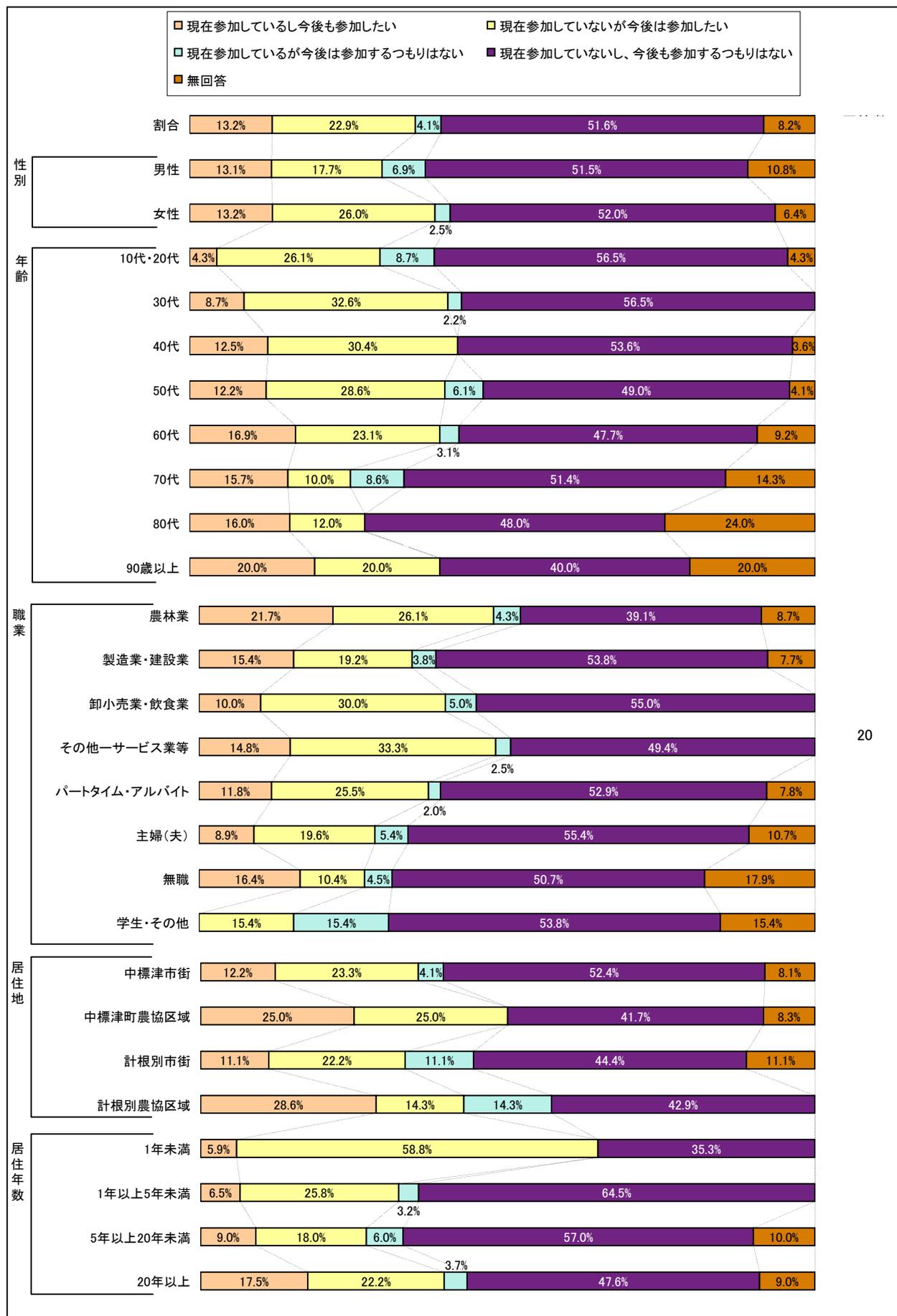
居住年数別では、1年未満の割合が最も高く、次いで20年以上が高くなっております。

【図表47】

図表46 地域活動・ボランティア活動へ参加している町民と参加意向の推移



図表47 地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



問16-1 あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（問16で“参加したい”を選択した方のみ）【複数回答】

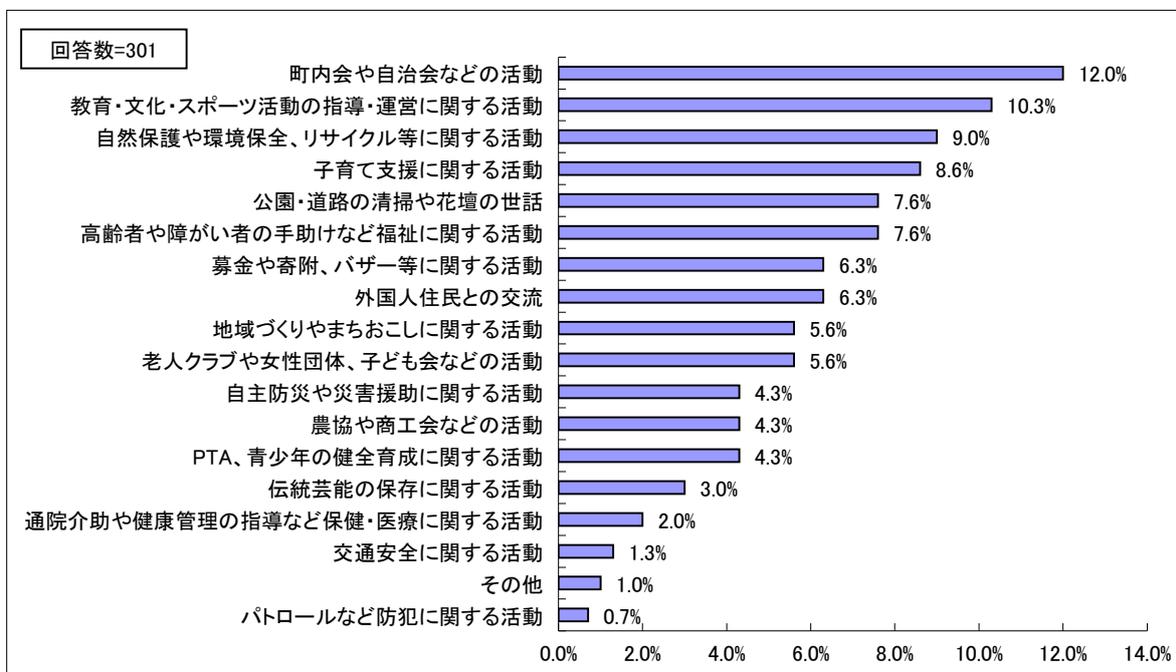
- 「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」の順。

問16で“参加したい”と回答した人（全体の36.1%・123名）に参加したい地域活動等についてたずねたところ「町内会や自治会などの活動」が最も高く、次いで「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」が高くなりました。【図表48】

年齢別では10代・20代、30代で「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」が最も高い結果となりました。

【図表49】

図表48 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表49 参加したい地域活動等について（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	教育・文化・スポーツの指導・運営 16.8	町内会や自治会活動 9.5	同率複数のため省略 -
	女性	町内会や自治会活動 13.6	自然保護や環境保全、リサイクル等 10.1	同率複数のため省略 -
年齢	10代・20代	教育・文化・スポーツ活動 18.2	子育て支援に関する活動 (同率1位) 18.2	外国人住民との交流 13.6
	30代	教育・文化・スポーツ活動 10.9	子育て支援に関する活動 (同率1位) 10.9	自然保護や環境保全、リサイクル等 9.1
	40代	自然保護や環境保全、リサイクル等 11.6	教育・文化・スポーツ活動 10.6	町内会や自治会活動 (同率2位) 10.6
	50代	公園・道路清掃、花壇の世話 15.4	教育・文化・スポーツ活動 9.6	自然保護や環境保全、リサイクル等 (同率2位) 9.6
	60代	町内会や自治会活動 22.2	高齢者や障がい者の手助け 13.3	同率複数のため省略 -
年齢	70代	町内会や自治会活動 25.6	自然保護や環境保全、リサイクル等 12.8	同率複数のため省略 -
	80代	老人クラブや女性団体、子ども会 17.6	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	90歳以上	町内会や自治会活動 50.0	老人クラブや女性団体、子ども会 (同率1位) 50.0	回答なし -

問17 町立病院の医療体制に満足していますか。

● “満足している”が34.3%、“満足していない”が54.2%。

〔満足している 4.1%
どちらかといえば満足している 30.2%〕
〔満足していない 25.2%
どちらかといえば満足していない 29.0%〕

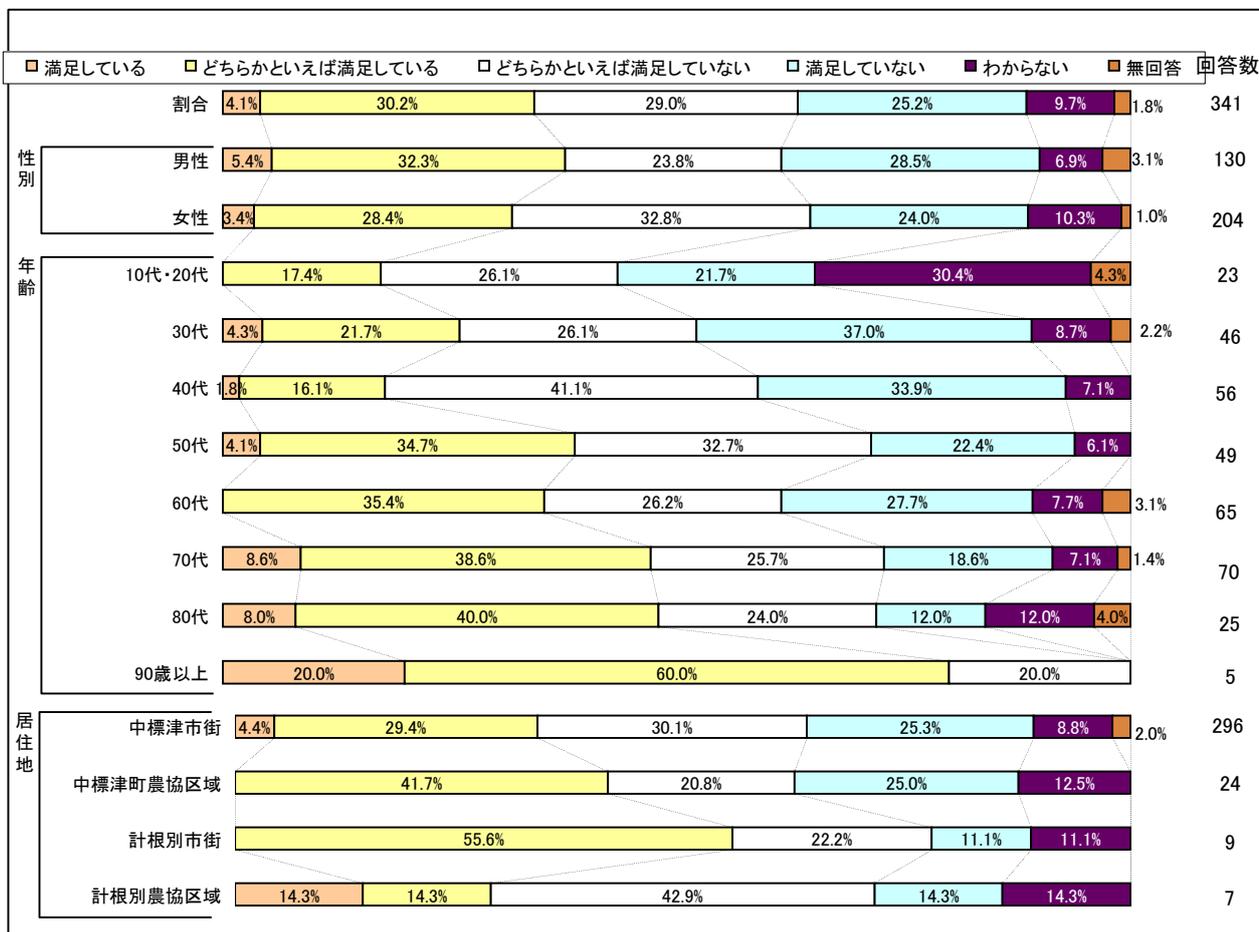
「満足している」（4.1%）と「どちらかといえば満足している」（30.2%）をあわせた“満足している”人は34.3%となり、「満足していない」（25.2%）と「どちらかといえば満足していない」（29.0%）をあわせた“満足していない”人の54.2%を下回る結果となりました。

年齢別では“満足している”人は10代・20代（17.4%）で最も低く、90歳以上（80.0%）で特に高い結果となりました。【図表51】

図表50 町立病院の医療体制に満足している町民の推移



図表51 町立病院の医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる”が37.8%、“そう感じない”が43.9%。

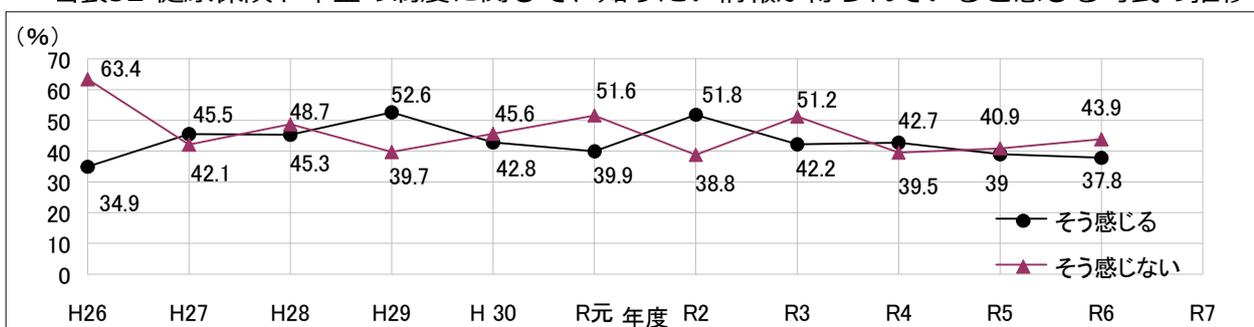
（そう感じる 7.6%
どちらかといえばそう感じる 30.2%） （そう感じない 15.5%
どちらかといえばそう感じない 28.4%）

「そう感じる」（7.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（30.2%）をあわせた“そう感じる”人は37.8%となりました。

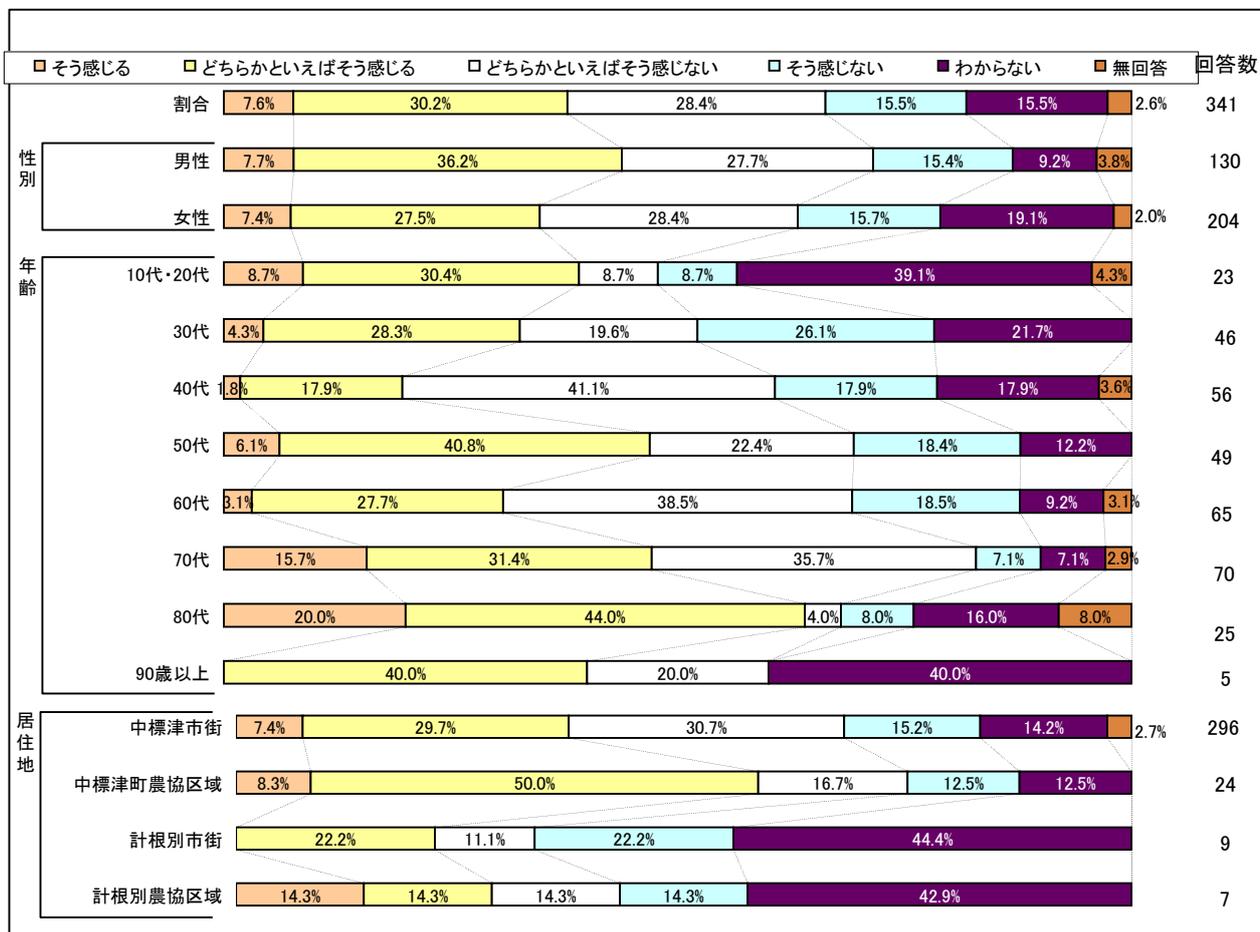
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表52】

性別では男性（43.9%）が女性（34.9%）よりも高く、年齢別では、40代の“そう感じる”割合が特に低い結果となりました。【図表53】

図表52 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じる町民の推移



図表53 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問19 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる”が69.2%、“そう感じない”が26.1%。

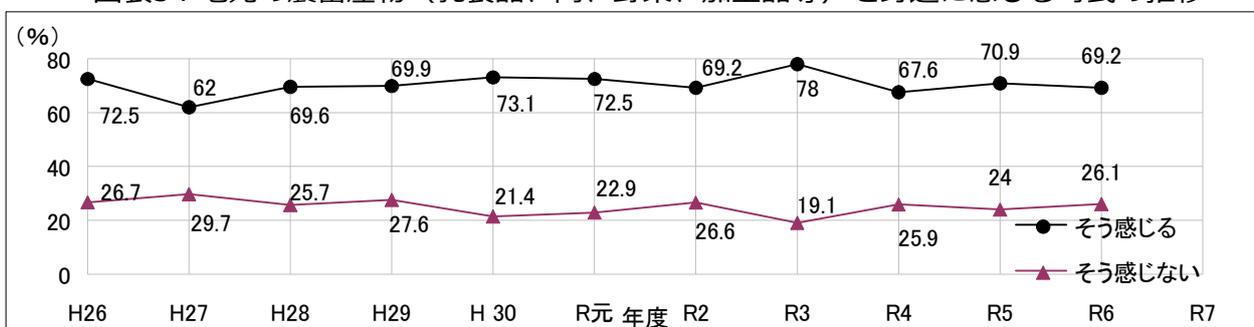
（そう感じる 27.6%
どちらかといえばそう感じる 41.6%） （そう感じない 8.2%
どちらかといえばそう感じない 17.9%）

「そう感じる」（27.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（41.6%）をあわせた“そう感じる”人は69.2%となりました。

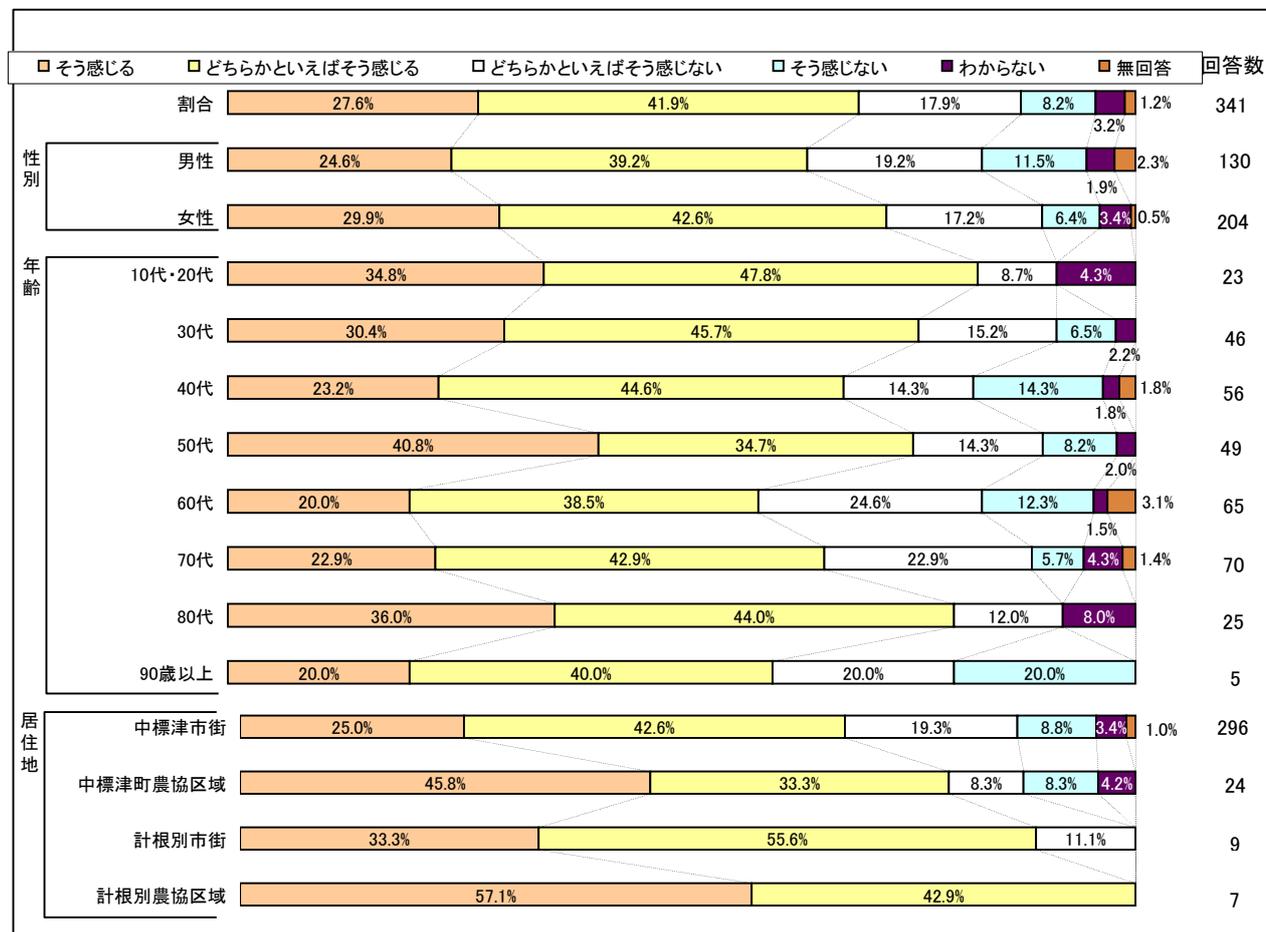
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表54】

年齢別では、10代・20代で“そう感じる”割合が高く、一方で60代は比較的低い結果となりました。【図表53】

図表54 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じる町民の推移



図表55 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

● “参加したいと思う”が28.7%、“参加したくない”が51.1%。

参加したいと思う 7.3%
 どちらかといえば参加したいと思う 21.4%

 参加したくない 23.2%
 どちらかといえば参加したくない 27.9%

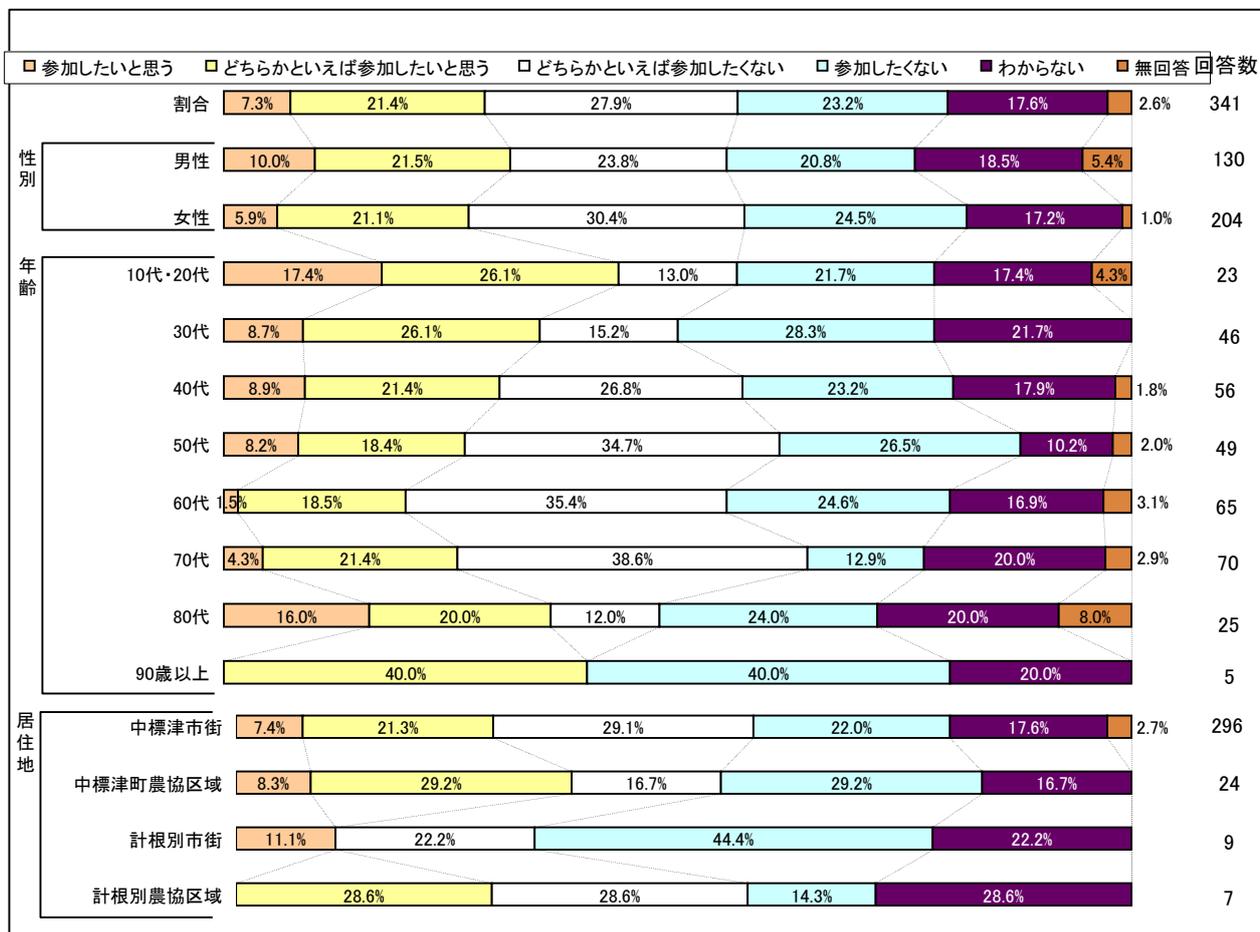
「参加したいと思う」（7.3%）と「どちらかといえば参加したいと思う」（21.4%）をあわせた“参加したいと思う”人は28.7%となりました。

性別では、男性（31.5%）が女性（27.0%）よりも高い結果となり、年齢別では10代・20代（43.5%）が最も高く、居住地別では中標津農協区域（37.5%）が最も高い結果となりました。【図表57】

図表56 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思う町民の推移



図表57 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

● “満足している”が73.3%、“満足していない”が24.0%。

〔満足している 20.8%
どちらかといえば満足している 52.5%〕 〔満足していない 8.5%
どちらかといえば満足していない 15.5%〕

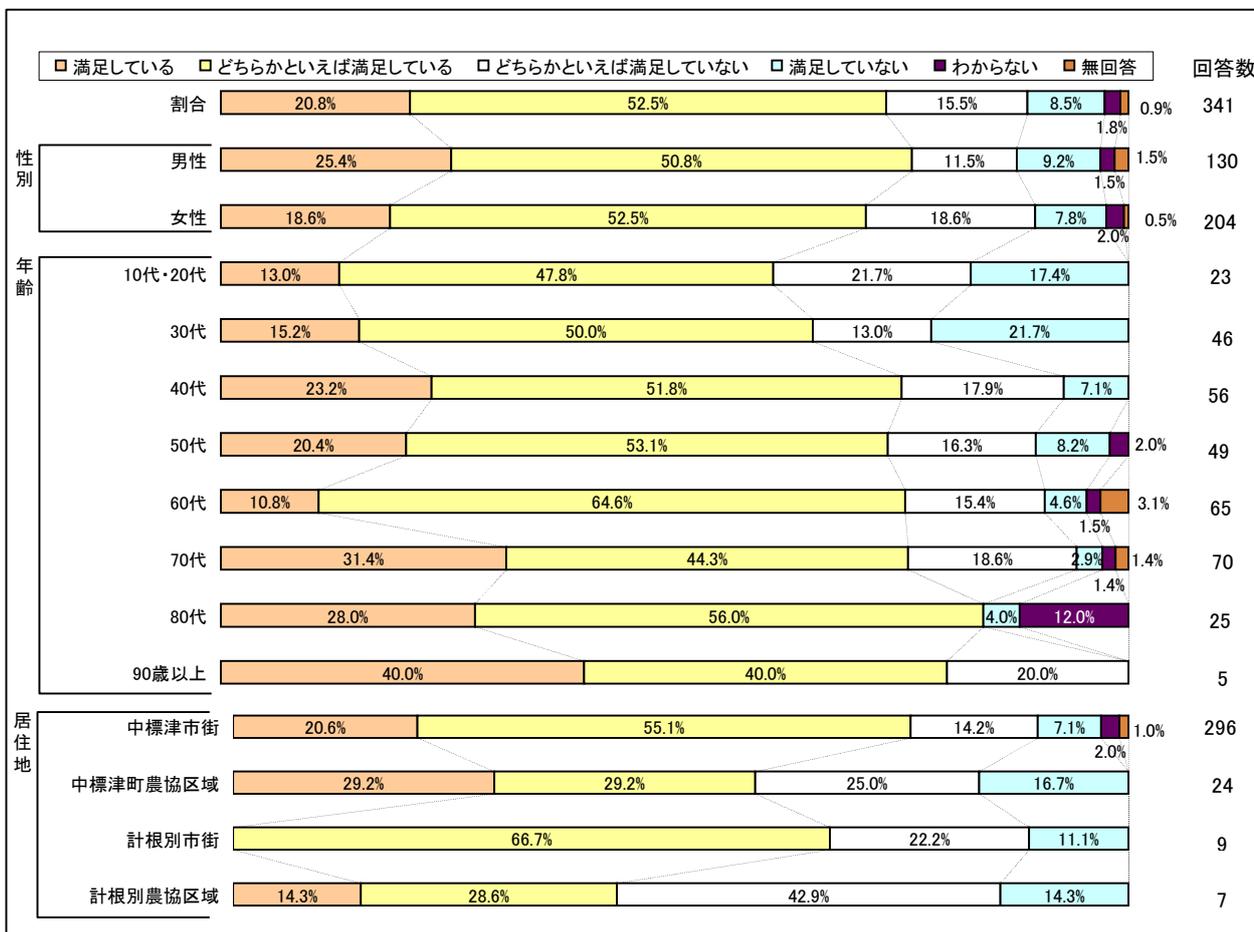
「満足している」（20.8%）と「どちらかといえば満足している」（52.5%）をあわせた“満足している”人は73.3%となりました。

性別では男性（76.2%）が女性（71.1%）よりも高い結果となった他、年齢別では10代・20代の“満足している”人は60.8%で最も低い結果となりました。居住地別では中標津市街（75.7%）が最も高く、計根別農協区域（42.9%）が最も低い結果となりました。【図表59】

図表58 町内での飲食や買い物に満足している町民の推移



図表59 町内での飲食や買い物に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。

● “持っている”が61.8%、“持っていない”が21.4%。

（持っている 16.1%
どちらかといえば持っている 45.7%） （持っていない 5.0%
どちらかといえば持っていない 16.4%）

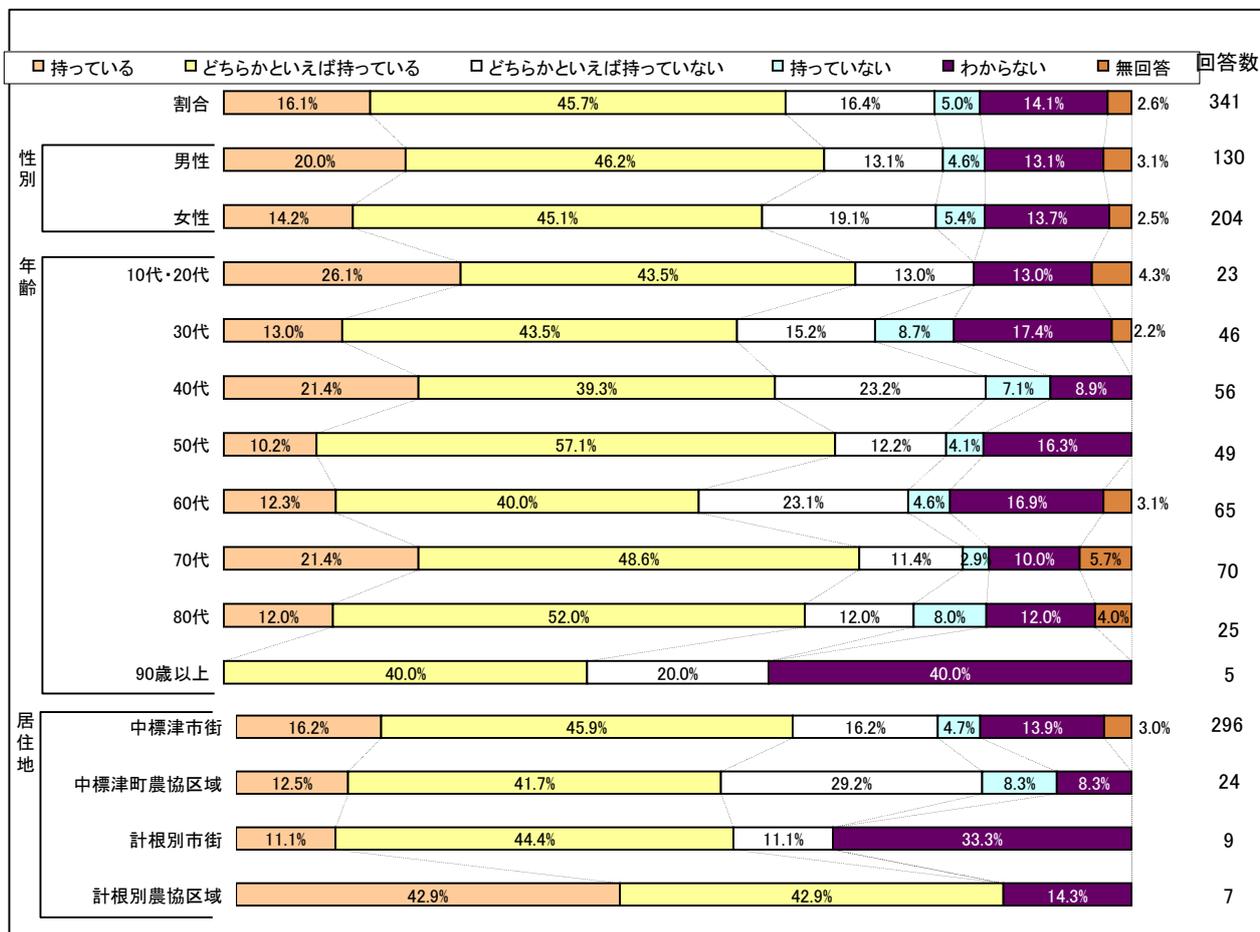
「持っている」（16.1%）と「どちらかといえば持っている」（45.7%）をあわせた“持っている”人は61.8%となりました。

性別では、女性（59.3%）よりも男性（66.2%）の方が高い結果となった他、年齢別では90歳以上（40.0%）で最も低く、10代・20代（69.6%）と70代（70.0%）で比較的高い結果となりました。【図表61】

図表60 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っている町民の推移



図表61 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか。

● “満足している”が27.3%、“満足していない”が30.8%。

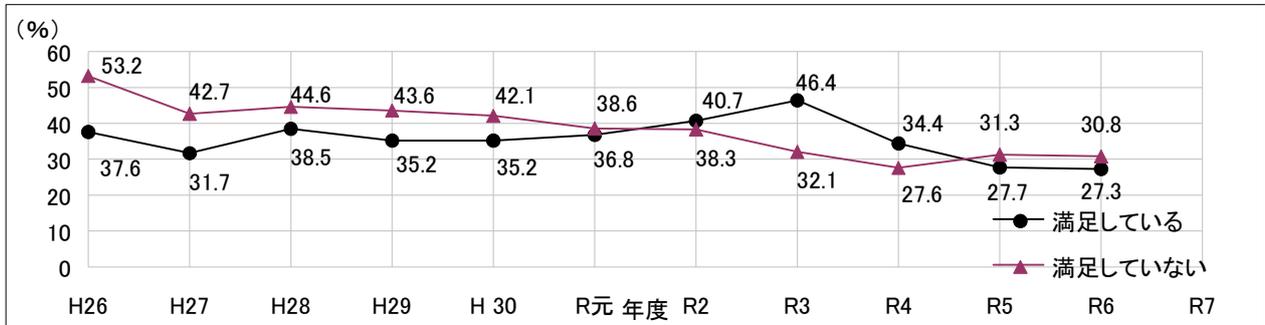
〔満足している 4.7%
どちらかといえば満足している 22.6%〕
〔満足していない 10.6%
どちらかといえば満足していない 20.2%〕

「満足している」（4.7%）と「どちらかといえば満足している」（22.6%）をあわせた“満足している”人は27.3%となりました。

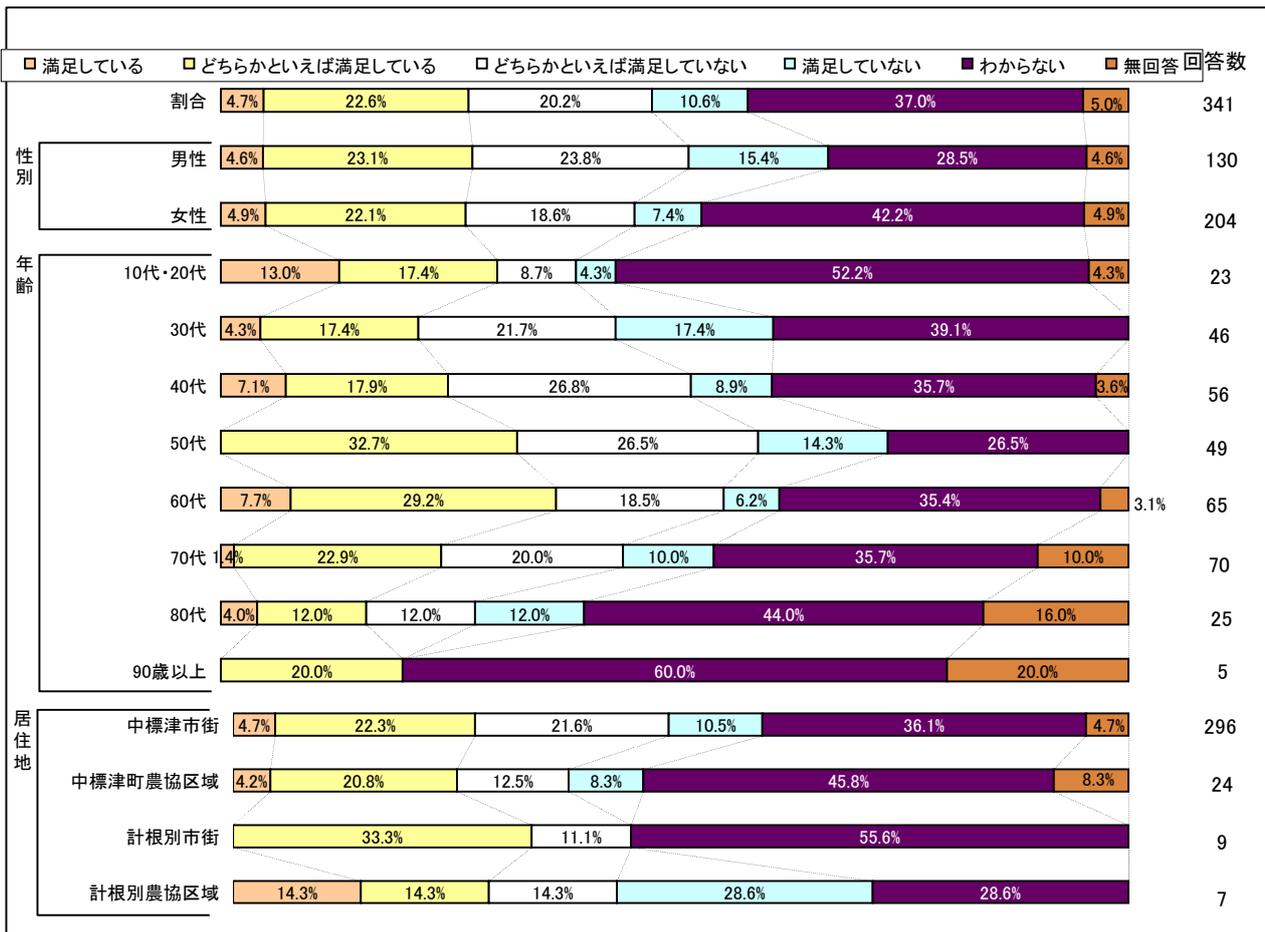
これまでの推移をみるとR3からR5にかけて大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多いことから、その影響も大きいと思われます。【図表62】

性別では、男性（27.7%）と女性（27.0%）がほぼ同数で、年齢別では50代、60代が高い結果となりました。【図表63】

図表62 雇用対策に満足している町民の推移



図表63 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていますか。

● “そう感じる”が61.6%、“そう感じない”が31.9%。

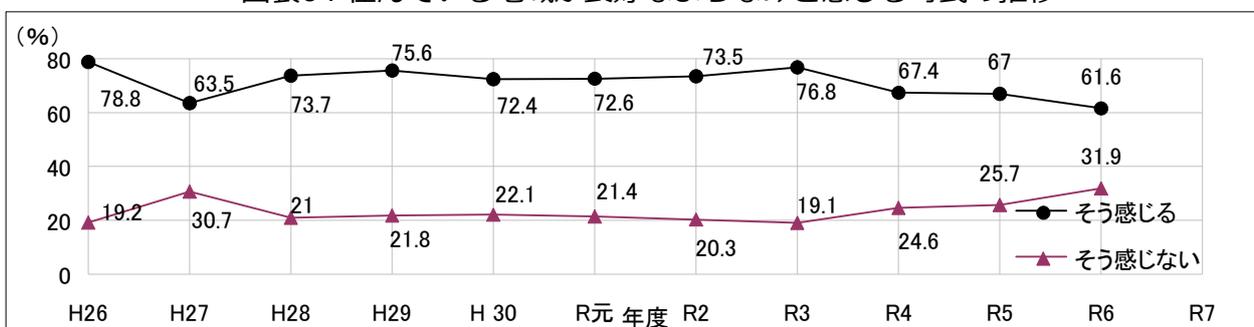
（そう感じる 12.9%
 どちらかといえばそう感じる 48.7%） （そう感じない 12.0%
 どちらかといえばそう感じない 19.9%）

「そう感じる」（12.9%）と「どちらかといえばそう感じる」（48.7%）をあわせた“そう感じる”人は61.6%となりました。

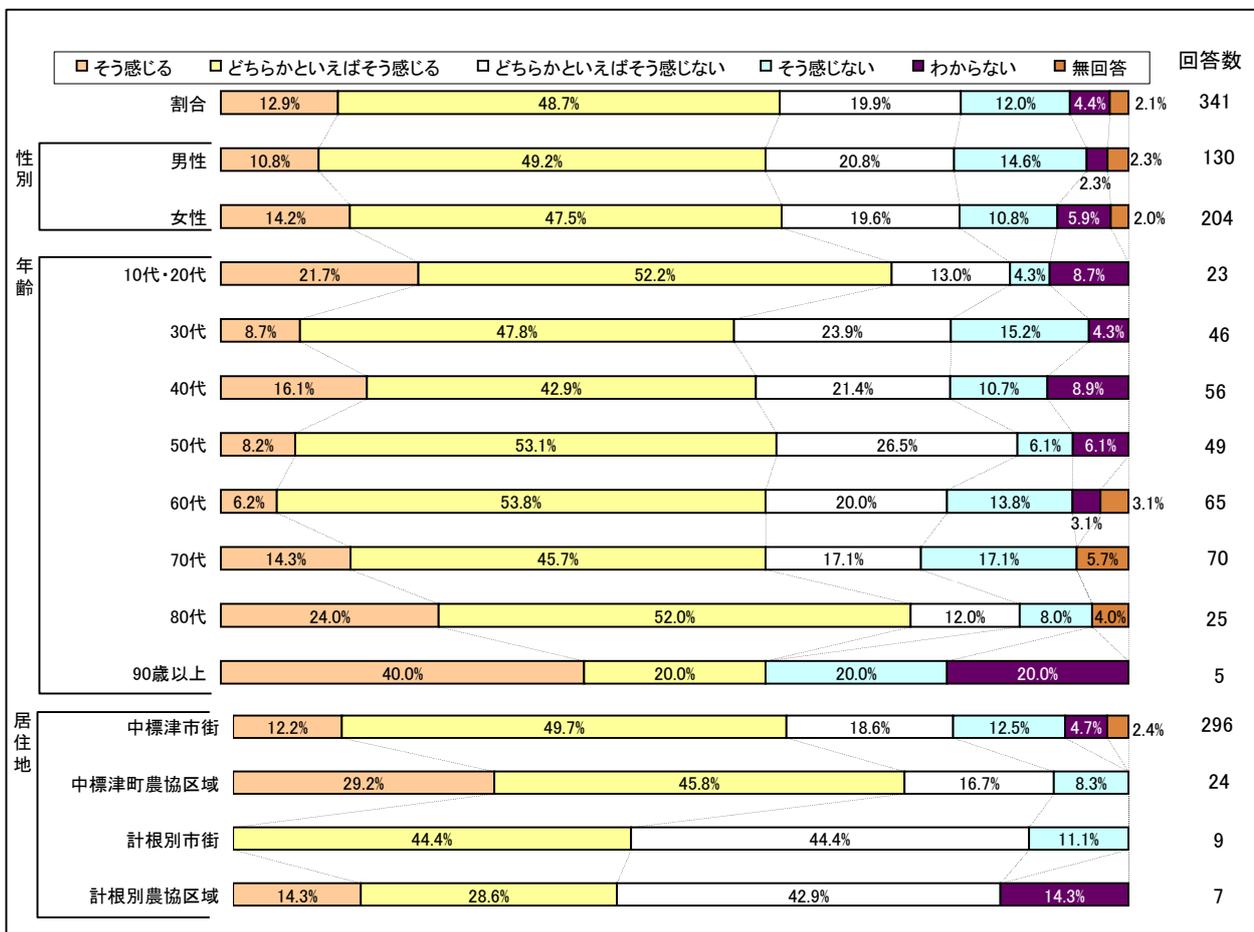
これまでの推移を見ると“そう感じる”割合が減少傾向であります。【図表64】

年齢別では、80代（76.0%）で最も高く、30代（56.5%）と40代（59.0%）が比較的低い結果となりました。【図表65】

図表64 住んでいる地域が良好なまちなみと感じる町民の推移



図表65 住んでいる地域が良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

● “意識している”が72.4%、“意識していない”が22.3%。

（意識している 25.8%
どちらかといえば意識している 46.6%） （意識していない 9.4%
どちらかといえば意識していない 12.9%）

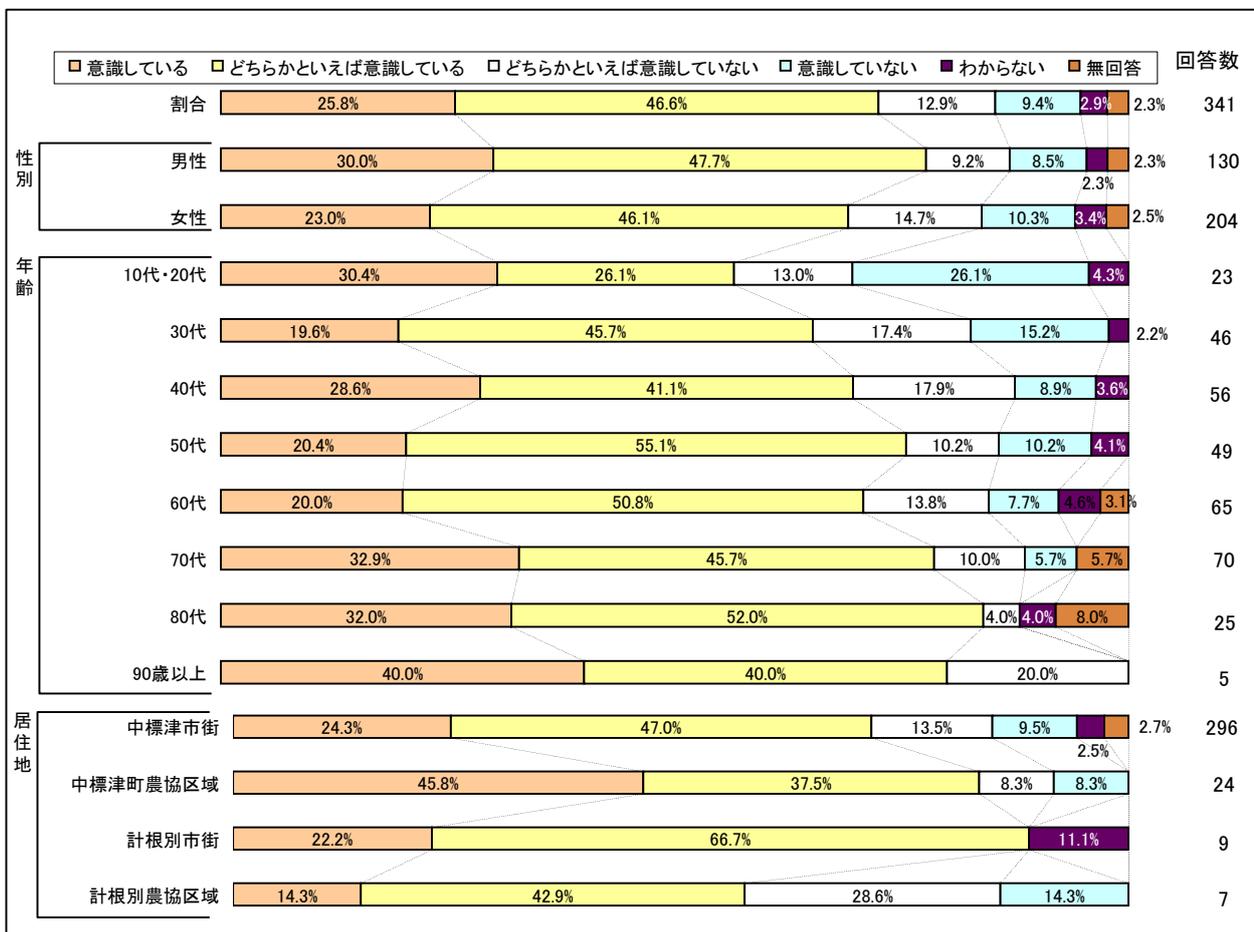
「意識している」（25.8%）と「どちらかといえば意識している」（46.6%）をあわせた“意識している”人は72.4%となりました。

性別では男性（77.7%）が女性（69.1%）よりも高く、年齢別では80代の“意識している”人の割合が特に高い結果となりました。居住地別では、計根別市街（88.9%）で非常に高い結果となりました。【図表67】

図表66 日々の生活の中で景観を意識している町民の推移



図表67 日々の生活の中で景観を意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問26 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

● “そう感じる”が13.5%、“そう感じない”が52.5%。

（そう感じる 1.8%
どちらかといえばそう感じる 11.7%） （そう感じない 32.6%
どちらかといえばそう感じない 19.9%）

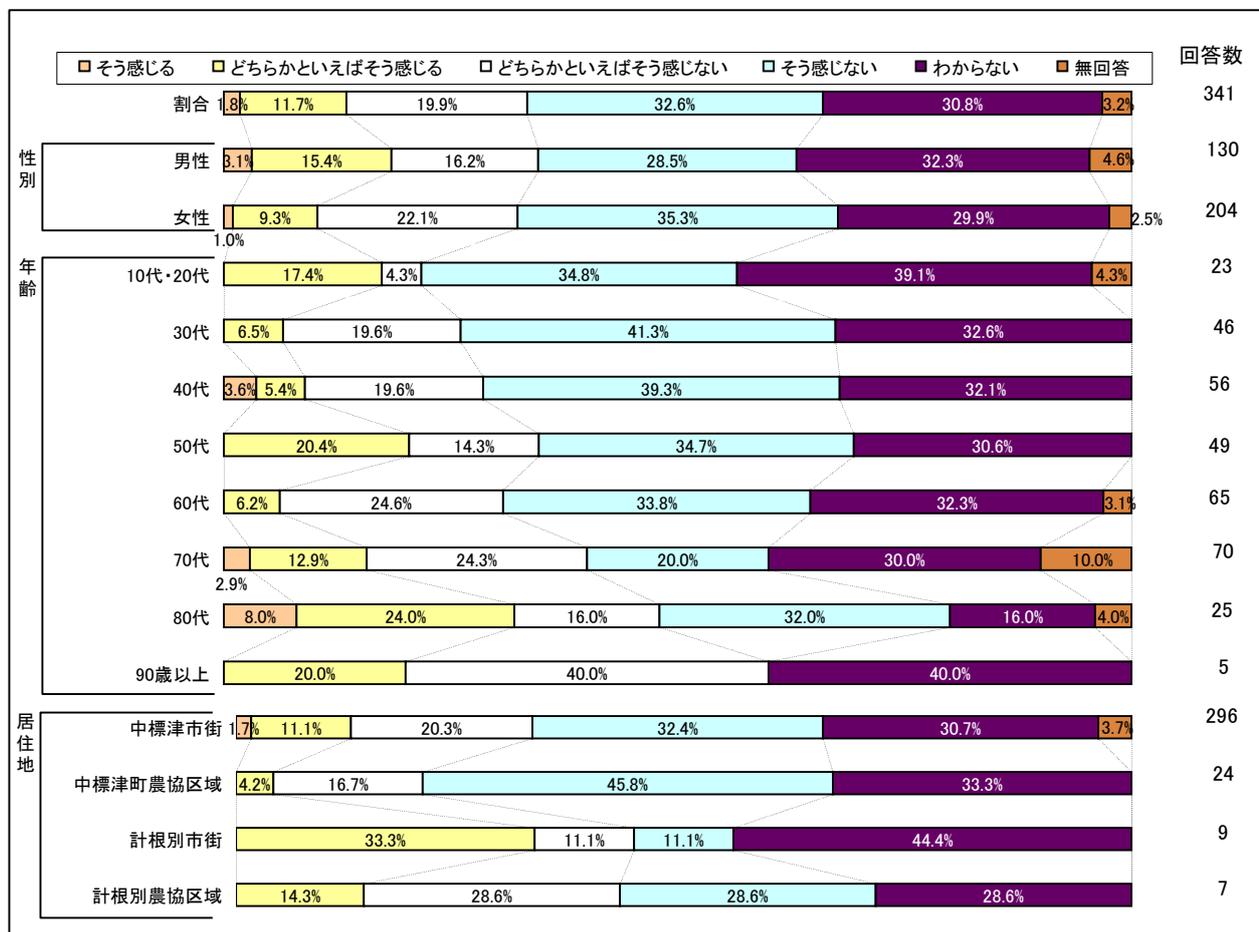
“そう感じる”人が13.5%に対し、“そう感じない”人は52.5%と大きく下回っています。これまでの推移をみると、両方の方がR3から大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多く、その影響が大きいと思われます。【図表68】性別では“そう感じる”人は女性（10.3%）よりも男性（18.5%）の方が高く、年齢別では80代（32.0%）が最も高く、次いで50代（20.4%）が高い結果となっています。

【図表69】

図表68 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じる町民の推移



図表69 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している”が74.2%、“満足していない”が13.2%。

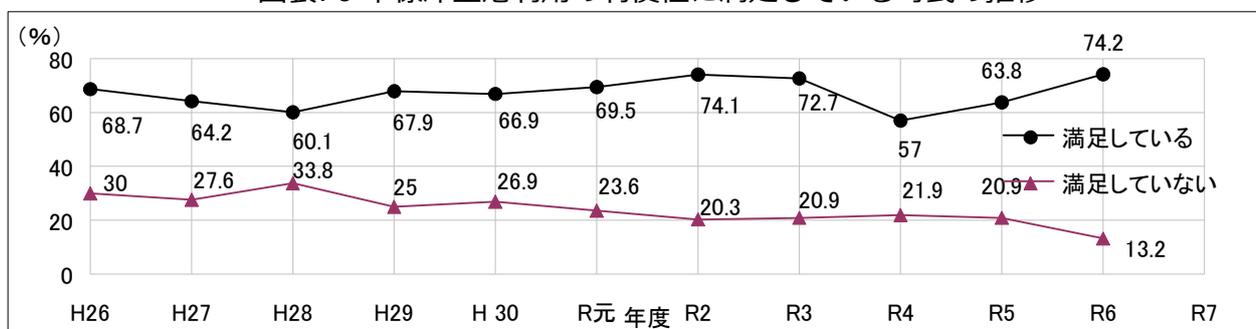
満足している 26.7%
満足していない 6.5%
どちらかといえば満足している 47.5%
どちらかといえば満足していない 6.7%

「満足している」（26.7%）と「どちらかといえば満足している」（47.5%）をあわせた“満足している”人は74.2%となりました。

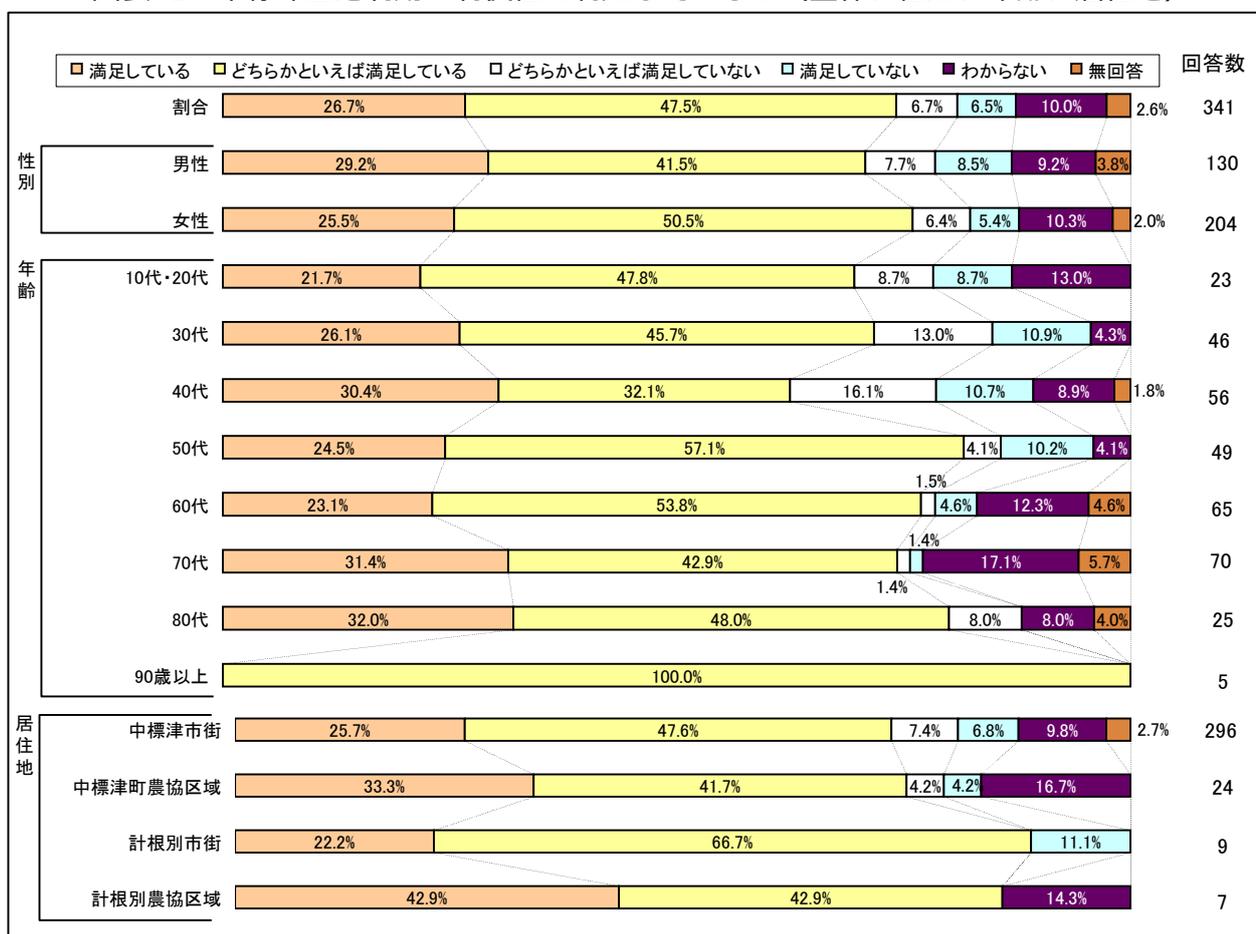
これまでの推移をみるとR4からR6にかけて大きく増加していますが、R4から就航開始した丘珠空港便の影響が大きいと思われます。【図表70】

年齢別では、90歳以上（100.0%）で最も高く、40代（62.5%）で最も低い結果となり、居住地別では計根別農協区域（88.9%）で最も高い結果となりました。【図表71】

図表70 中標津空港利用の利便性に満足している町民の推移



図表71 中標津空港利用の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問28 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

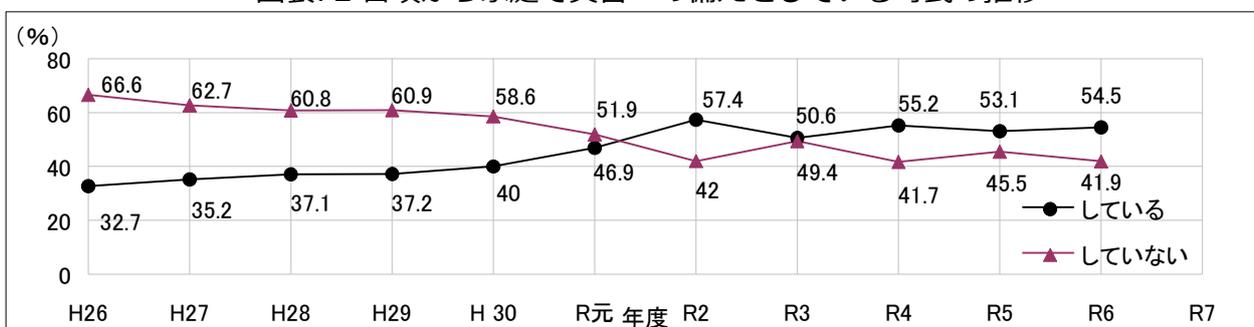
● “している”が54.5%、“していない”が41.9%。

（している 15.8% どちらかといえばしている 38.7%） （していない 11.1% どちらかといえばしていない 30.8%）

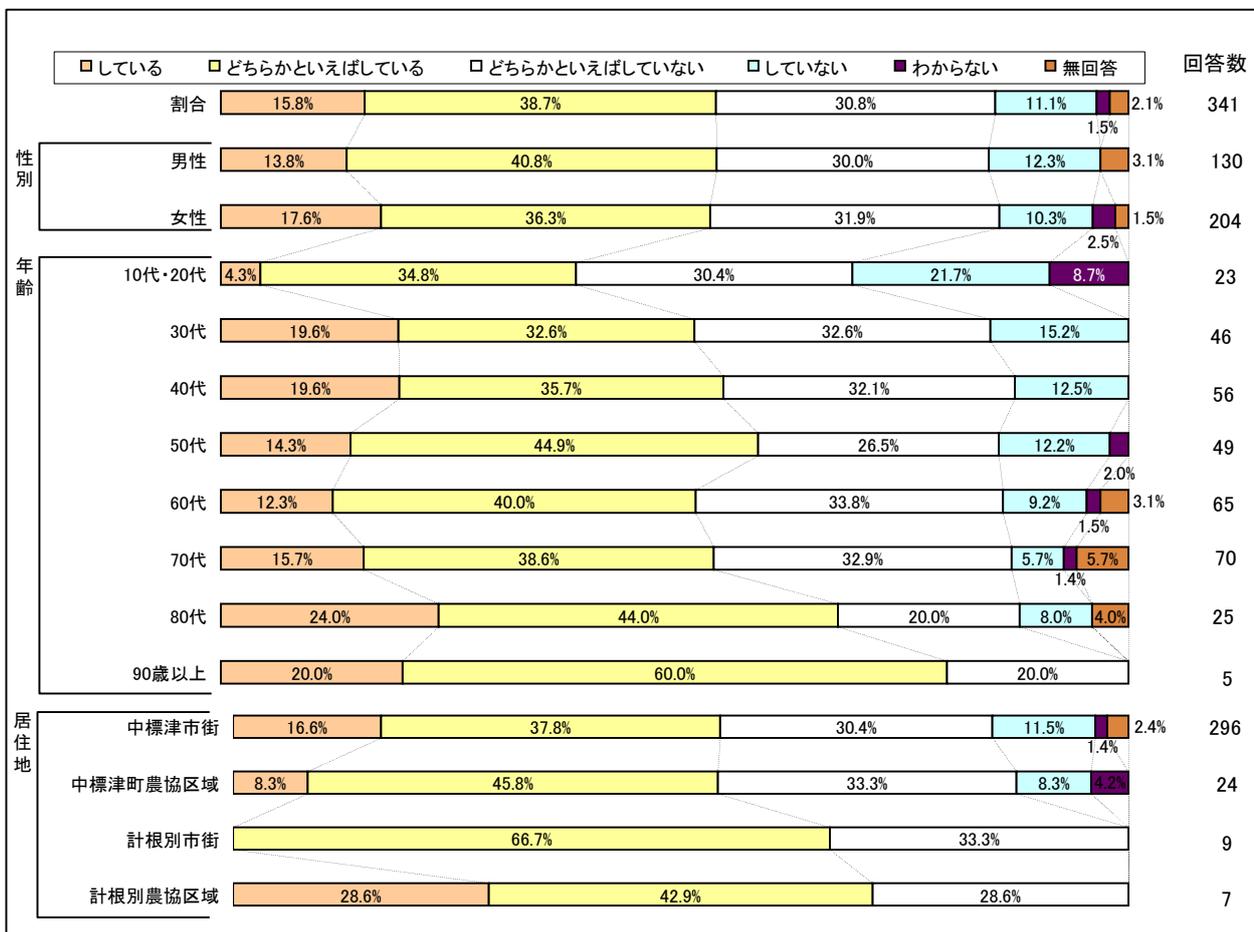
「している」（15.8%）と「どちらかといえばしている」（38.7%）をあわせた“している”人は54.5%となりました。

これまでの推移を見ると“している”人はR2以降横ばいであることがわかります。【図表72】年齢別では90歳以上（80.0%）が最も高く、次いで80代（68.0%）となりました。居住地別では計根別農協区域（71.5%）が最も高い結果となりました。【図表73】

図表72 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の推移



図表73 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）



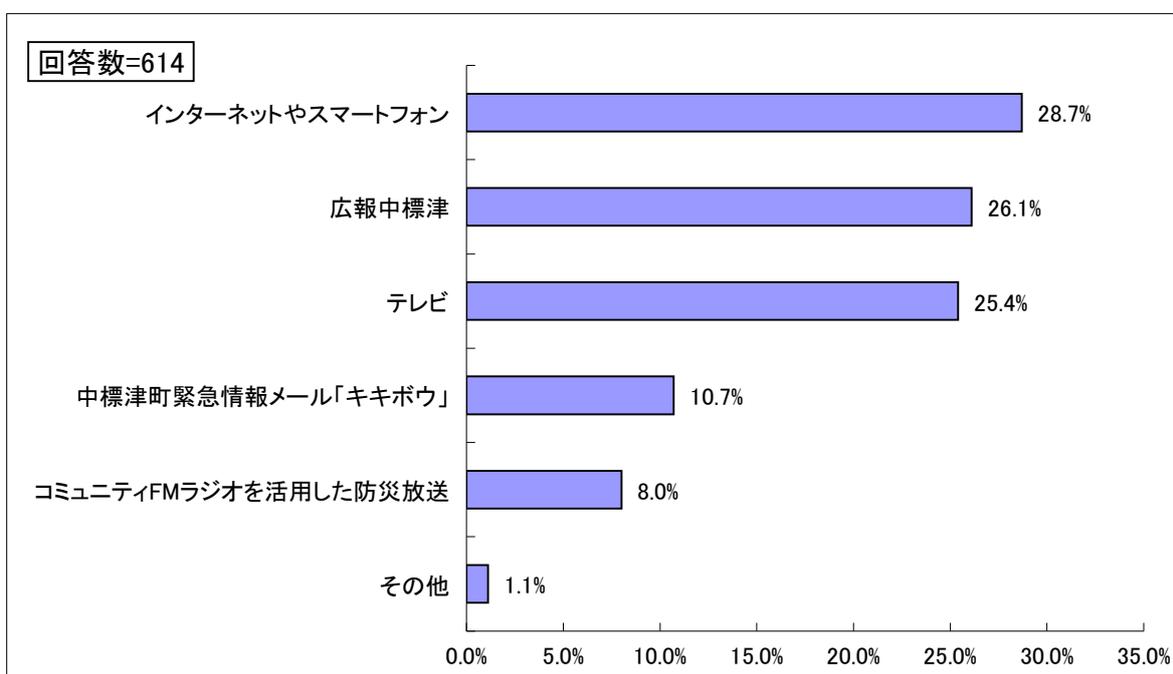
問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。【複数回答】

- 「インターネットやスマートフォン」が第1位。次いで「広報中標津」、「テレビ」の順。

防災のための情報をどこから得ているかたずねたところ「インターネットやスマートフォン」が最も多く、次いで「広報中標津」、「テレビ」の順となりました。【図表74】

年齢別では10～50代で「インターネットやスマートフォン」が最も多くなった一方、80代以上では上位3項目に入りませんでした。「広報中標津」はすべての年代において高い回答割合となっています。【図表75】

図表74 防災のための情報をどこから得ているか（全体／複数回答）



図表75 防災のための情報をどこから得ているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

性別	性別	第1位	第2位	第3位
		男性	インターネット・スマートフォン 28.5	テレビ 26.3
女性	女性	広報中標津 28.8	インターネット・スマートフォン 28.5	テレビ 25.0
年	10代・20代	インターネット・スマートフォン 36.6	テレビ 26.8	広報中標津 17.1
	30代	インターネット・スマートフォン 43.3	広報中標津 18.9	テレビ 16.7
	40代	インターネット・スマートフォン 37.2	広報中標津 22.3	テレビ 19.1
	50代	インターネット・スマートフォン 38.9	テレビ 23.2	広報中標津 20.0
	60代	テレビ 30.5	広報中標津 25.0	インターネット・スマートフォン 23.4
齢	70代	広報中標津 38.1	テレビ 28.3	インターネット・スマートフォン 13.3
	80代	テレビ 44.2	広報中標津 39.5	同率複数のため省略 -
	90歳以上	広報中標津 66.7	コミュニティFMラジオ 16.7	その他 (同率3位) 16.7

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している”が10.6%、“参加していない”が83.8%。

参加している 5.0%
たまたま参加している 5.6%

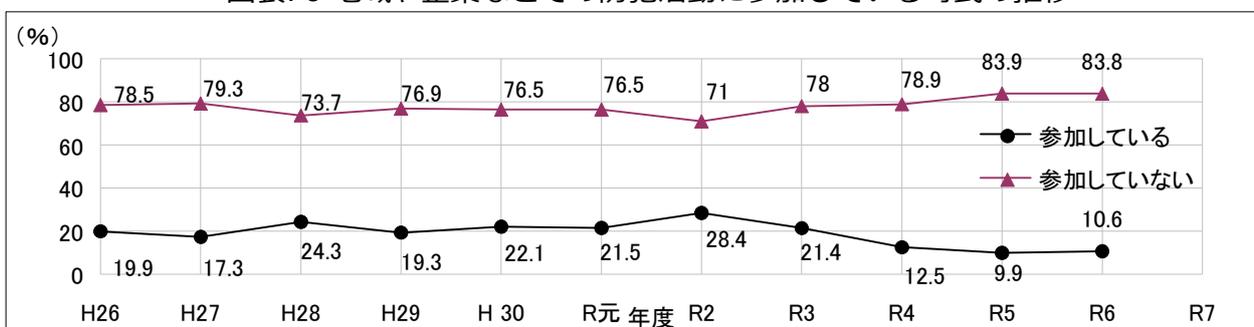
参加していない 67.4%
あまり参加していない 16.4%

「参加している」（5.0%）と「たまたま参加している」（5.6%）をあわせた“参加している”人は10.6%となりました。

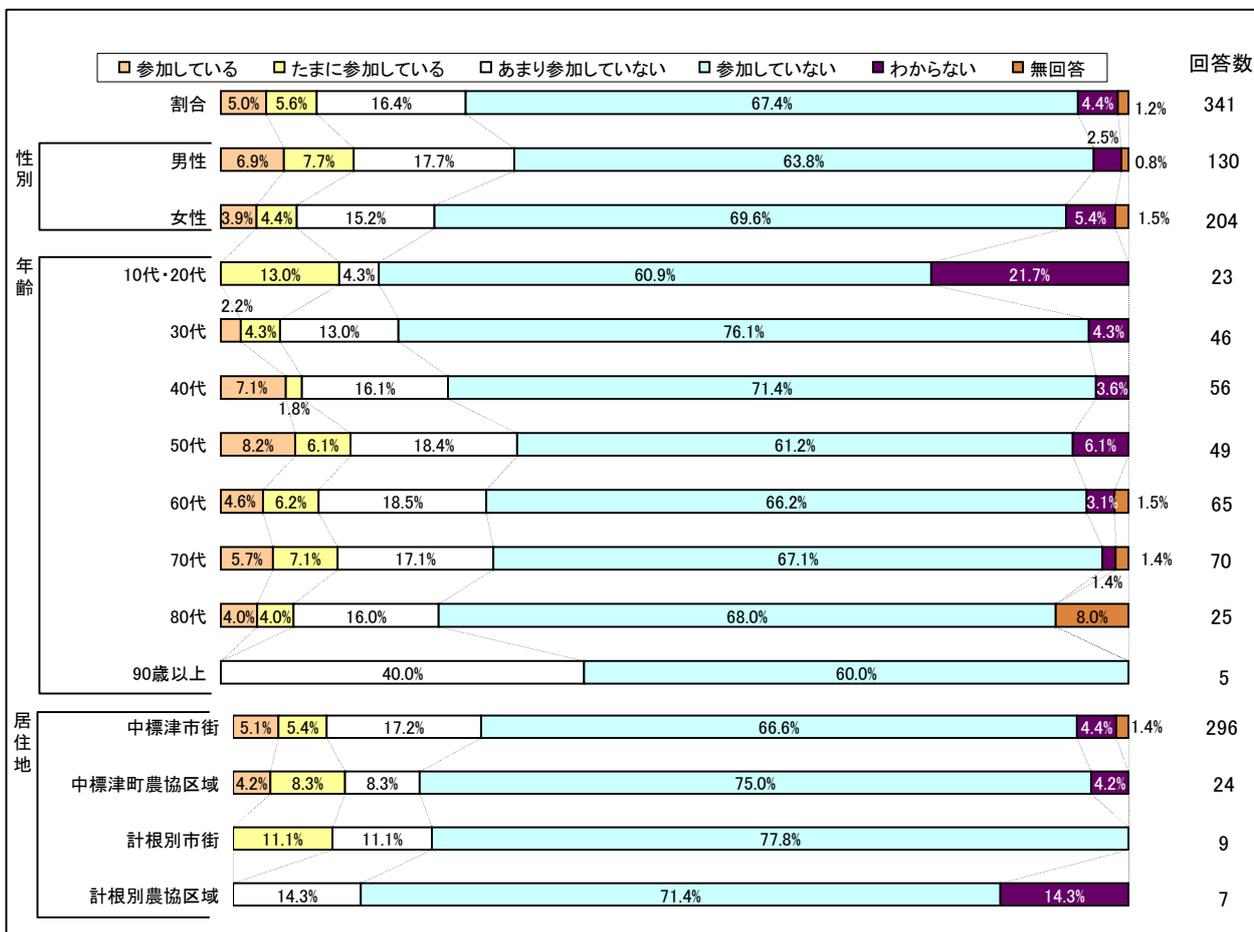
これまでの推移を見るとR2をピークに減少傾向であることがわかります。【図表76】

性別では男性（14.6%）が女性（8.3%）よりも高く、年齢別では50代（14.3%）が最も高く、居住地別では中標津町農協区域（12.5%）が最も高い結果となりました。【図表77】

図表76 地域や企業などでの防犯活動に参加している町民の推移



図表77 地域や企業などでの防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



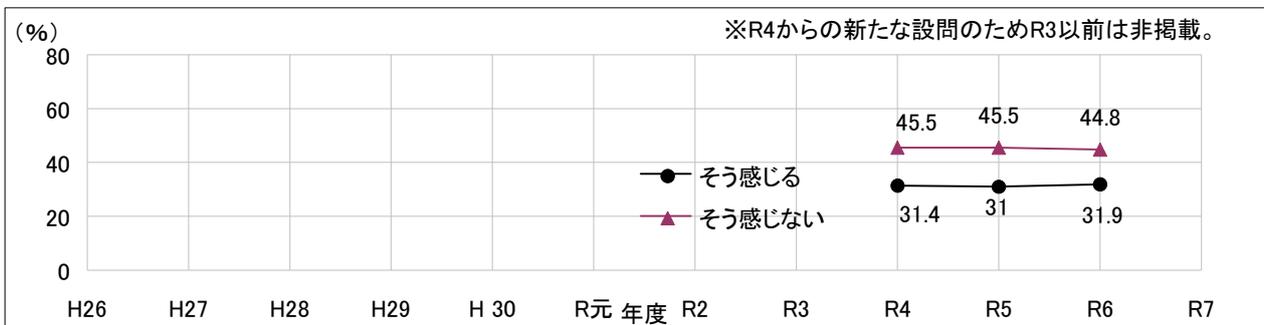
問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

● “そう感じる”が31.9%、“そう感じない”が44.8%。

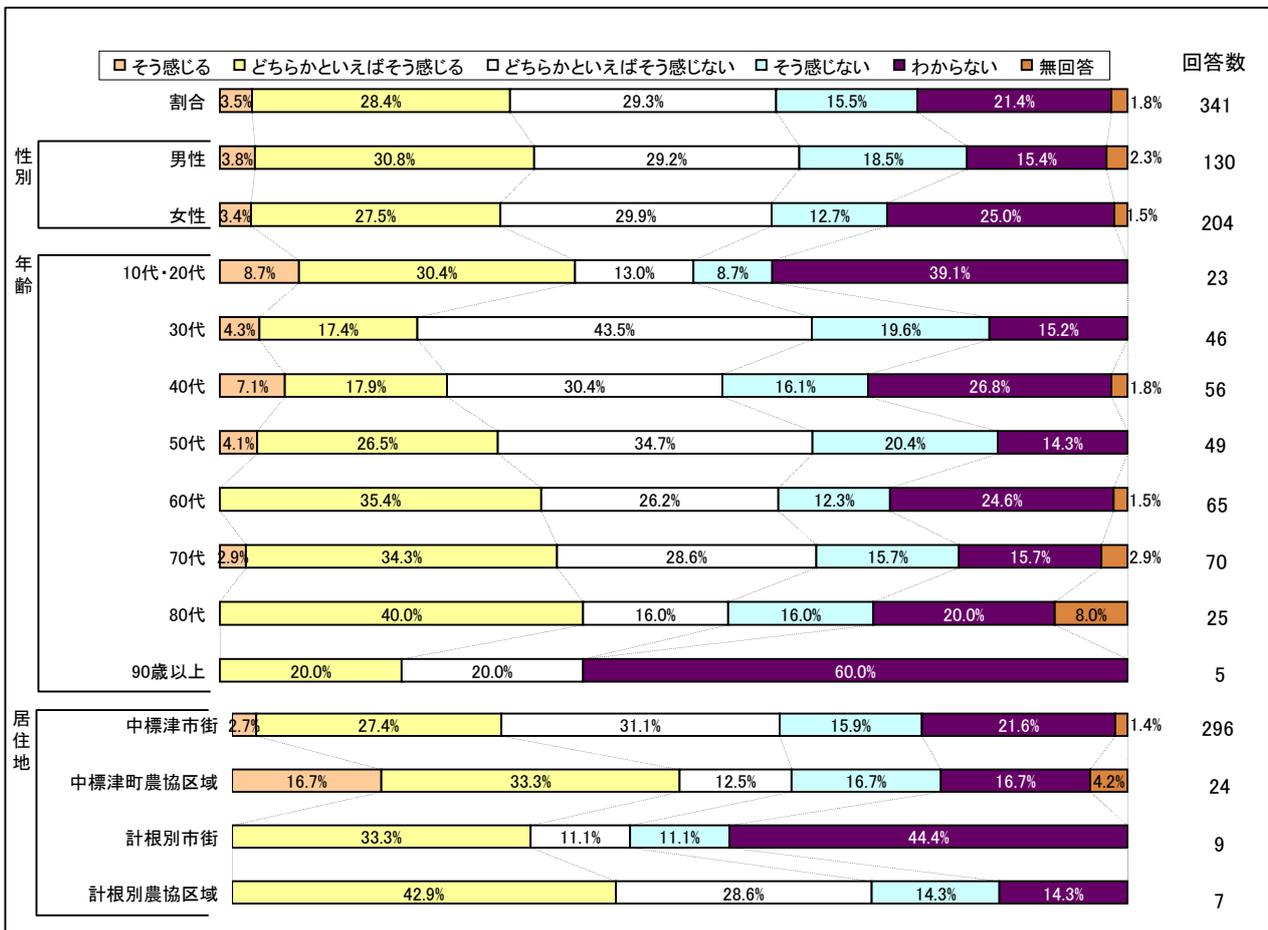
そう感じる 3.5%	どちらかといえばそう感じる 28.4%	そう感じない 15.5%	どちらかといえばそう感じない 29.3%
------------	---------------------	--------------	----------------------

“そう感じる”（31.9%）よりも、“そう感じない”（44.8%）が高い結果となりました。
 性別では、男性（34.6%）と女性（30.9%）の“そう感じる”割合は同水準の結果となり、
 年齢別では80代（40.0%）が最も高く、90歳以上（20.0%）が最も低い結果となりました。
 居住地別では、中標津町農協区域の“そう感じる”割合が50.0%と比較的高い結果となりました。【図表79】

図表78 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じる町民の推移



図表79 消費生活に関する正しい情報を得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問32 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意識していますか。

● “意識している”が79.2%、“意識していない”が17.0%。

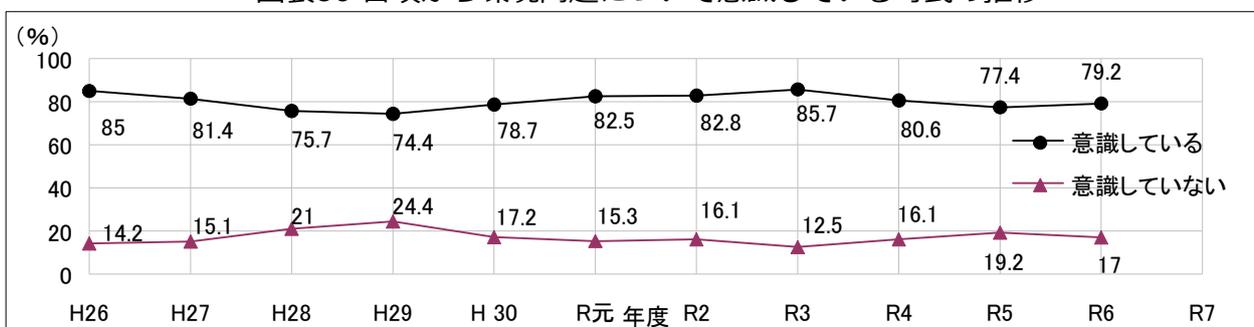
（意識している 30.2%
どちらかといえば意識している 49.0%） （意識していない 6.7%
どちらかといえば意識していない 10.3%）

「意識している」（30.2%）と「どちらかといえば意識している」（49.0%）をあわせた“意識している”人は79.2%となりました。

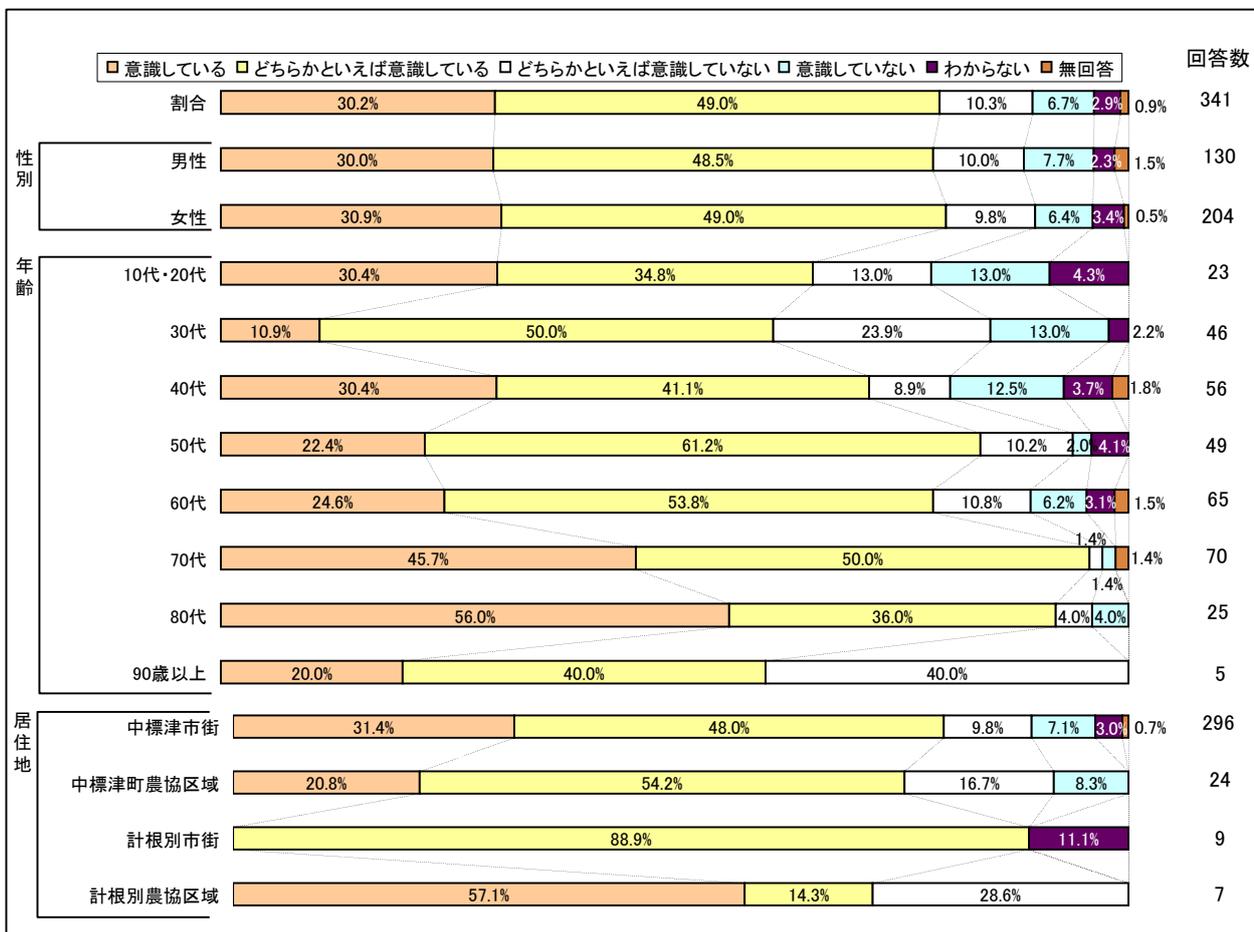
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表80】

年齢別では、70代（95.7%）が特に高い結果となり、一方で30代（60.9%）、90歳以上（60.0%）では、低い結果となりました。【図表81】

図表80 日頃から環境問題について意識している町民の推移



図表81 日頃から環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問33 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している”が73.0%、“していない”が19.4%。

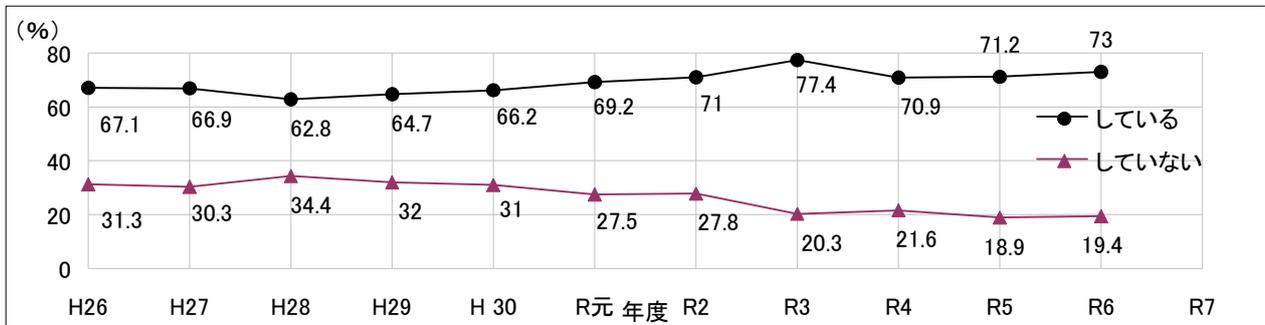
（している 25.2%
どちらかといえばしている 47.8%） （していない 4.7%
どちらかといえばしていない 14.7%）

「している」（25.2%）と「どちらかといえばしている」（47.8%）をあわせた“している”人は73.0%となりました。

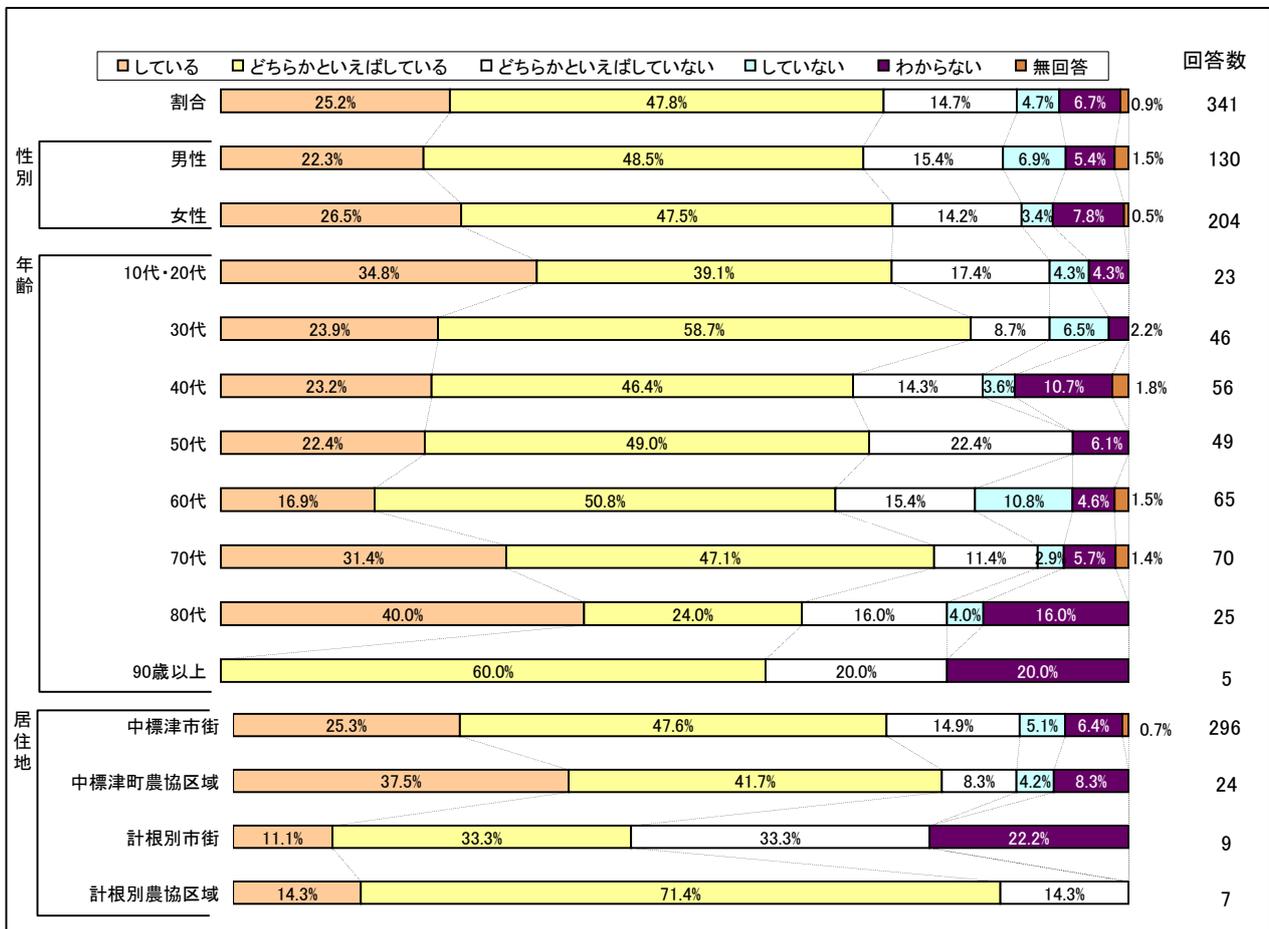
これまでの推移を見ると横ばいで推移していることが分かります。【図表82】

年齢別では、30代（82.6%）が他の年代と比較すると“している”割合が高く、居住地別では計根別農協区域（85.7%）で最も高い結果となりました。【図表83】

図表82 3R運動をしている町民の推移



図表83 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

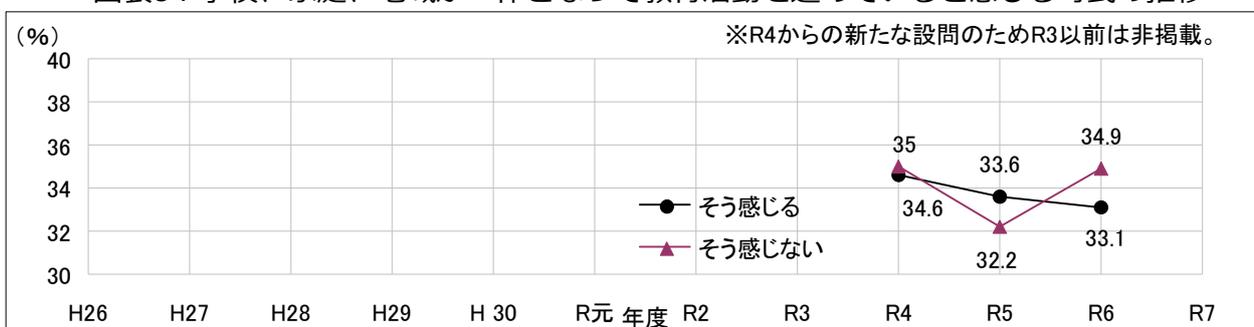
● “そう感じる”が33.1%、“そう感じない”が34.9%。



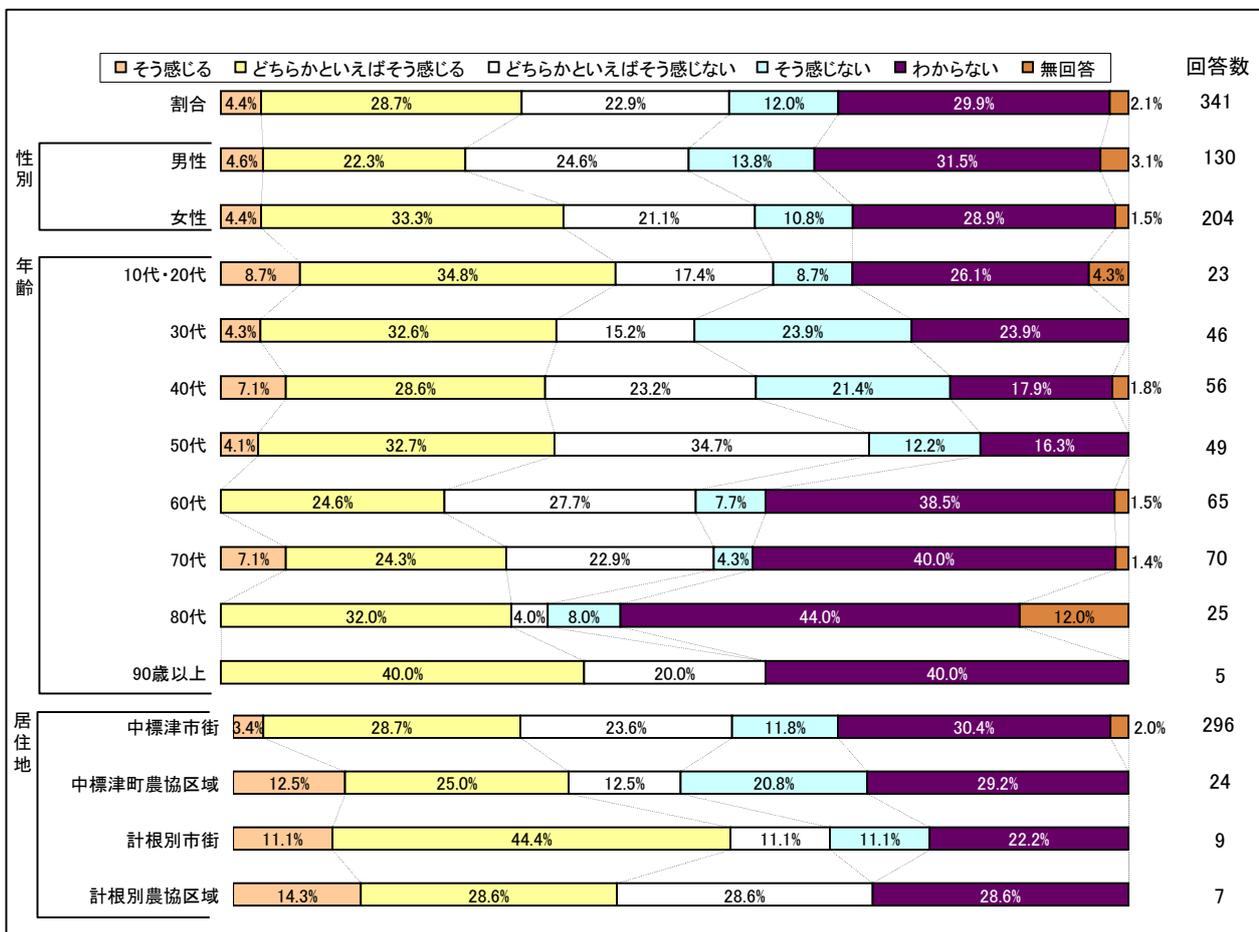
「そう感じる」(4.4%)と「どちらかといえばそう感じる」(28.7%)をあわせた“そう感じる”人は33.1%となりました。

性別では、女性(37.7%)が男性(26.9%)よりも高く、年齢別では、10代~20代(43.5%)で最も高く、60代(24.6%)で最も低い結果となり、居住地別では中標津市街(32.1%)で最も低い結果となりました。【図表85】

図表84 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じる町民の推移



図表85 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じるか(全体、性別、年齢、居住地)



問35 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足していますか。

● “満足している”が26.1%、“満足していない”が15.6%。

〔満足している 3.8% どちらかといえば満足している 22.3%〕 〔満足していない 5.0% どちらかといえば満足していない 10.6%〕

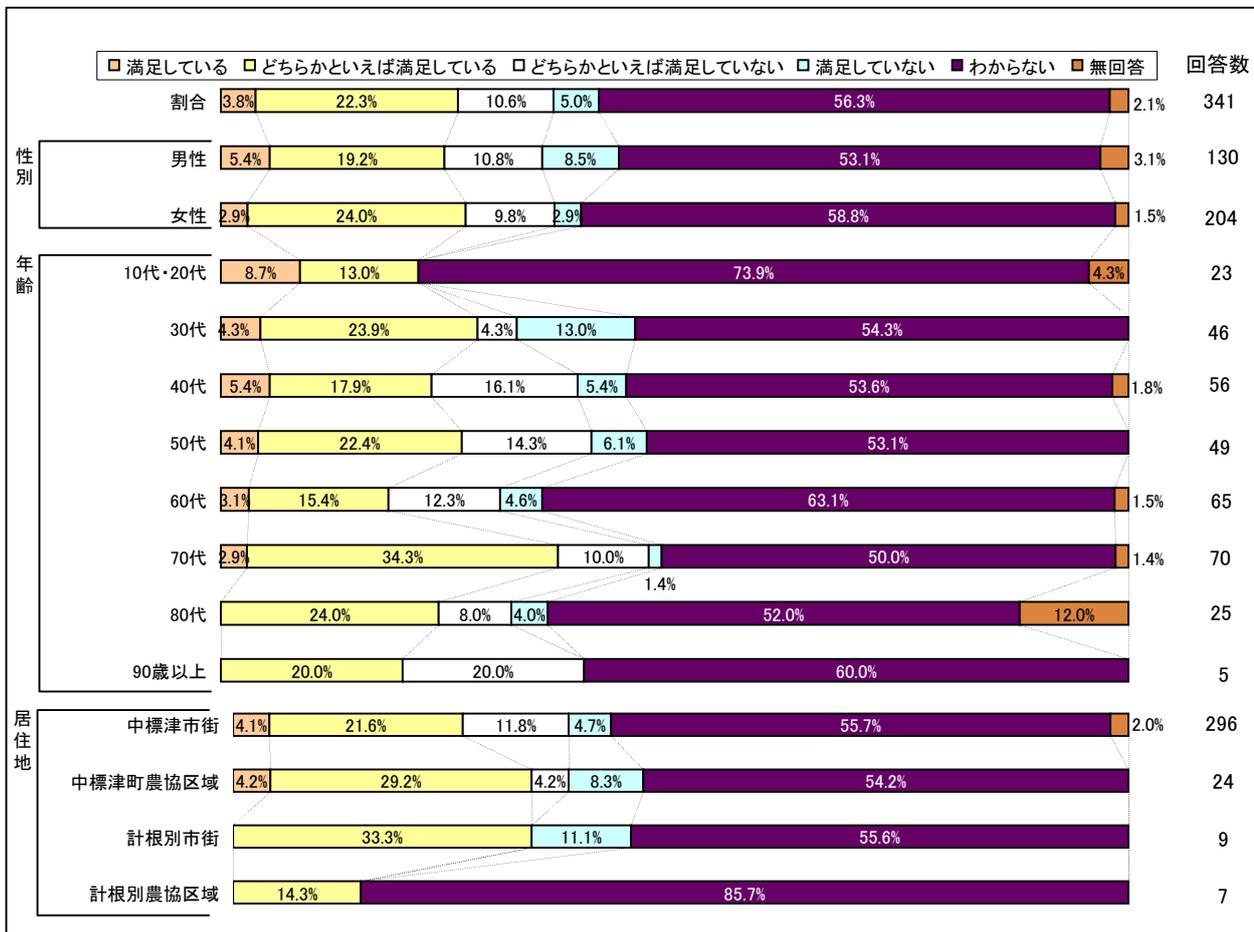
「満足している」（3.8%）と「どちらかといえば満足している」（22.3%）をあわせた“満足している”人は26.1%となりました。また、「わからない」を選んだ方が56.3%と半数以上となる結果となりました。

年齢別では、70代（37.2%）で比較的高くなったほか、居住地別では、中標津町農協区域（33.4%）、計根別市街（33.3%）が比較的高い結果となりました。【図表87】

図表86 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足している町民の推移



図表87 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

※生涯学習活動とは
学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等の学習。

● “そう感じる”が34.3%、“そう感じない”が26.1%。

（そう感じる 9.7%
どちらかといえばそう感じる 24.6%）

（そう感じない 9.7%
どちらかといえばそう感じない 16.4%）

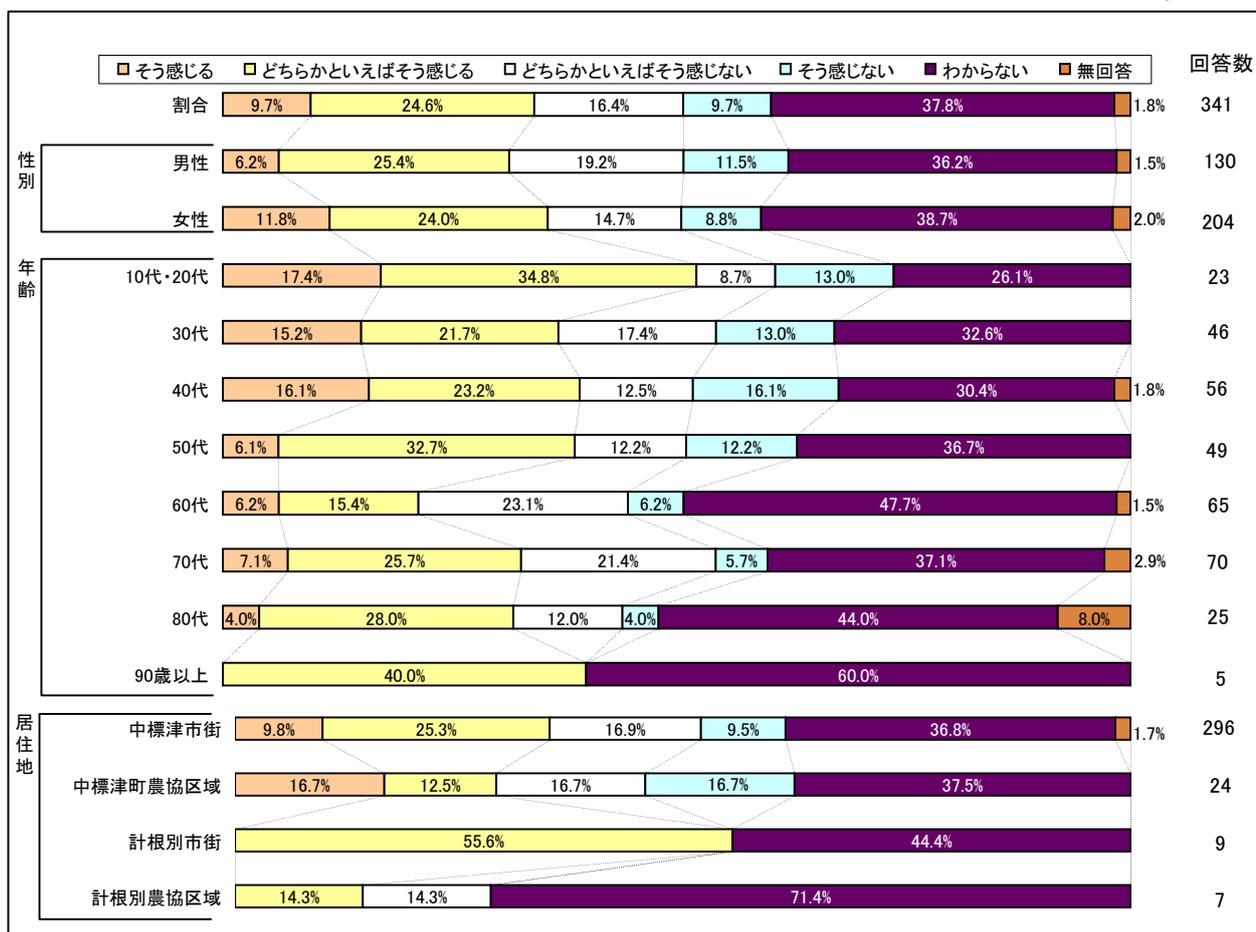
「そう感じる」（9.7%）と「どちらかといえばそう感じる」（24.6%）をあわせた“そう感じる”人は34.3%となりました。

性別では、男性（31.6%）と女性（35.8%）の“そう感じる”割合は同水準の結果となり、年齢別では、10代・20代（52.2%）で最も高くなり、次いで90歳以上（40.0%）となりました。居住地別では、計根別市街（55.6%）が最も高い結果となりました。【図表89】

図表88 生涯学習活動を通して生きがいを感じる町民の推移



図表89 生涯学習活動を通して生きがいを感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が30.7%、“取り組んでいない”が67.2%。

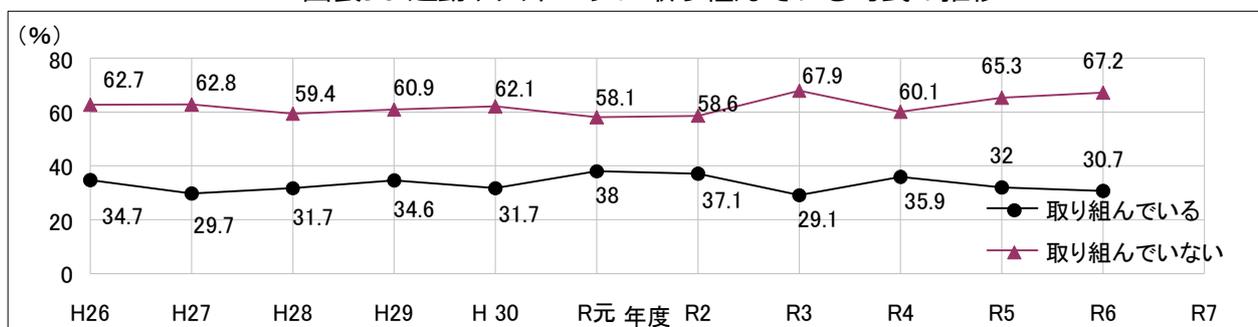
取り組んでいる 15.2%	取り組んでいない 35.5%
どちらかといえば取り組んでいる 15.5%	あまり取り組んでいない 31.7%

「取り組んでいる」（15.2%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（15.5%）をあわせた“取り組んでいる”人は30.7%となりました。

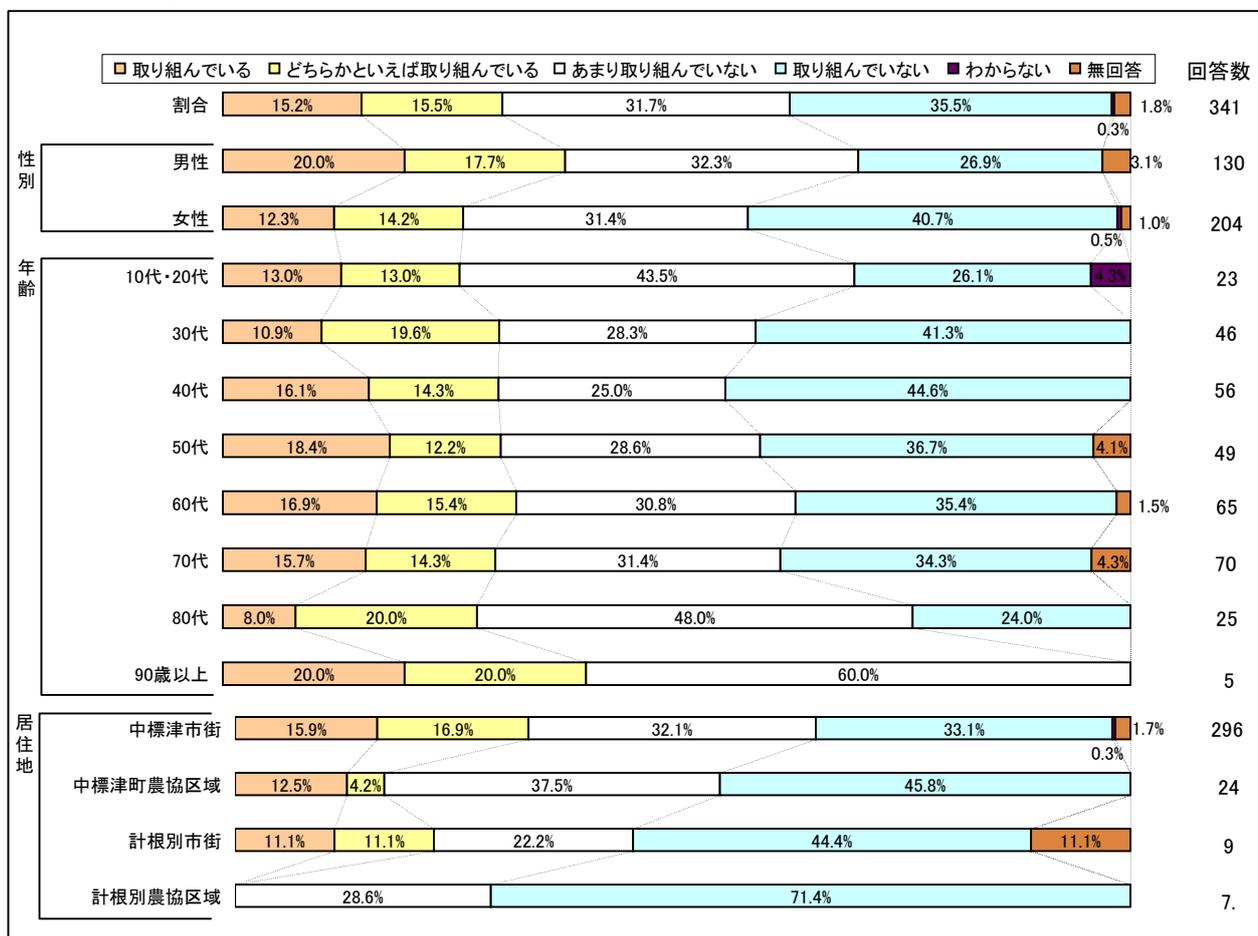
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表90】

性別では男性（37.7%）が女性（26.5%）よりも高くなり、年齢別では90歳以上（40.0%）が最も高く、次いで60代（32.3%）、対して“取り組んでいる”人が少ない年代は、10代・20代（26.0%）、80代（28.0%）となっています。【図表91】

図表90 運動やスポーツに取り組んでいる町民の推移



図表91 運動やスポーツに取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が15.5%、“取り組んでいない”が81.3%。

取り組んでいる 7.6%	取り組んでいない 57.5%
どちらかといえば取り組んでいる 7.9%	あまり取り組んでいない 23.8%

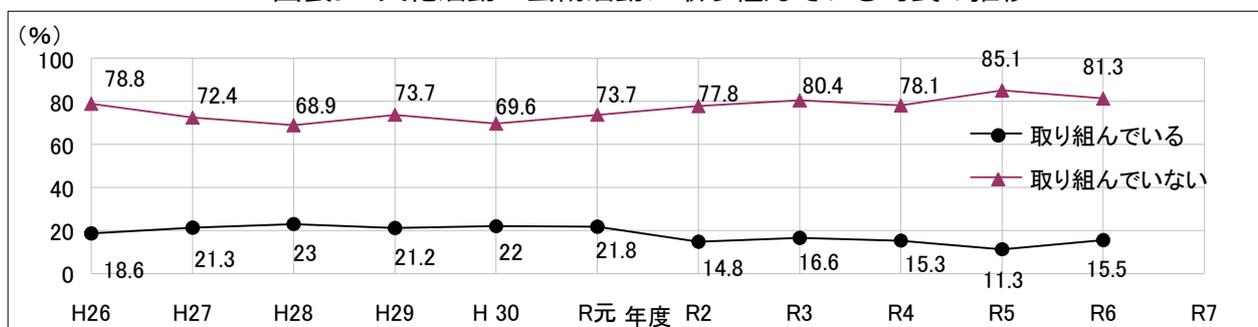
「取り組んでいる」（7.6%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（7.9%）をあわせた“取り組んでいる”人は15.5%となりました。

これまでの推移を見るとR2以降低い水準で推移していることが分かります。【図表92】

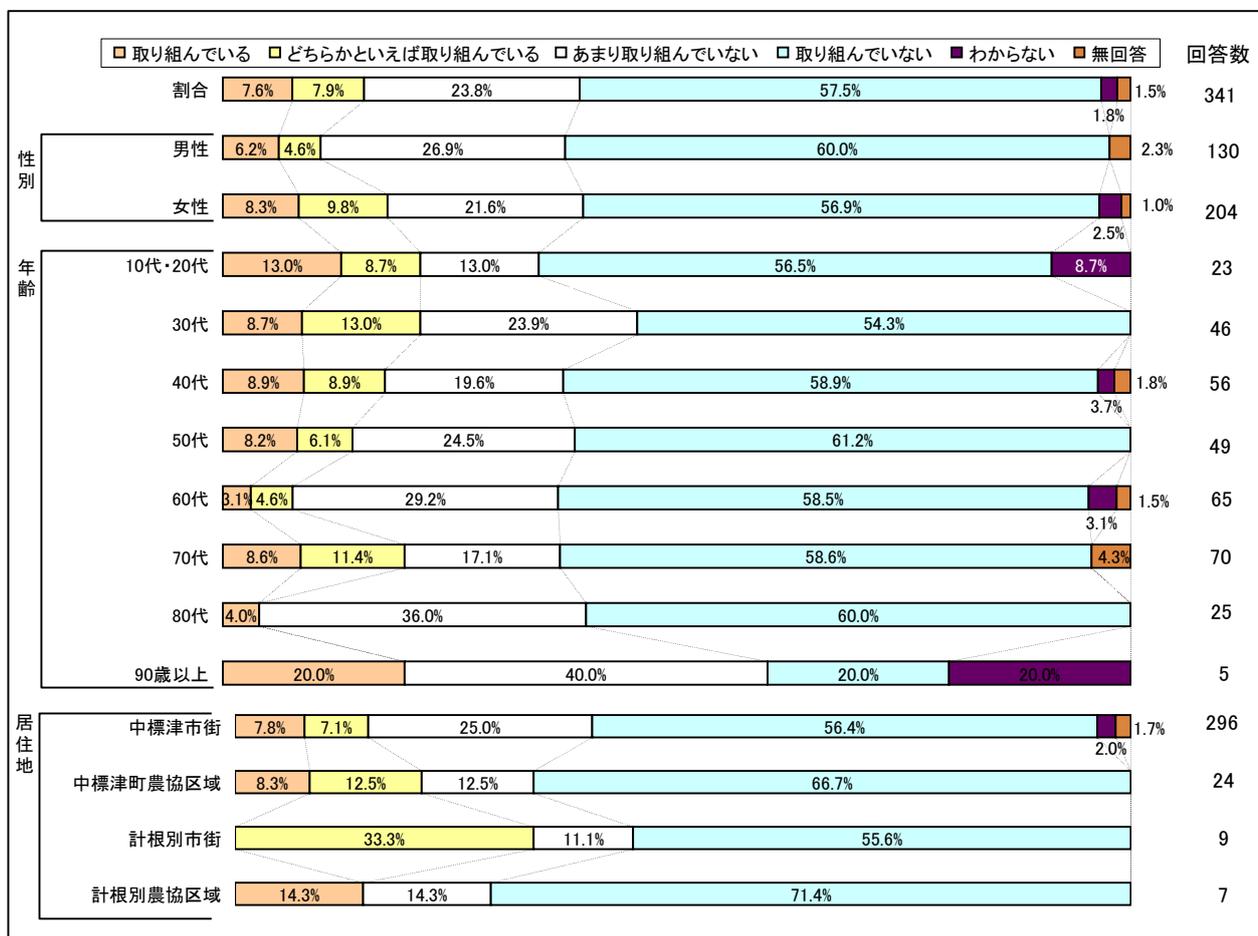
性別では女性（18.1%）が男性（10.8%）より高くなり、年齢別では80代（4.0%）が最も低い結果となりました。居住地別では計根別市街地（33.3%）が最も高い結果となりました。

【図表93】

図表92 文化活動・芸術活動に取り組んでいる町民の推移



図表93 文化活動・芸術活動に取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

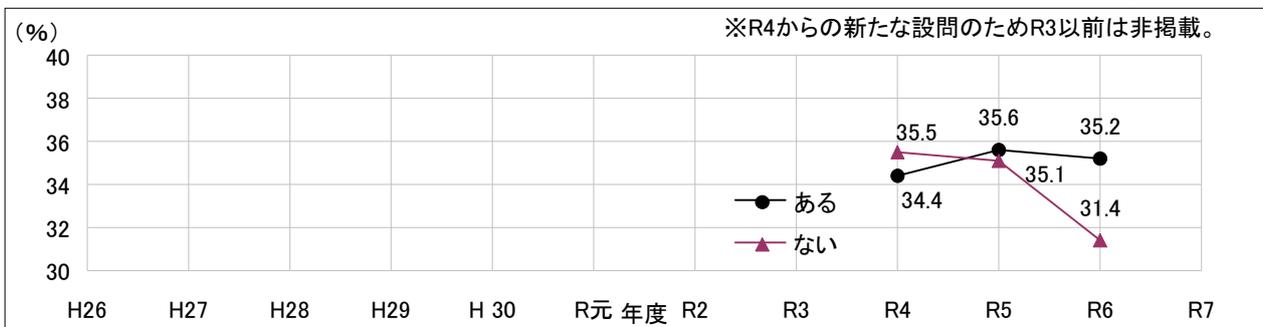
● “ある”が35.2%、“ない”が31.4%。

ある 12.6%	ない 17.3%
どちらかといえばある 22.6%	どちらかといえばない 14.1%

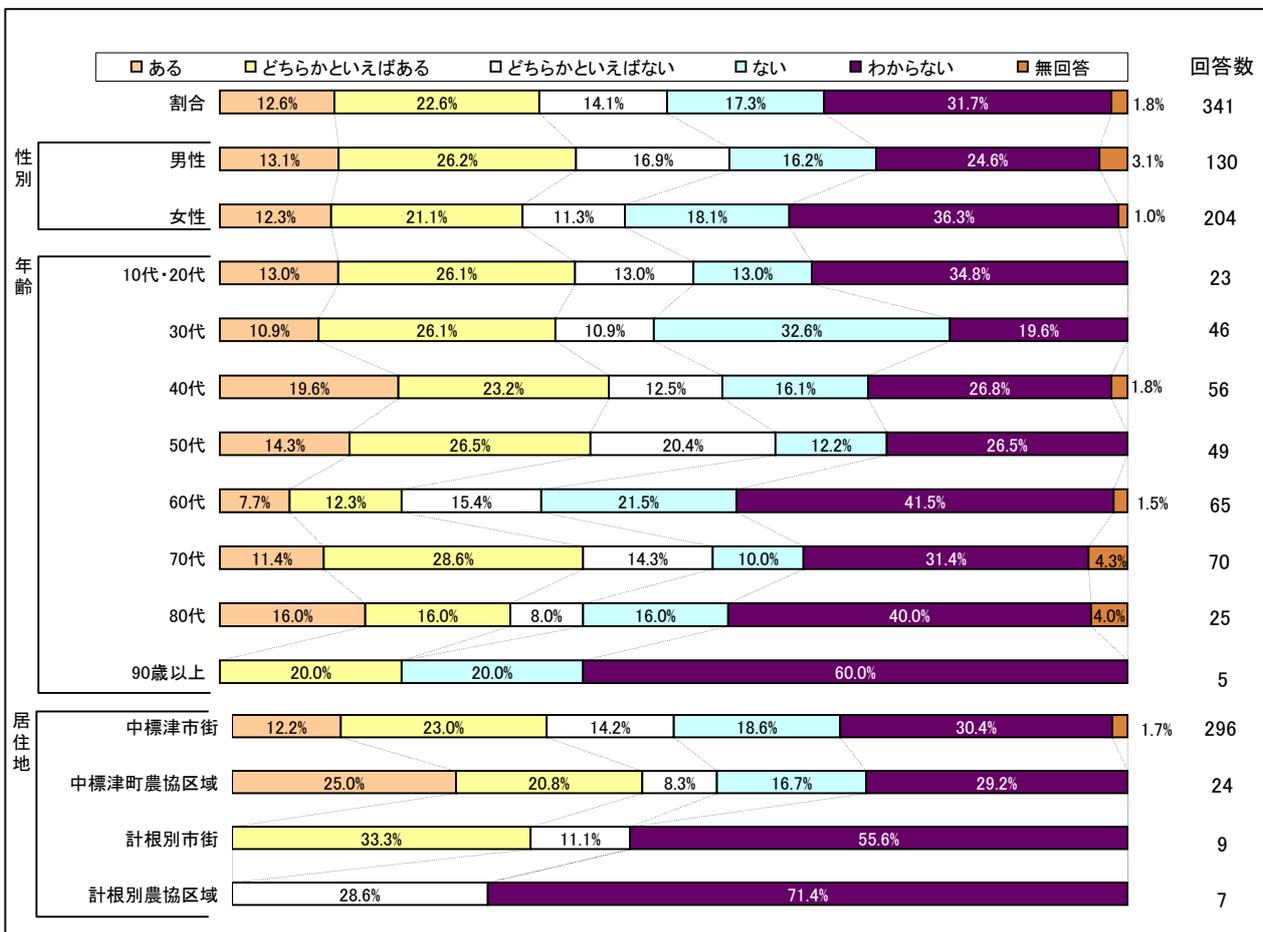
「ある」（12.6%）と「どちらかといえばある」（22.6%）をあわせた“ある”人は35.2%となりました。

性別では女性（33.4%）よりも男性（39.3%）の方が若干高い結果となり、年齢別では40代（42.8%）が最も高く、次いで50代（40.8%）となっています。居住地別では中標津町農協区域（45.8%）が最も高い結果となりました。【図表95】

図表94 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがある町民の推移



図表95 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがあるか（全体、性別、年齢、居住地）



問40 第7期中標津町総合計画では、まちづくりの基本理念として、「住む人がつながるまち」、「その人とつながるまち」、「しごとがながるまち」、「まわりの自治体とつながるまち」の4項目を掲げ、具体的な目標として下記を設定しました。それぞれについてあなたが感じる町の達成度合いをお聞かせください。

【目標1】町民・団体・企業・行政の協働

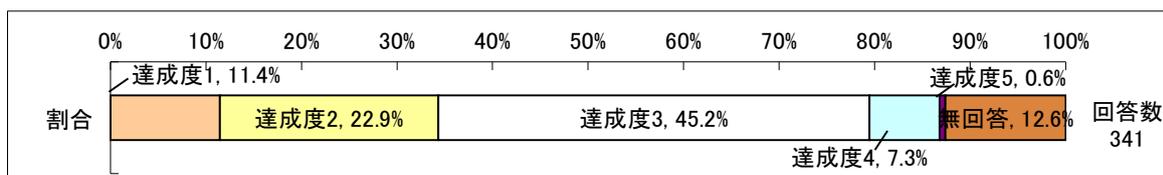
⇒町民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が対話・連携によりお互いを補い合う協働のまちづくりを進めます。

平均達成度

2.6

図表96 横断的目標1の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標2】関係人口・交流人口の拡大

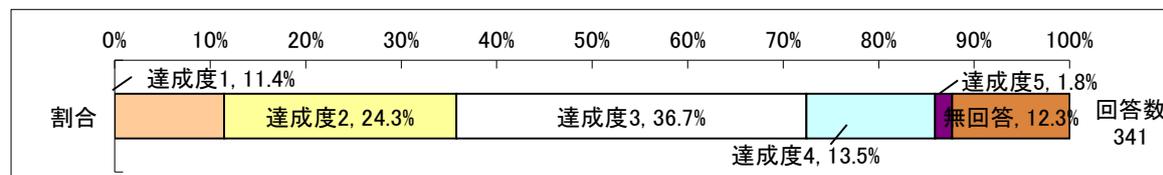
⇒より多くの人が集まり、関わり、交流する賑わいのあるまちづくりを進めます。

平均達成度

2.7

図表97 横断的目標2の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標3】横断的連携の強化

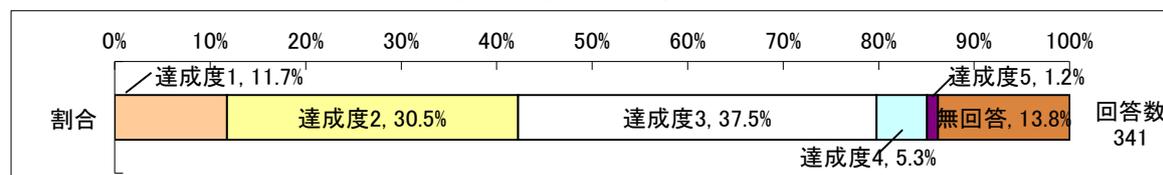
⇒あらゆる主体や行政組織がそれぞれの分野・固定概念に縛られず、垣根を超えた効果的・効率的な連携により町の活性化につながるまちづくりを進めます。

平均達成度

2.5

図表98 横断的目標3の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標4】広域連携の強化

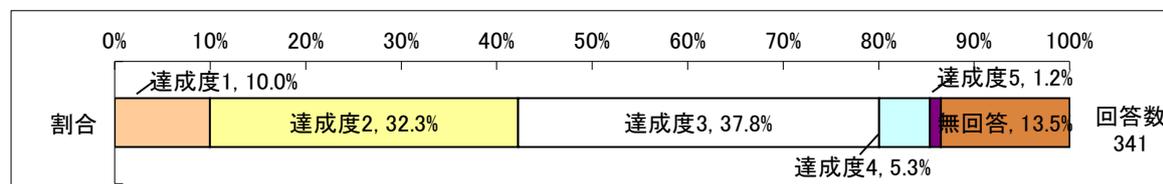
⇒近隣自治体等との広域連携を強化し、広域的な活性化や町単独では対応できない課題へ対応するまちづくりを進めます。

平均達成度

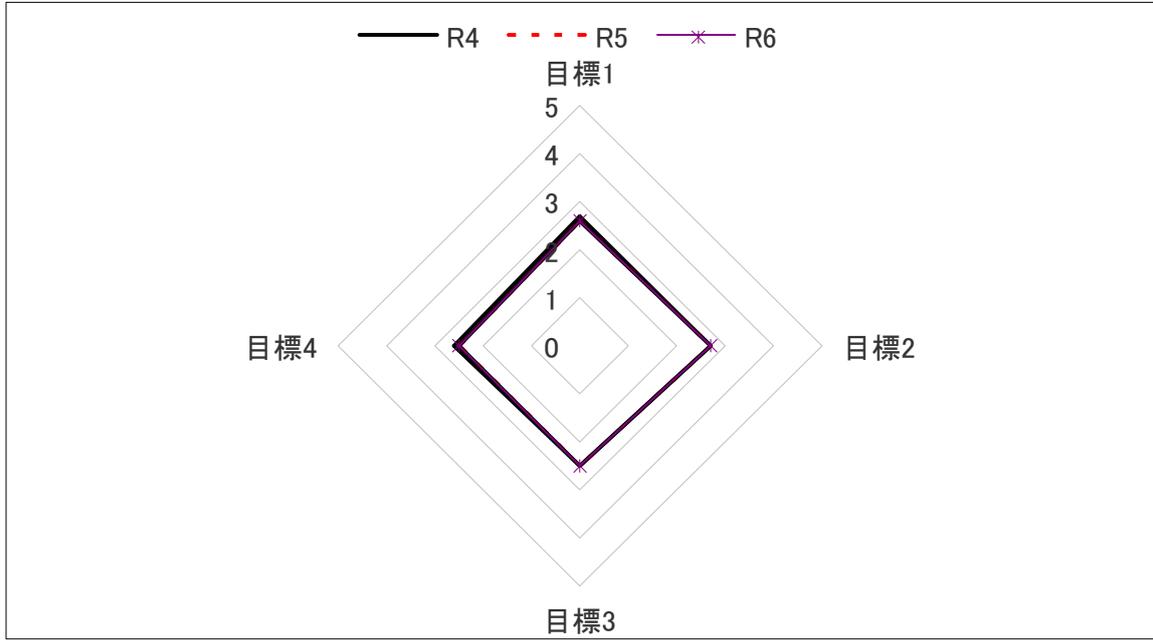
2.5

図表99 横断的目標4の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



図表100 横断的目標の平均達成度の推移



Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述

(1) 自由記述の記入状況

問 あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

自由記述に意見等を記入した人は、102人で、回答者（341人）に対する記入率は、29.9%となりました。

集約した意見を「行財政分野」「健康・福祉・子育て分野」「経済・産業分野」「都市基盤・生活環境分野」「教育・文化分野」の5つの分野で区分し、まとめる
と次のとおりとなります。【図表101】

図表101 自由記述一覧

分野	性別	年齢	意見集約
行財政分野	男性	40歳代	まだこちらに移住しまして約半年です。ですが不自由は感じておりません。町の規模を考えますと十分立派な町づくりを行われておりますし、札幌からの転勤で不安も御座いましたが行政の尽力には驚きました。転勤族の為何年住むのかは全くわかりませんが、素晴らしい町だと思います。今後も発展のため職員の方々どうぞご尽力を宜しくお願いいたします。
			使える制度の周知。 取るものは取るが、支給されるべきものの情報は自分から調べないと教えてくれない
			お金のない街にあまり期待はしていません。 貧しくとも綺麗な景観の町に住みたいです。
		50歳代	職場のパワハラ上司がいるから、どうにかして欲しい。外面はいいのに中に入るとヤバいぐらいだから、そんな人たちを無くす努力をして欲しい。特に偉くなると(取締役常務)とかになると誰も何も言えなくて無駄使いやいらぬ物を購入して現場で使いたいのもを買おうとするとしぶるのはいらぬ人を無くし
			車が必須な町であるからこそ、安全運転に重点を置いた施策が必要で、警察と行政と市民が一丸となって、不審車両・改造車・スピード狂車・信号無視車・一時停止無視車を撲滅していくべき。それが、重大犯罪の抑止につながると思う。
		60歳代	中標津町のブラック企業と役場、農協不祥事が多すぎます。もっと頑張って企業の癒着、汚職やってください。公文書偽造、土地の勝手な名義変更、偽造署名など、印鑑捺印など根室支庁との癒着を頑張ってください、もっと沢山頑張ってください。何の意味もないアンケートは書く気になれません。町議もいらぬので役場ですべてやればいいのでは
			無いです。 特に考えていない
		70歳代	わかりません
			・行政に望むことはあまりないので、のんびり自由に暮らすのにはとてもいい町です。自由に生きていくのには最高の場所だと思います。自分の生き方は自分で見つけるものだと思います。他力本願はやめてせめて町民一人一人が自活出来たら素晴らしいと思います。行政は住民サービスは止めて、100年先の住環境作りや、街作りビジョンを示していけばいいのでは！めざせ！のどかな中標津！です
		80歳代	町の事業推進に於いて町立病院の赤字は障害になっているのではないかと。町立病院を民間病院への委託や厚生病院の傘下に入るなど考えるべき

行財政分野	女性	10歳代・20歳代	私にとって、中標津は美しい自然と静かな町です。活気に満ちた生活の大都市とは対照的に、老舗の温泉宿、豊かな乳製品等とともにリラックスためて選ばれるこの場所です。現在私は研修中で、こんなにすばらしいところで生活できて、とても感謝しています。ただし、時々小さな問題の遭遇することがあります。まず買い物あまり便利ではありません。ショッピング場所まで車で少なくとも30分かかります。このあたりはコンビニなどはありません。インターンで車を持っていないので買い物を買いにみんなが頼んでもらって、すごい時間がかかりますから、ちょっと迷惑をかけます。だから将来的にはこの辺りに食料品を販売する店が建てられると良いことだと思います。さらに、娯楽エリアもありません。もしもってと歓楽街を整備すれば観光客も増え将来的に街の発展につながると思います。以上が今後のまちづくりについての私の意見です。少しでも町に貢献できれば幸いです。今も将来もここに住み続けたい場所です。
		30歳代	アンケートの設問が多すぎて回答するのが途中で疲れてしまいます。過去のアンケートの有効回収率は約30%なのに毎度500名～1,000名に配布して紙や切手代の無駄だと思えます。回収率を上げる何か工夫しているのですか？アンケートの回答者に抽選でプレゼント等回答意欲を高めてくれないとやる気が出ません。またこのアンケート調査の結果をもとにどこかの政策に反映させているのかどうか分かりません。アンケートを配布して調査結果を出してだけなように感じているのでその部分をもっと出していけないと役場はなにもやってないと思われても仕方ないと思います。中標津町が住み心地のよいまちになるのを期待しています 中標津町に住んで約5年になりますが、買い物等に不便はなくとても住みやすいなとは思いますが。ただ町民として思うのは、何をやるにも遅く、やる気がない町なのかなーと思ったことが何度もあります。コロナ禍明けのイベントも近隣の町はやっているのに今年も見送り?とか、他町の議会ではタブレットを導入しているのに未だ紙のやり取りとか、せっかく農業が盛んで美味しい食材もあるのにふるさと納税もばつとしない。中標津町といえばこのイベント！のひとつもないのはどうなのかなーと思います。せっかく良い町なのに。 若者が交流し合える場(サークルや習い事、イベント等)があればと思う。 隣町弟子屈の観光客を中標津にも呼び込めるといいのになと思う。 住民の啓蒙活動をなされた方が良かったと思います。 教育の拡充、外国人の教育の場の創出、犬猫の管理などなど。
		40歳代	町の行政について、いつも「前ならえ」だなぁと感じます。困いの中でできることだけをいつも前ならえでやっているだけ。少しずつなんとなく周りの町に追いつく程度の進展はしている。子供たちの教育や活動は、それ以上にはならず高齢者は生きにくいサービスの中でやりくりしている。そういう「町」という印象です。 助け合い、協力は表面的 本質は個々の頑張り次第 対話によるまちづくりがますます進み、町民が自分ごととして町のことを考えられるようなアクションを願います。
		50歳代	役場に活気がなく、いつ訪問しても暗い感じがしてやる気がなくなるような感じです。役場をリニューアルし、食堂やカフェを設置し町民が憩えるような場所にして、町民にもっと役場の取り組みなどを身近に感じてもらいながら、まちづくりをしていければいいと思う。あと、役場に展望台をつくり景観を良くし、町民や観光客が気軽に訪れられるような場所になるといいと思う。展望台をつくることにより、避難場所も兼ね備えられるといいと思う ・今後人口減が問題になってくるので、早めに対策を考えて実行していくといいのでは。男女の出会いの場のparty、不妊治療費補助、子供の病院代、給食費の補助の拡大、おためし移住、外国人の受け入れと地域住民との見える交流etc・外国人への日本語学習の機会…?・ふるさと納税で更に魅力ある品ぞろえにして、町のPR+税をもらえるといいですね。・標津町のような町民還元のものがあるとうれしいです。・今、署名活動があるようですが、犬猫多頭崩壊についてボランティアだけではできないので、役場でPRや預かり等、保健所と協力して仕組みを作ってほしい。※役場の仕事は忙しすぎませんか？(自分にはよくわかりませんが辞める人の話も聞くので…) 標津町役場の様な不幸な事件が起きないように、仕事の効率化、割りふり等行ってください。 このアンケートの内容がわかりづらい。質問の仕方が難しいと感じる。 特に問40がわかりにくい。質問がわかりにくいと答える気が失せてくると感じた。
		60歳代	以前は町外から転入された方に「中標津の役所の対応は親切ですね」と言われました。町民として嬉しい声を聞いたことがあります。 今の時代昔ながらのアンケートで住民の意見を聞くことには、ながら仕事ではないでしょうか？また、アンケートについてやす時間に対する報償は何になりますか？ 我が家にはパソコンがありません。今後もパソコンを使わず、携帯電話のみで過ごしていく予定です。“詳しくはウェブ!!”などネット社会に完全に取残されそうですが、今からだと無理です。ネットや(ペーパーレス)ウェブは便利でしょうが町の広報や、町からの個人へのお知らせはペーパーレスにならない事を願います。 今後中標津町も人口が減少、高齢化が進みコンパクトな街づくりが必要かと思えます 町はよくやっているとおもう。 恵まれていることもたくさんあるとおもう。 町の、これはよいという所を自分でもっと感じとり、町民どうし喜びあいたいと思います。
		70歳代	・会の名称が変わっても集まる顔ぶれ同じだと何も新しい発見はないと思います。・地域おこし協力隊として中標津町へ来てくれる人がいます。新しい発見、新しい人とのつながりが期待できると思うのですが任期途中で辞めていく人がいることはとても残念に思っています。何かをもって「中標津」を選んでくれていると思うのです。観光協会の一員ではなく、もっと自由な発想で行動できる人材だったらとも思います。人を大事にしてほしいと思います。選ばれた中標津なのですから。「そとの人とつながるまち」を掲げているのですから 町長及びトップの熱が感じられない。発展が見られない

行財政分野	女性	80歳代	今は一人暮らし、大家族に嫁いで一人になるとは部落に一人暮らしは自分だけ、まだ車に乗れるので(屋間だけ)仲間、友人を作って、多くの集まりに出かけるようにしている。最近では寺の研修会で写経、ゆめの森公園の花壇ボランティア自家菜園を沢山作る。隣近所の助けに甘える事、皆やさしい。一番老人の心配は出かける時の足の確保だと思う。行政に望む一つだと思う。私には行政では時間がかかる。待ってる時間がない。大好きな町中標津だが子供達の処へ一年でも長く、ここに住みたい
		90歳代以上	中標津町に行ったらこんな物が見られる。遊び場、観光地があるという「中標津」をアピールする物がない・またこのアンケートも90才では内容を理解できない。ランダムはわかりますけど、これからの20~50才ぐらいにしぼるのもイイかと思えます。
	無回答	10歳代・20歳代	同性パートナーシップ制度を導入を望みます。より多くの町民が幸せに暮らせる社会を実現しより多くの人がこの町に住みたいと言える(思える)町になるために望みます
		50歳代	人口減少は他自治体より遅いのに商業農業、それなりに盛んなのに中標津町=貧乏な町のイメージです。お金がないとゆとりの気持ちが生まれません。また中標津といえ→〇〇が出てきません。中標津町のブランディングを高めてほしいです。それによって町民の町の愛着も深まり、この町に興味を持ってくれる人も増えると思います。現時点での中標津町おすすめスポット!!などインスタなどで発信してみるのはいかがでしょうか。
健康・福祉・子育て分野	男性	30歳代	最近の出生数を見ていると恐ろしいほどに子供の数が減っているのに町が何か対策をしていないように感じる。あきらかに物凄い勢いで減っているのに気づいていないのではないかと不安になる。労働者確保として最近外国人にお金を使っているように感じるが、目先の労働力よりも未来に投資したほうがいいのではないかと心配をしている。広陵中学校も工事をしていたが子供の推移まで考えてやっていたのかなどそこまで気になってしまう。 近隣の町村のことはわからないが、どの町も同じ状況なのであれば子育て支援の充実している他町に人口が流出していくことも考えられるので、出生数向上に向けた取り組みやこの物価高など将来に希望が持てない中でも子どもが欲しいと思える程度の支援を望む。 若い世代が遊べるような施設をつくること。 子育て世代が安心できる助成やサポートを望みます。
		50歳代	他の町村と比べてはわからないが、例えばシングルマザーの生活支援や子育て支援など全くできていない。お金がないのは判るが、町としての姿勢を感じられない。可もなく不可もない街が中標津町・道の駅を作ろう活動がわかりやすい取り組みを望みます・病院はすべて最悪。その都度釧路まで行かなくてはならない。
		60歳代	子どもの養育無料、18歳まで。子どもの治療費無料18歳まで。若者が働き甲斐のある職場づくり。若者が興味のある町づくり。町内の空家を有効に活用する。農業女子を増やす(空いている土地無料)中標津町でイベントを増やす(春夏秋冬)小中高のスポーツ大会を町内でやる(レベルを上げる)全道大会を中標津に持つてくる。町議の定年70歳まで。宿泊施設を増やす(空家、マンション、アパートなど)ゆめ森公園を有効に活用する(SNSほか)外国人との交流の場を増やす。中標津町の人口を増やす方法(税金やすく、住みやすく)丸山公園の有効利用(アスレチック、バーベキュー、水遊びなど) 医療機関の充実が必要!
		70歳代	町立病院の充実を望みます!
健康・福祉・子育て分野	女性	10歳代・20歳代	子育て支援をより充実させる工夫をして欲しいです。中標津町独自の支援などがあれば、人口増加 少子高齢化などにも繋がると思えます。 また、桜公園など季節を生かした場所を作ると観光やイベントにも生かせると思えます。 病院が少ないため、とても不便。
		30歳代	子育てしやすい町にしてほしい。子どもは釧路に通院していて色々大変。こどもクリニックがなくなってしまったのも困る。学校終わりに行ける病院がない。予防接種も町立だと時間が決まっています不便。・習い事の送迎サポートの対応していない地域と聞いたことがある。対応基準などをわかりやすく掲載してほしい・中標津の情報や美容室のキッズカットなど、手軽に調べられると助かる。 ・子育て支援に力を入れてもらいたい。標津町や別海町は中学、高校まで医療費の負担が少ないのに対して、中標津町は小学から3割負担。せめて中学くらいまで1割負担ならいいのと思います。・住民税が高いとよく周囲の人が言ってます。税負担が辛い。少しでも減税に務めてもらいたい。・生活保護を受けているのにも関わらずパチンコやタバコといった生活をしている人がいる。働いているのがバカバカしくなります。本当に保護を必要としている人にだけ与えるべきだと思う。・土地が高い。マンションの家賃が釧路より高い。他の地域から越してきた人が良く言っています。 ・給食費無料だと助かる・非課税世帯ばかりの優遇(給付金など)はあまり良いとは思わない・福祉顔対応が悪い(何もしてくれないし、提案もない) 病児保育が可能な施設が増えてほしいです。 周りの根室管内に比べると手当てなどなさ過ぎる。子供の医療費や給食費などもそうだが、特に中標津に生涯住まなければいけない理由も個人的にないので、この町に魅力は感じない。後はいつも役場の職員が無愛想と感じる。子育て支援課に行く機会があるが窓口としてはふさわしくない態度の職員もいるため、町の職員として今一度、確認した方がいいかと思う。
		40歳代	老後医療をきちんと受けられるのか?が心配。ずっと中標津町に住み続けられるのか?人材不足。優秀な人が地元に戻ってくるような取り組みを色々な視点から考えてほしい。奨学金とかをもっと増やすとか。 ・子育て支援、高齢者への支援・人々の減少への対策を早急に行ってほしい

健康・福祉・子育て分野	女性	40歳代	<p>・アパート、マンション家賃が高い。・公住など母子家庭優先され、家賃も安いのだが、パートナーや彼女など連れ込んでいる家庭もあり、まともに生活している人たちより豊かな生活をしているような気がする。・除雪朝早くやってくれて学校、仕事に行く時にはキレイになっています。助かります。ありがとうございます。・牛乳券など小学生、中学生にプレゼントすると、沢山飲んでくれると思います。・不登校の子ども達が行く場所(行きやすく、行きたくなるような)が増えればいい。・放課後デイサービスなど、支援を必要とする子どもが行く場が少ないです。保護者が働きたくても、働けない状況になってくるのではないのでしょうか。</p> <p>・長期休みの際の児童館の始まりが8:00だと、仕事にまにあいません。8:00はじまりの仕事の方もいると思いますので7:45や7:50には開くようにしてほしいです。・中標津の小学校のタブレット使用が他町より遅れていると思います。ICT支援員をふやすなど何か学校が動きやすいバックアップを町で行ったらいいと思います。・皮ふ科のクリニックができる予定だったのに、できずに釧路に先生が行ってしまったとききました。本当かはわかりませんがどちらにしろ、病院の対応、病院の充実を切におねがひたいです。</p> <p>子どもが安心して成長でき、高齢者の老いへの不安も軽くできるような町づくりに期待します。子どもと高齢者が交流できる機会を町が中心となって作ってほしい</p> <p>・母子、非課税世帯への待遇が多すぎると思う(無申告で夜働いてる人、公住での同棲などちゃんと調べた方が良くと思います)</p> <p>人が定住するためには老後いかに住みよく安心できる地域かどうかが問題かと思ひます</p> <p>子どもの医療費がかかると驚いた。給食費も年間通して無料ではなく、資源ごみも無料ではない。町民に還元するようなこともないし、実際に住んでみて、すみにくい町なのだと思ひした。町内でお金を使ってもらえるように外部に色々アピールしてほしい。</p> <p>病院をもう少しどうにかしてほしいです。やはりこのまま老後ここに住むには医療体制が不安です。</p> <p>子育て支援をもっと手厚くしてほしいです。</p> <p>ワクチン接種(特にコロナワクチン)を促すようなアナウンスは中止していただきたいです。死亡者数がとても多いのでちゃんと考えていただきたいです。</p> <p>子供の医療費助成の対象年齢をもっと拡大してほしい。 以前住んでいた町は、高校卒業するまで医療費は無料だったり、一部負担してくれる所が殆んどで中標津町以外は子育て支援が充実した。</p>
		50歳代	私は現在60歳を目前に老後の事を考える時間が当たり前の日常となっております。仕事面、健康面、金銭的な事、特に年金については不安が募り明るい老後生活は全く見えない状況です。町民が安心して穏やかに豊かな心でそんな町であってほしいと願ひます。
		60歳代	<p>・子供や老人に優しいまちづくり・運転免許返納してもこまらない町づくり</p> <p>・ひとり親とか高齢者が公団などにスムーズに入ればよいです。・子育て世代だけでなく高齢者、特に60代にもっと良い節税とか、支援とかの対策が欲しいです。・中標津で誇れるお土産や、農産物などがあれば良いです。・町外から人にお土産はと聞かれ何も無いのはどうですかね？</p>
		70歳代	<p>高齢者が在宅生活に限界を期した場合、施設入所が可能となる状況であることを望み、若い世代や退職世代の方々が中標津町に来たいと思えるような町政に期待しています。</p> <p>私たちは年をとって行きますが、老後が心配です。今は車を使っていますが、年をとって車が使えなくなったらどうしようと思っています。介護施設の充実をお願いしたいと思ひます。</p> <p>・高れい者が住みやすく、不便を感じない町であってほしい。・買い物に行く時、病院に行く時でも交通の便利さがいい。・免許返納者に対する優遇対策が欲しい</p>
		80歳代	現在乳がんので右、左摘出後、左リンパにがんがあり、1月から居宅にて抗がん剤服用中。歩行が不安定で要注意。一人暮らしなので何かと不安あり。サポートを申請中。外出が思う様にいかず今後はボランティアのお手伝いも無理かと感じています。5/21(火)
		40歳代	・道の駅を作ってください・真剣にまちの特産物を使ったグルメを考えて下さい。(ハンバーガー、パンなど)(ミルクラーメン、ミルクカレーなどは魅力が足りない)
		50歳代	中標津町は観光資源がない代わりに、観光資源がある周辺市町村へのアクセスがよく観光の拠点となることを求められているのに、まともな宿泊施設もなく、首都圏からきた方々をもてなすような料理を提供できる場所もないように感じています。 この町に求められているのは観光資源の掘り起こしではなく、町民や観光客が快適に過ごせる町づくりではないでしょうか。 中心部の空洞化も進んでおり、もっとコンパクトで暮らしやすい町になって欲しいと思ひています。
		80歳代	・地の利を利用した物流拠点作り1.中標津空港から貨物機の利用推進(大型貨物機の為の滑走路の延長)2.釧路港までの道路整備。以上によりオホーツク地方から農産物の物流を集める・広い土地を利用した企業誘致の基盤作り。上記1.2をアピールし誘致活動部署を立ち上げる。・企業誘致の移住促進の用地確保
		10歳代・20歳代	学生や社会人等が遊べるお店が少ない 映画館やボーリングなどの屋内施設を作って欲しい もし作っても今のままだと多分人手がたりないので先に大学を作れば良いと思ひ 大学生は他の学生や社会人に比べ、毎日規則的な時間で行動することが少ないため、日中もバイト等をする時間を設けられ、多少だが労働力に期待できるから
		30歳代	道の駅があると観光客が増えそうだと思います。
40歳代	中標津のおみやげを買おうと思ってもコレ！というものがありません。いつも中標津ようかんになってしまいます。日持ちのする(スティック型)中標津ようかん的な存在のお菓子のおみやげがほしいです。ポルテさんの箱菓子はちょっとサイズが大きいです。手軽なおみやげの開発をよろしくおねがひ致します。		
経済・産業分野	男性	40歳代	・道の駅を作ってください・真剣にまちの特産物を使ったグルメを考えて下さい。(ハンバーガー、パンなど)(ミルクラーメン、ミルクカレーなどは魅力が足りない)
		50歳代	中標津町は観光資源がない代わりに、観光資源がある周辺市町村へのアクセスがよく観光の拠点となることを求められているのに、まともな宿泊施設もなく、首都圏からきた方々をもてなすような料理を提供できる場所もないように感じています。 この町に求められているのは観光資源の掘り起こしではなく、町民や観光客が快適に過ごせる町づくりではないでしょうか。 中心部の空洞化も進んでおり、もっとコンパクトで暮らしやすい町になって欲しいと思ひています。
	80歳代	・地の利を利用した物流拠点作り1.中標津空港から貨物機の利用推進(大型貨物機の為の滑走路の延長)2.釧路港までの道路整備。以上によりオホーツク地方から農産物の物流を集める・広い土地を利用した企業誘致の基盤作り。上記1.2をアピールし誘致活動部署を立ち上げる。・企業誘致の移住促進の用地確保	
	女性	10歳代・20歳代	学生や社会人等が遊べるお店が少ない 映画館やボーリングなどの屋内施設を作って欲しい もし作っても今のままだと多分人手がたりないので先に大学を作れば良いと思ひ 大学生は他の学生や社会人に比べ、毎日規則的な時間で行動することが少ないため、日中もバイト等をする時間を設けられ、多少だが労働力に期待できるから
30歳代	道の駅があると観光客が増えそうだと思います。		
40歳代	中標津のおみやげを買おうと思ってもコレ！というものがありません。いつも中標津ようかんになってしまいます。日持ちのする(スティック型)中標津ようかん的な存在のお菓子のおみやげがほしいです。ポルテさんの箱菓子はちょっとサイズが大きいです。手軽なおみやげの開発をよろしくおねがひ致します。		

経済・産業分野	女性	40歳代	<p>標津や別海と合同で何か楽しいイベント、お祭り、フードフェスなどやってほしい。焼肉ウエスタンが閉店してから、家族や友人など大人数、グループでわいわい食事できる、集まれる飲食店がないように感じます。・回転ずしはま寿司などリーズナブルな飲食店もあると嬉しいです。セルフうどん店、ファミレス、王将などぜひお願いします。・お買い物は町内でほしいの物が揃うので便利です。でも時々釧路まで行くので中標津にも業務スーパーのような大容量商品を扱う店が欲しいです</p> <p>酪農の町ならではの街をおこし？ウェルカムドリンク(小さな紙コップで牛乳入れて乾杯)はとてもいい。下火になったのか今は行ってない？・牛=臭いイメージが強いがこのま町で酪農にかかわっている人は多い・自ぎやくネタでもいいので中標津の牛をアピールする何かを発信してほしい。・牛の置物もあっていい。きょうりゅうの町に公園にはきょうりゅういる。</p> <p>たくさんの外国人留学生も来ているので、もっと彼ら達が町民と交流出来る場があってもいいと思う。子育て支援をもう少し充実させて欲しい。町に観光客を呼べるような施設が足りないと思う。高齢者への負担を軽くして欲しい。給料も上がらず、物価ばかりが高くなり子供3人を育てていくのはとても厳しい。学生の医療費も無料にしてもらいたい。</p>
		50歳代	<p>・町の特産品や農産物を大きく扱う道の駅みたいなものがあるのもいいと思う</p> <p>・町内循環バスにあまり人が乗っていない感じ。バス小型にしたらいいに</p>
経済・産業分野	女性	60歳代	<p>職業をもっと増やせていけないのか。せつかくIT専門学校が開校できたので今後はその方々が就職できる企業を作って欲しい。幸い空港が近い事もあって、それを生かして東京札幌の企業を中標津へ支店として作って頂ければ若者たちも中標津で定住できると思います。高校卒業後、ほとんどの0生徒が町外へ出て行ってしまふ現状にも魅力のある町となって欲しい</p> <p>当町の将来的な発展を考えると若者の定着(働く場がないと、一度離れると帰ってこない)家庭を持ち、子供を作って人口を増やす。子供の医療、教育、給食等、18才まで全て無料にする</p> <p>若い人たちの遊び場がない。ボーリング場、映画館。年寄りも必要。飲食店。回転ずしせめて2か所誘致して下さい。団体が集まれる場所。気軽にイートインできる場所が少ない。昔あったウエスタンのような所など</p>
		80歳代	<p>自然多く若い時は育児に大変良い環境でしたが、成長と共に教育の場が少なくこの町を出る。又働く企業が少なく、若者(人口減少)と限られた人口しか残らずもって企業誘致が必要と感ずます。近年乳業の工場誘致が楽しみです。活気ある街の為に頑張ってください</p>
都市基盤・生活環境分野	男性	30歳代	<p>道路状況が悪くガタガタで新しくしたホイールやタイヤが傷つかないかははらしながら運転してます。特に雪印のある橋の所は冬場はひどいです。大雪の時除雪車が大忙しであちこち同じ状況だと言うことは理解できるけどせめて8時前には家の横か前だけでも片方車が通れるようにしてくれると通勤時間に間に合うのにと感じます。</p> <p>道路の整備が不十分 子供の医療制度が不十分</p>
		40歳代	<p>花火が出来る所がわからない</p>
		50歳代	<p>生活保護を受けているために自転車で町立中標津病院まで通院しています。歩道の除雪をしっかりとって欲しい。雪やアイスバーンで大変です。</p> <p>商店街の整備、空き家、空き地の活用など、課題は多いと思います。バイパス沿いには、流入してきた企業が軒を並べ、弱い既存の企業は、衰退する事が目に見えているので、後継者に後を継がせると言う考えは無く、やがて既存の店は無くなり、今以上に町外に町のお金が出ていく、そんな感じがします。他所の町より良いは、もう通用しない。今、何かしらの手を打たなければならぬと思います。</p>
		70歳代	<p>東8条北11丁目付近の歩道の縁石が毎年除雪車にこわされ、今年も修理しました。除雪の会社に気を付けるように伝えてほしいです。・体育館横の山は冬になるとソリやスキーで遊べるようになってますが、夜はほとんど利用している人がいないので夜間の照明は必要ないと思いますが如何でしょうか</p> <p>市街化調整区域はもうはずして下水道はともかくせめて天ぶら舗装ぐらいすべきだ。春夏秋冬、どれだけ市街化調整区域の人々が大変な思いをしているか。町長は考えたことが有るのか。数多くの住宅が建ち数多くのマンションが建っているのにつつ村八分にしておくつもりだと思ふ。下水道、本舗装は数十年後にしても良いと思ふが村八分くらいははずしてほしいものだ</p>
	80歳代	<p>雪がとけて道路が「ガタガタ」は舗装を直してほしい</p>	
	女性	30歳代	<p>牛の糞尿の肥料の臭いが酷く窓が開けられない</p> <p>私が働いているホテルは町からかなり離れていますから買い物行くときに30分ぐらいかかります。よろしければ働いているホテルの近くにコンビニをもっと増やして欲しいです</p> <p>古い町営住宅を早く新しい建物にしてあげるといいなと思う。</p> <p>街のイベントがもう少しあると楽しいなと思う。町外からも気軽に来店できる飲食イベントなどがあると楽し知床の玄関口として、観光業を推進していく観点から、豊かな自然景観を損なうソーラーパネルの設置は避けるべきと考えます。</p> <p>少なくとも目に入る幹線道路沿いや市街地区では、設置しないでほしいです。</p> <p>そのほかにも、土地を外国人に売ったりはしないでほしいです。</p>
40歳代	<p>ムラノ動物病院とサツドラの間にある横断歩道に信号機、または、電柱の位置をずらしてほしい。電柱に人がかくれて見えにくい。気づいて停まっても後ろの車が抜かして、人がひかれそうになった事があった。実際に過去に東小の1年生があつた横断歩道で車にひかれています。</p>		
50歳代	<p>環境整備について。車を利用しますが、歩道の木の植え込みの枝により走行車両の確認が難しい時があります。車両の高さによって見え方も違ってくるので、対策をして頂けたらうれしいです。</p> <p>今の一番の心配事は熊や野犬が出没することです。人的被害が出る前に対策して欲しいです。あとは老後一人になった場合に安心して暮らせる集合住宅、老人用住宅が充実してほしいです</p>		

都市基盤・生活環境分野	女性	60歳代	運動公園を毎日散歩しています。以前は音楽になっていたのですが今はなっていません。できれば以前のようにならしてほしいです。
		70歳代	<p>キキボウのやり方を今一度広報などで教えてもらとうありがたい。</p> <p>町営住宅への入居が中々出来ない。沢山入居している人々がいる。公住も古いからと空き室が有っても何年も空いている状態。建て替えの為と思いますが、空けておくのはもったいないと思います。条件を付けて入居させることは出来ないのでしょうか？本当に困っている人たちの為にもう少し手を差し伸べてもらいたいと思います。たとえば・きれいに直すことはしない・建て替えのため取り壊すまでの間とか。助かる人々は沢山いると思います。宜しくご検討下さいませ</p> <p>町の中をもう少しきれいにしてほしいです</p>
		80歳代	<p>生活道路を考えてほしい。交通の便が無い。となり組の集まりがない</p> <p>町内の交通の便がもっと良くなると良いと思います</p>
	無回答	無回答	この町に越して来て15年経ちますが、来た時は車持っていない、とても不便感を感じました。ダンボールを捨てるのに車がないと捨てに行けずとてもびっくりし、困りました。道内あちこち住みましたが、こんな町は初めてでした。隣の町では町民還元があるが、この町は何もない。もう少しイベント等を増やすなどあってもいいと思う。何らかのサークルなどに参加や加入したいと思ってても情報がない。近くの身内もいなく、子供もいない私達には今後老いる事を考えると住みづらい町と考えてます。
教育・文化分野	女性	30歳代	・学校にエアコンを設置してあげてほしいです。子ども達が安心、安全に学べる環境を整えてあげてほしい。昨年度、暑さで一斉下校がありましたが、全体育館の集められていました。暑そうでした。せめて体育館だけでも災害時にも活用できるかもしれないので、設置してほしい。(停電で使えないかもしれないが)・町の花「エゾリンドウ」をもっと広めたい。20年近く住んでいるが、現物はあまり見たことがない。数を増やし、公共施設や学校で育てて愛着を持ってもらってはどうか。自宅でも育ててみたいので、希望者に配布等も良いかも。自然豊かで良い町なので「ふるさとの花」近くで見たい。
	無回答	30歳代	以前、中標津町のホームページで中標津内の学校のバリアフリー情報を拝見したところ、まだ未対応の学校も見受けられた。全学校に、エレベーター等バリアフリー設備を整えることが可能であれば、身体障がい者の方など、学校に出入りしやすくなり、教育活動及びボランティア活動に参加する機会も増え、多様性などの教育へとつながる機会も増えるのではないかと感じた。障がいや病気を抱えている人も参加しやすい環境を整えることで、障がいや病気を理由に地域活動への参加を拒んでいる方が活躍できる機会が増え、教育現場などで自身の得意分野を発揮でき伝授できる場が増えるとおもう。そうすれば教育及び地域活性化へも繋がるのではないかと感じた。

IV 參考資料

まちづくり町民アンケート回答用紙

留意事項

1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
2. ご回答は**6月7日（金）**までにお願いいたします。
3. 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内にその内容等を回答願います。
4. ご回答方法は「郵送」又は「インターネット」の2通りからお選びいただけますので、下記の回答方法を参考にご回答をお願いいたします。

回答方法

1. 郵送による回答の場合

- ①次ページ以降の設問へ回答（該当番号をペン等により○印を記入）
- ②記入した回答用紙を同封の返信用封用に入れ、ポストへ投函（切手は不要）

2. インターネットによる回答の場合

- ①下記からサイトへアクセス



URL : <https://www.harp.lg.jp/Kc2Fnpej>

- ②インターネット回答用 ID（下記）を入力
- ③表示されている設問へ回答
- ④最下段の確認ボタンを押す
- ⑤内容を確認し、送信ボタンを押す

インターネット回答用 ID : **902998**

※ID は重複回答を防ぐために使用し、回答者を特定するものではありません。

問い合わせ先
中標津町 総務部 政策推進課
電話 : 0153-73-3111 (内線 324)

あなた自身のことについてお伺いします

問 1 それぞれの項目ごとに当てはまる番号1つに○印をつけてください。

(1)性別	①男性	②女性
	③無回答	
(2)年齢	①10歳代・20歳代	⑤60歳代
	②30歳代	⑥70歳代
	③40歳代	⑦80歳代
	④50歳代	⑧90歳以上
(3)職業 (主なもの)	①農林漁業	⑤パートタイム・アルバイト
	②製造業・建設業	⑥主婦・主夫
	③卸小売業・飲食業	⑦無職
	④その他サービス業等 (公務員を含む)	⑧学生・その他
(4)通勤・通学先	①町内	③該当なし・その他
	②町外	
(5)家族構成	①夫婦(子どもはいない)	④単身(あなた1人)
	②親子(2世代)	⑤その他
	③親・子・孫(3世代)	
(6)出身地	①中標津町	④道外
	②根室管内	⑤国外
	③道内	
(7)居住地	①中標津市街	③計根別市街
	②中標津町農協区域	④計根別農協区域
(8)居住年数	①1年未満	③5年以上20年未満
	②1年以上5年未満	④20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①感じている | ③どちらかといえば感じていない |
| ②どちらかといえば感じている | ④感じていない |

【自由記述欄】

問 3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①住み続けたい | ③どちらかといえば住みたくない |
| ②どちらかといえば住み続けたい | ④住みたくない |

※①または②を選んだ方にお伺いします。

住み続けたい主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①自然が豊かだから
- ②教育環境がよいから
- ③通勤や通学が便利だから
- ④医療や福祉が充実しているから
- ⑤日常の買い物が便利だから
- ⑥生活する環境が便利だから
- ⑦職場があるから
- ⑧親や親戚がいる住み慣れた土地だから
- ⑨友人など人間関係があるから
- ⑩町の将来に希望がもてるから
- ⑪特に理由はない
- ⑫その他

(具体的に:)

※③または④を選んだ方にお伺いします。

住みたくない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①日常の買い物が不便
- ②道路事情や交通の便が悪い
- ③地域の行事や近所つきあいが面倒
- ④子どもの保育・教育のことが心配
- ⑤町内に適当な職場が少ない
- ⑥保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
- ⑦消防・防災・防犯体制に不安を感じる
- ⑧スポーツ施設や文化施設が不十分
- ⑨生活基盤施設の整備が遅れている
- ⑩コミュニティ活動など住民の交流がない
- ⑪情報通信基盤が整っていない
- ⑫その他

(具体的に:)

まちの取り組みについてお伺いします

問 4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①関心を持っている | ③どちらかといえば関心を持っていない |
| ②どちらかといえば関心を持っている | ④関心を持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

※③または④を選んだ方にお伺いします。

特にどのような情報が不足していると感じますか。

(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①まちの計画や取り組みに関する情報 | ⑤防災情報 |
| ②支援制度に関する情報 | ⑥情報発信の中身がわかりづらい |
| ③役場での手続きに関する情報 | ⑦情報発信の手段が不足している |
| ④イベント開催情報 | ⑧その他
(具体的に:) |

問 6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 7 あなたは町内会に加入していますか。

(1つに○印を付けてください)

①加入している	②加入していない
---------	----------

※①を選んだ方にお伺いします。

※②を選んだ方にお伺いします。

加入している主な理由は何ですか。
(複数選択可)

加入していない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

①いざという時の助け合いのため
②地域コミュニティに参加するため
③勧誘されて断れなかったため
④人づきあいが好きのため
⑤様々な情報が得られるため
⑥以前から加入している
⑦特に理由はない
⑧その他 (具体的に:)

①必要性を感じないから
②会費の負担があるから
③町内会役員等の仕事を避けたいから
④近所づきあいが面倒だから
⑤加入の方法がわからないから
⑥勧誘に来なかったから
⑦特に理由はない
⑧その他 (具体的に:)

問 8 国際交流、地域間交流(他の市町村との交流)が行われていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問 9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問10

男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

※③または④を選んだ方にお伺いします。

そう感じない主な理由は何ですか。

(複数選択可)

①男女の固定的な役割分担がある	⑤男女問わず能力に応じて評価されない(キャリアを築けない)
②女性が働きたい職種が不足している	⑥出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない
③女性が働きやすい労働環境が整備されていない(休暇制度・採用等)	⑦女性の意見が言いにくい風潮がある
④男女で就労条件に差がある(給与面等)	⑧その他(具体的に:)

問11

男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

(複数選択可)

①女性の働きたい職種の充実	⑥男女の固定的な役割分担など意識解消に向けた啓発
②女性が働きやすい労働環境の整備(休暇の種類充実、採用面等)	⑦保育や介護サービスの充実
③女性の就労条件(給与面等)など企業への啓発	⑧町の審議会や委員会などへの女性の登用
④男女問わず能力に応じて評価される環境の整備	⑨女性のための相談窓口の充実
⑤女性のための職業訓練機会の提供	⑩その他(具体的に:)

問12

情報通信機器(スマートフォンやパソコン等)を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

(1つに○印を付けてください)

①ある	②ない
-----	-----

※①を選んだ方にお伺いします。

主に何からまちの情報を取得しますか。

(複数選択可)

①広報紙・チラシ折込	④役場窓口・電話
②FMラジオ	⑤知り合い・家族から
③町ホームページ・SNS	⑥その他(具体的に:)

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問16

あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。

(1つに○印を付けてください)

<p>①現在参加しているし今後も参加したい</p> <p>②現在参加していないが今後は参加したい</p>	<p>③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない</p> <p>④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない</p>
--	--

※①または②を選んだ方にお伺いします。

あなたは、今後(今後とも)どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。
(複数選択可)

①町内会や自治会などの活動	⑩高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
②公園・道路の清掃や花壇の世話	⑪通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
③自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	⑫募金や寄付、バザー等に関する活動
④農協や商工会などの活動	⑬地域づくりやまちおこしに関する活動
⑤老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	⑭自主防災や災害援助に関する活動
⑥子育て支援に関する活動	⑮交通安全に関する活動
⑦PTA、青少年の健全育成に関する活動	⑯パトロールなど防犯に関する活動
⑧教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	⑰外国人住民との交流
⑨伝統芸能の保存に関する活動	⑱その他 (具体的に:)

問17

町立病院の医療体制に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

①満足している	③どちらかといえば満足していない
②どちらかといえば満足している	④満足していない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問19 地元の農畜産物(乳製品、肉、野菜、加工品等)を身近に感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①参加したいと思う | ③どちらかといえば参加したくない |
| ②どちらかといえば参加したいと思う | ④参加したくない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①持っている | ③どちらかといえば持っていない |
| ②どちらかといえば持っている | ④持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問23 雇用対策(通年雇用、雇用の創出・確保等)に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問26 公共交通(バス)を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問28 日頃から家庭で災害(地震や風雪災害など)への備えをしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。

(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ①広報中標津 | ④コミュニティFMラジオを活用した防災放送 |
| ②中標津町緊急情報メール「キキボウ」 | ⑤テレビ |
| ③インターネットやスマートフォン | ⑥その他
(具体的に:) |

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------|--------------|
| ①参加している | ③あまり参加していない |
| ②たまに参加している | ④参加していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問32 日頃から環境問題(温暖化、省エネルギー、ごみ減量等)について意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問33 3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生使用)をしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問35 らいふまっぷ(生涯学習情報誌)・社会教育施設ホームページに満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

(1つに○印を付けてください)

※生涯学習とは

一般には人々が生涯に行うあらゆる学習を意味します。

すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|--------------|
| ①取り組んでいる | ③あまり取り組んでいない |
| ②どちらかといえば取り組んでいる | ④取り組んでいない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|--------------|
| ①取り組んでいる | ③あまり取り組んでいない |
| ②どちらかといえば取り組んでいる | ④取り組んでいない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------|--------------|
| ①ある | ③どちらかといえはない |
| ②どちらかといえばある | ④ない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

【自由記述欄】

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいたアンケートは6月7日(金)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日 制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

≪発行≫ 中標津町 総務部 政策推進課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153)73-3111 FAX (0153)73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～